

International Shiga People Association

全国滋賀県人会連合会

あなたの郷土の情報紙

全滋連

NOV./1991

No. 3

特集

第5回滋賀県人会世界大会

■地球文化を考える ■ビバ世界大会
■若者の提言など

AKINDOフォーラム

■ビッグ・コール ■商人と湖国・文化展など

びわこ空港開設へ

特別座談会
—その2—

平安新仏教の創始者——最澄

■INTERVIEW

小幡人形の伝統を守り続けて



何手先を読むか。 これこそロジスティクス。

日本ロジテム

岡目八目とはよく言ったものだ。

当事者はおうおうにして、目先のことに捕われがちである。

戦略的物流、つまりロジスティクスとは、この岡目八目的視点に立つことである。

何手先を読むか。

そしてその戦略を寸分の狂いもないシステムとして構築してゆく。

日本ロジテムは、未来をしっかりと見据え、

黙々とロジスティクスを実戦し、冷静に周到に一手を打っている。

それは次の一手、ひいては勝利への布石でなければならない。



 「物流の時代」をリードする
日本ロジテム株式会社
〒105 東京都港区新橋6-19-1 第三長谷川ビル
TEL.03-3433-6711 FAX.03-3437-0145

巻頭言



全国滋賀県人会連合会

会長 西川 五郎

国内外の県人会の皆様におかれましては、益々御壮健にてお過ごしのこと大慶至極に存じ上げます。

常日頃は、当会のため、御支援御協力いただき深謝いたしております。

ところで、この夏の第五回県人会世界大会の開催に当たりましては、県当局をはじめ、市町村の皆様、並びにふる里にゆかりのある企業の皆様、それに各県人会の皆様の絶大なる御支援とお力添えを得、大過なく無事終了することができましたことに對し、ここに厚く御礼申し上げます。

顧みますれば、足かけ二年にわたる準備期間は光陰矢のごとく過ぎてしまい、万事に行き届かず何かと御不便をおかけしたことを存じますが、ご容赦いただきたく存じます。

大会はご承知のように母なるびわ湖のほとりで、一週間にわたり数々の催しが行われ、色々な出会いと共に、たくさん思い出を残した素晴らしい大会であったと思います。

そして、県当局と両輪となって、この大会を行えたその成果は大きく、後日はこれを一過性のものとせず、我々県人の心のよりどころとして、皆さんと一緒に育てて参りたいと存ずる次第であります。次回はカナダのバンクーバーと決まりましたが、今回同様、元氣な笑顔で再会を期したいものと存じます。

終わりに大会のため、永きにわたりお手伝い頂きました実行委員会の皆様、並びに関係各位の皆様にごより御礼申し上げます。

そして、暑かったとはいえ、何にもまさる思い出多い大会の日々を思い出しながら、皆様の御健勝を祈念して、御挨拶と致します。

CONTENTS

● No.3

シンポジウム	第5回滋賀県人会世界大会	13
地球文化を考える		

あきんどフォーラム	ビッグゴール！	23
近江商人二〇〇〇人に聞く		

特別座談会—その2—	びわこ空港開設へ	34
箱崎道朗氏・井口克彦氏		
池口博信氏・中西正一氏		

ミュージカルポタージュナイト好評		64
公演を振り返ってなど		

紅葉の季節に想いおこす事		66
■芝山那智子記		

INTERVIEW	二七〇年の歴史を有する	67
小幡人形の伝統を守り続けて		
■細居源悟さんに聞く		

湖国だより		
-------	--	--

石垣の門前町坂本		42
----------	--	----

グローバルな湖国人 第3回		
大乘仏教の普及に努めた		45
平安新仏教の創始者—最澄		

ビバ世界大会		4
若者の提言		10
シリーズ③ 近江の芭蕉句碑		56
■夢望庵主 憲雄		

あきんどフォーラム	世界都市経営会議／世界起業家会議	20
びわ湖空港決起大会		78
秋の叙勲受章者		74
盛岡だより 近江商人の子孫が記念誌		76
会員の声 中村嘉兵衛・高畑正三		79

全滋連通信		
-------	--	--

巻頭言	全国滋賀県人会会長 西川五郎	1
表紙絵「舞う」	小倉遊亀画伯	9

第5回滋賀県人会世界大会協賛社(者)名簿		73
----------------------	--	----

編集室より		80
-------	--	----



第五回滋賀県人会世界大会

大会宣言

我々は、日本国内・外に三十余の滋賀県人会組織を設立するに至りました。

今後、これらの地域を緊密な情報ネットワークで結び、全ての生命の尊厳を守り育むために、人と人の交流、異なる文化と経済の交流を支援していきます。

二十一世紀の地球上により良い人類の平和と繁栄をもたらすために努力することを宣言し、以下の活動方針を決議します。

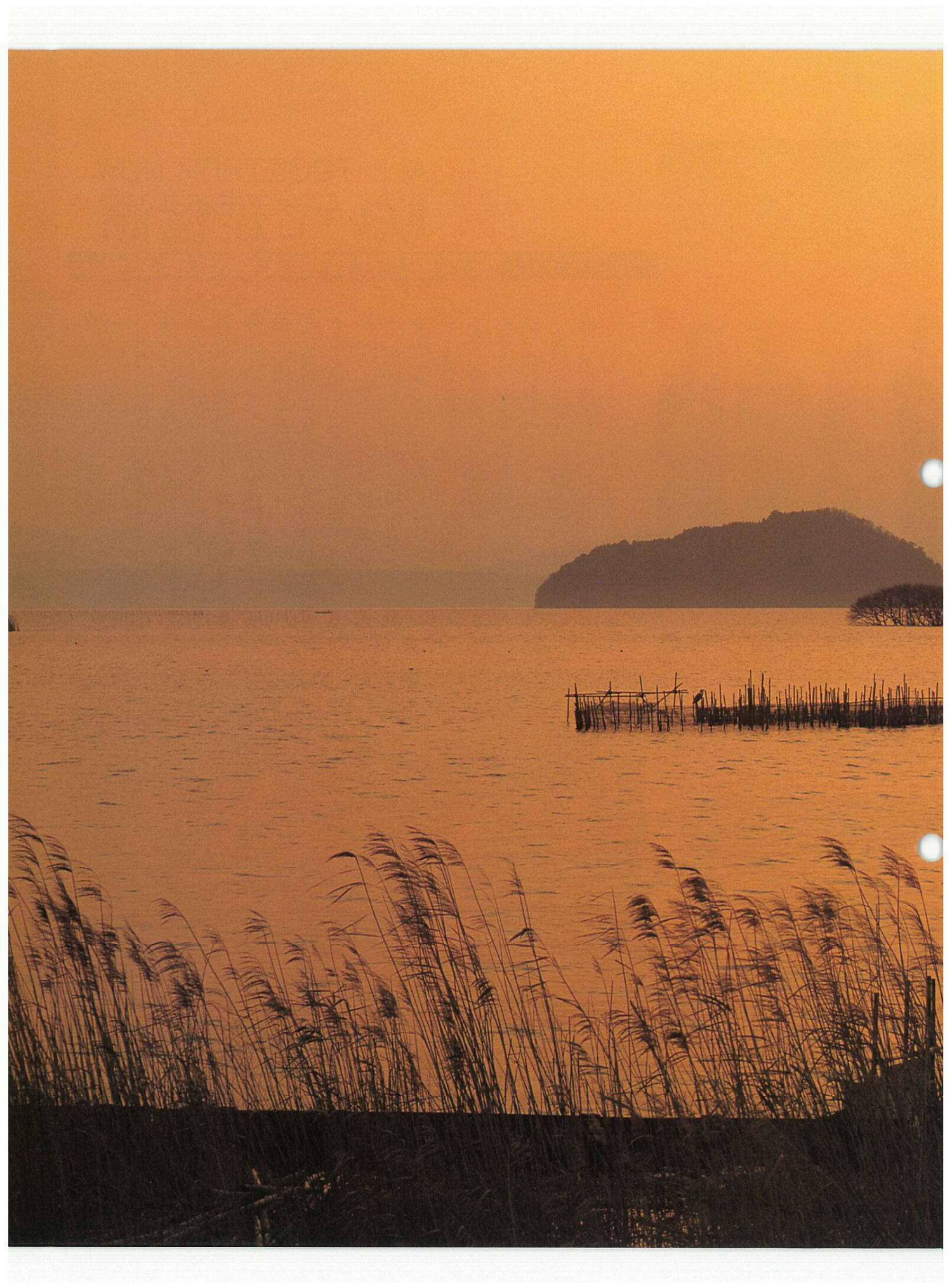
一、滋賀県民の子弟ならびに県人会員の子弟を中心に、世界の青少年が異なる文化を体験するために異郷の地を訪れ見聞を広めることを支援します。

二、滋賀県内の企業ならびに滋賀県人会ゆかりの企業の世界的規模の情報収集活動、広報活動等を支援します。

三、その他、国際的な視野にたって、日本と世界をつなぐ良き架橋としての役割を果たしていきます。

平成三年八月五日





夢 ALL TOGETHER NOW 咲いて琵琶湖

第5回 滋賀県人会世界大会

八月一日からの国際AKINDOフォーラムに引き続き八月四日は前夜祭。そして八月五日は、第五回滋賀県人会世界大会が、湖国大津プリンスホテルで、国内外より約一、〇〇〇人の滋賀県人が集い、盛大に開催されました。

午前中の式典では、カナダの若林忠治さんをはじめとする高齢者・功労者の表彰があり、そぞろ合唱団のあたたかい歌声に感動し、湖国で活躍のお二人の演奏を楽しみ、そして夕刻からのレセプションと多彩な催しの中で、若い県人からの心強い提言が、参会者の心に大きな印象を与え、未来の本会が非常に頼もしく思われたものです。

湖国での宴は、時間の経つのも忘れ、あでやかに流れていったのです。



さあ、盆おどりへ出発

各地よりぞくぞく到着



ペルー県人会の面々



県人会旗の前で



思い出のコーナーにて



最高齢者表彰を受賞のカナダの若林さん



大津プリンスホテル前にて



インタビューに応える
林メキシコびわこの会会長



数々の想い出を残して琵琶湖開発の歌ごえが流れる



みごとなシャンペンシャワー



夢 ALL TOGETHER NOW 咲いて琵琶湖

第5回 滋賀県人会世界大会

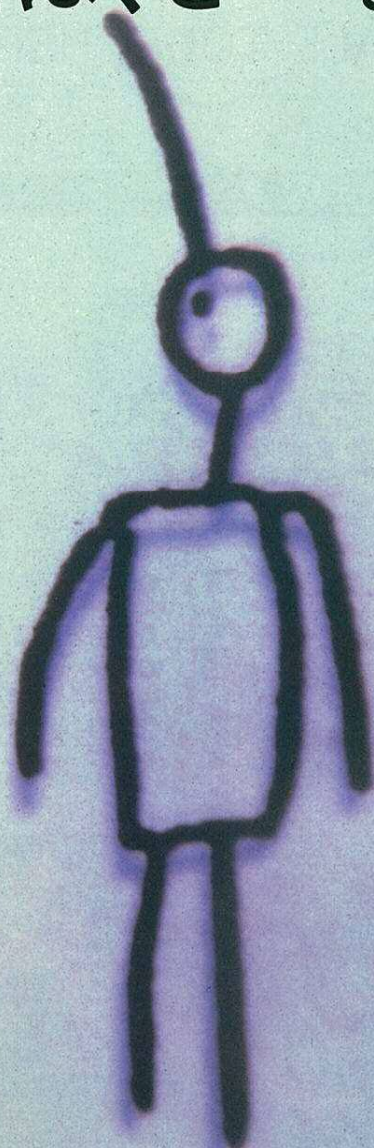


山田大津市長も参加してのそぞろコーラス



カナダ県人会の人々によるフラッグダンス

自分の考えは、どーなんだろう？



まあ、ホントに、なんだかゴチャゴチャとカマビスシイ世の中です。

Aが言う好きとBが言う嫌いがぶつかって、それを聞いている

私は、そのどちらとも違う。こういう時代は、ひとつ、自分自身の心の中を見つめなおすのがイチバン。自分に素直に正直に「どーなんだろう？」と考えてから行動しましょう。決定したら、とつぜんですが《セゾン》カードインターナショナル。

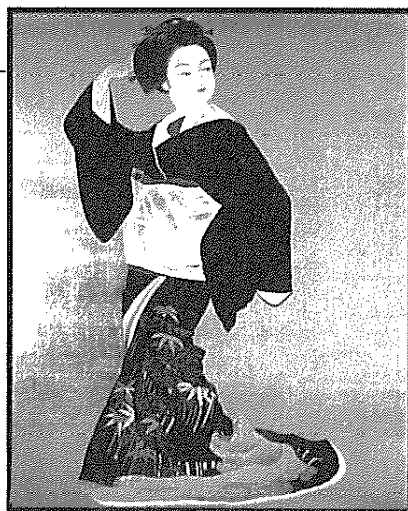
ホテルでもレストランでも、もちろんショッピングも、これ一枚で大丈夫。

良いお店で使う《セゾン》カードインターナショナル



お申し込みには＝銀行預金通帳または郵便貯金通帳とお届出印、ご本人を証明するもの（免許証、保険証、学生証など）をお持ちください。18歳以上で電話連絡可能な方なら、お申し込みいただけます。《セゾン》カード発行の際、審査によりご希望の意に添えない場合がございます。お申し込みは、西武百貨店・西友・ハルコほかのセゾンカウンターまでどうぞ。

◀ 表紙絵 ▶



小倉遊亀 画伯

題名「舞う」

遊亀は、健康のためにもなる故、その頃前田青邨の奥様荻江露友が家元の荻江節を習っていた。ある年の夏、京都の荻江節の会「水月会」で西川鯉三郎振付の素踊り「鐘の岬」を見て、遊亀は感動した。何に感動したかと言うと、年端もゆかない幼い舞奴が、豪華な振袖と重い大きな帯を背負って、手に負えそうもない難しい舞を真剣に舞っている姿にである。そして遊亀は言う「私もまた自分の手に負えそうもないものを、未熟ながらも描いてみたかった」と。

このモデル、もみ勇さんと言い、対になっている片幅のモデル豆らくさんとは違って、負けん気が強く甚だ勝気な芸者さんである。芸者を止めたあと、先斗町でバーを開くにあたって、店の名前を遊亀に書けと言って北鎌倉まで乗り込んできて「先生が書いてくれはるまで、てこでも動きまへん。その代り裸踊りでも何でもします」と言って本当に踊って見せた。この「舞う」の顔容からも、その勝負ぶりが窺えよう。（小倉典春記）

小倉遊亀略歴

明治28年 (一八九五)	滋賀県大津市丸屋町（現大津市中央一丁目）に溝上巳之助、朝枝の長女として生まれる。遊亀（ゆき）は本名である。
明治40年 (一九〇七)	滋賀県立大津高等女学校に入学。
大正2年 (一九一三)	奈良女子高等師範学校（現奈良女子大学）国語漢文科に入学。
大正6年 (一九一七)	奈良女子高等師範学校を総代で卒業。
大正9年 (一九二〇)	横浜のミッションスクール捜真女学校講師となる。この年安田毅彦に入門を許され、以後毅彦の逝去するまで終生師事する。
大正15年 (昭和元年 一九二六)	院展に初入選。
昭和7年 (一九三二)	日本美術院同人に推挙される。女性初の同人である。
昭和11年 (一九三六)	山岡鉄舟門下の小倉鉄樹の鉄樹を受ける。
昭和13年 (一九三八)	小倉鉄樹と結婚。
昭和19年 (一九四四)	小倉鉄樹逝去。
昭和24年 (一九四九)	郷里大津より西川典春を養子に迎える。
昭和29年 (一九五四)	第四回上村松園賞受賞。
昭和30年 (一九五五)	芸能選奨美術部門文部大臣賞受賞。
昭和37年 (一九六二)	第十八回日本芸術院賞受賞。
昭和51年 (一九七六)	日本芸術院会員に任命される。
昭和53年 (一九七八)	日本美術院理事に就任。文化功労者として顕彰される。
昭和54年 (一九七九)	第三回滋賀県文化賞受賞。
昭和55年 (一九八〇)	文化勲章受章。この年昭和59年開館予定の滋賀県立近代美術館に十八点の院展出品作を含めて千数点の院展出品作を寄贈する。
昭和56年 (一九八一)	滋賀県大津市の名誉市民として表彰される。
平成2年 (一九九〇)	日本美術院理事長に就任。
九十五歳	

若者の提言

今回の世界大会において、最も感動を集めたのが、各国県人会の二世たち若者からの県人会への提言が行われたことでした。

レセプションが始まりかけるやいなや、カナダからアルゼンチンからメキシコからと十人余の若者たちが壇上にあがってきました。そして、現在県人会がかかえる問題を痛烈に指摘するとともに、将来の展望を語り始めてくれたのです。

大会宣言が、日本語と英語で高らかに発表されましたが、この宣言文を裏打ちする新鮮な発言が飛び出してきた

世界大会で 若者はつらつ 県人会への提言

もつと興味がもてる
魅力ある
県人会を希望

のは、大変喜ばしいことでした。

レセプション会場でもこの若い力があちこちで雰囲気盛り上げていました。とうとう最後には、明るい南米ムードのエールを稲葉知事に送り続けました。

素晴らしい提言の中に、国内からの若者の参加者が入っていなかったのは少し残念でしたが、次の世界大会には、若者たちが素晴らしい企画をしてくれるであろうと、今から楽しみになってきました。

若者の真剣な表情と発言を誌上でご紹介いたします。



■ 檜山恵（メキシコびわこの会）

第五回世界県人会が、こうして大勢の人々が集まって開催されたことは、非常に素晴らしいことだと思いますが、少し時間を頂いて、私たち二世、三世の意見を聞いていただきたいのです。それは現在の県人会自体が非常に大切なものを無くしかけているように思えるのです。このままでは、いけない。何とかしないと若者はついていけないんじゃないかと思っています。

私たち若者の知恵と新しい考えを交換しあいながら新しい県人会づくりを求めて生きたいと思えます。そして、海外から見ても日本が失いつつある日本の大切なものをも何か見出し出しているのではないかと考えます。どうか、私たちの意見を聞いてください。



大会宣言を発表する檜山さん



■ 野瀬スチュワート

世界各国から、同じ郷土をもつ滋賀県人が本日こうして多くの人々が集まっ

たことに対して、この会の存在がもつ不思議な誘発的な魅力があるんだと改めて認めました。

こんな素晴らしい会が、これからもいい状態で広がっていくことを私たちの力で何とかしていきたいものだと考えております。

■松原 修（アルゼンチンより二年前来日。現在神奈川在住）

私自身滋賀県人会二世として、大きな不安があります。それは、他の国の県人会の人々との交流がないことです。こんなままでは、二十一世紀を迎えようとするのは無理があるのではないのでしょうか。

今、海外の県人会のなかで、その国の文化と日本の文化を体験した者同志が、いつも日本というルーツを心の隅に残しておいて二世県人会をつくっていかうという働きがあり、私は大いに賛同するものです。そして、この大会を契機にこの動きは大きく広がろうとしています。本日は、こうした機会を頂いたことに深く感謝いたします。おき。

■西川キャッシー（バンクーバー在住の三世）

若い人の参加が少ないのは、大変残念なことです。江州音頭もそれなりに楽しいのですが、いつも同じでは興味を感じることができません。もっと心の通じ合える企画が必要なのではないでしょうか。

次の世界大会はバンクーバーで開催されますので、是非とも若い人が興味をもてるプログラムを考えてみたいと思います。どうぞご期待ください。

▲アルゼンチンより現在、神奈川に在住の松原修君



▲青年の主張を発表した西川キャッシーさんはお母様とともに



▲陽気な三世たち左端メキシコ川島とみえさん



トロント西村邦男君



▲バンクーバーよりおはあちゃんとともに来日した4世シルビアちゃん

■川島とみえ（メキシコびわこの会）

県人会に対しての印象は、大人の集まりであって、若者が魅力を感じることはできません。

私たちが何かの魅力を感じられるきっかけを創り出していかねばならないのでしょうか。できれば、自由に楽しく参加できるイベントの開催をお願いしたいと思います。

若者が集まって楽しい会になることを希望します。

■西村 邦男（トロント在住）

幼い頃の県人会の思い出は、毎年キウィビーチへピクニックに出掛けたことです。必ず雨が降ったことには閉口しましたが、すいかわりをしたり、福引やビンゴをして、楽しく過ごしました。その時にも、若者の参加が少なかったのは残念でした。

でも今回、世界大会に参加して他の国の若い人たちに逢えて、県人会の交流の大切なことがよくわかりました。そしてこの機会を無駄にすることなく、二十一世紀の滋賀県人会を明るくおもしろく活動していき、若者が大いに交流を深めていけるようにがんばりたいと思います。

第5回 滋賀県人会世界大会

シンポジウム

地球文化を考える



夢 グローバルに考える 湖国の明日、未来の世界

近江の最大のシンボル琵琶湖が一番美しくあってほしいと願うのは、湖国にゆかりのある人々にとっては一層強烈なものがあります。

国際化、環境保全と声高に叫ばれている今同じ故郷を共有する者がどんな考えをし、未来に何をしていくべきかを考えてみました。

心の故郷、

近江

倉光 こんちには。

これからシンポジウムを始めるのですが、パネリストに自己紹介をかねて、順番にお話したいと思っています。

まず、高市さん、お願いします。

高市 はじめまして。私は、お隣の隣の奈良県の出身です。大学を出るまで関西で育ちまして、子供のころから琵琶湖が大好きで、近場のスキー場というのがありますから、よく滋賀県にはまいります。カラオケの十八番も「琵琶湖周航の歌」だったりして、こ

こ一発というときに歌っております。

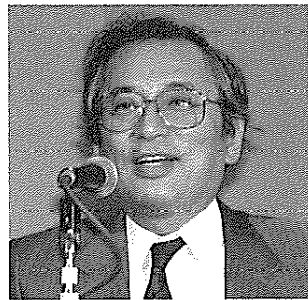
まず、日本人がいちばん苦手なテーマ。それは、人種問題と宗教問題じゃ

ないか、と思っているんです。

いま、ワシントンで問題になっているのですが、アメリカに進出してきた日本の企業が、雇用にあたって人種差別をしている、と。たとえば、アメリカの子会社が、向こうで人を採用するとき、日本の企業が黒人は雇いたくないときに、「マリアンヌとは話をするな」という暗号を使ったことがはっきりして、これが大きな問題になりはじめています。

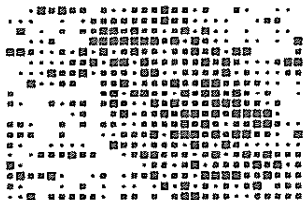
それと同時に、領土って何だ。日の丸って何だ。「君が代」って何だ。日本人は、日の丸に対して、開かれた議論のなかで考え直そうという土壌がまだできていない。

これから私たちが海外で生活するために、国際人であるために、考えないといけないテーマがいっぱいあるんじゃないか。



■コーディネーター 倉光 弘巳氏

大阪ガス(株)理事
大阪ガスエネルギー文化研究所所長
1935年鳥取生まれ。1958年京都大学法学部卒業後、大阪ガス(株)入社。大阪ガスエネルギー文化研究所設立準備部長を経て、1986年エネルギー文化研究所所長に就任。関西ビジネスインフォメーション(株)取締役、(株)しがぎん経済文化センター顧問などの要職を務めるとともに、各種の公職をも兼務。



ないか。これを、私からの問題提起に
させていただきたいと思います。

倉光 続いて、水野さん、お願いしま
す。

水野 私自身は東京生まれでございま
すが、滋賀県とたいへん縁がござい
ます。

一つは、ちょうど琵琶湖の並びに
ございます、大津店という、私どもの西
武の店がございいます。それから、長浜
の楽市、これは西友がやっております。
そういう縁もあるわけでございいます。
それよりも何よりも、私たちの商売
この原点は、どうも、近江商人にあ
るようございいます。そういう点から
も、私どもにとって、この滋賀県は重
要な心の故郷。そんな感じを持ってお
ります。

きょうは「地球文化」というテーマ
があるわけですが、地球環境の問題が、
どうも、避けて通れないテーマのよう
な気がしております。

日本は、この戦後、文明がものすこ
い勢いで進歩した国だと思います。そ

の反面、忘れてしまったものもある。

それが、どうも、自分たちの文化では
ないかと思ひます。

きょうは、そんなお話ができれば、
あるいは、いろいろな意見が伺えれ
ば、と思つてまいりました。

■優しい日本、 忙しい日本

■忙しい日本

倉光 それでは、木村さん、どうぞ。

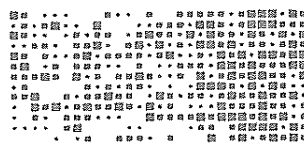
木村 私、大阪で生まれまして、京都
で大学生活を過ごし、京大で、琵琶
湖とも縁が深いのです。

きょうは、南米から日本へ来られて



■パネリスト 木村 光佑氏

版画家、京都芸術繊維大学教授
1936年大阪生まれ。1959年京都市美術大学
(現・芸術大学)日本画科卒業後、版画・彫
刻を独自に学ぶ。1970年代2回英国国際版
画ビエンナーレ受賞、1971年にはジャパンア
ート・フェスティバルのグランプリ大賞受賞、
第9回リブリアナ国際版画ビエンナーレ国
際グランプリ大賞受賞。1973年第1回世界版
画コンクール1部、2部グランプリ大賞受賞、
1975年アントワープ野外彫刻展日本代表取締
役、1983年第15回リブリアナ国際版画ビ
エンナーレ・ザグレブアカデミー賞受賞など。



いる方がおられますけれども、私は、
「サンパウロ・ビエンナーレ」という
国際展に出品したときに、二世、
三世、四世のお嬢さんがおられるとこ
ろで、お食事をよばれたりしたんです。

そのときに、「いらっしやいませ」
と、ちゃんと両手をついてお嬢さんが
挨拶されるので、「日本で忘れられて
いる本日の日本が、ここにあるのかな
あ」という気がしたんです。

普段は、その方も、ジーパンを履い
たりして、イパネマなんかで泳いでお
られるんですけども、「本日の日本
というの、こういうことだったのか」
と感じたことがございいます。

倉光 次に、三沢さんに、お願いいた
します。

三沢 外国人が日本文化について持つ
代表的なイメージは、平和で、優しく、
静かな文化ではないでしょうか。静か
な日本文化というイメージは、忙しい
日本社会というイメージと対照的です。

私は、日本に在ると、いつも忙しい、
忙しいという気持ちがあります。ところ

が、休暇でカナダに帰ったりすると、
私のペースはすぐ変わるのです。

私たち夫婦の日本人の友人で、カナ
ダに住んでいる人たちは、たまに日本
に帰ると、せっかちでペースが速いの
で、ショックを受けるそうです。

ところで、日本に在るとき、私が失
うのはカナダのペースだけでしょうか。
私の持っているカナダの文化、カナダ
人としてのものの考え方、カナダ人と
しての自分自身を失ってはいないでし
うか。

しかし、日本では、「外国人は、日
本人と、どこか違っているはずだ。違っ
ていてほしい」と思われているようで
す。それで、私は、いろいろなことを、
私自身のやり方ですることができま

■世界のシンボル、 琵琶湖

琵琶湖

倉光 寺村さん、お願いいたします。

寺村 きょうは、「地球文化」という
テーマについて、ブラジルの日系人と
して、現在の日本に対する考えを皆様
に申し上げたいと思います。

多国籍国家でありますブラジル社会
のなかで生まれ育ちました私にとって、
日本は単一民族を保つ社会として見え
ます。

その結果として、日本は、ある意味
では、世界から閉ざされた社会ゆえに、
ユニークな、また、現在の世界につい

て解決しなければならぬ問題も持っているのだと思います。

倉光 駒井さん。

駒井 滋賀県は琵琶湖がシンボルであり、その琵琶湖の水は、世界に通ずる文化なのではないだろうか。世界規模、地球規模での文化なのではないだろうか。

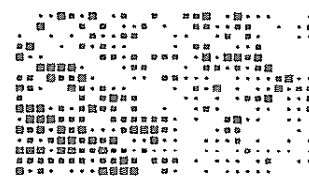
すばらしい水、その水を中心にして緑が展開され、耕地が開かれ、歴史的な背景をたどりながら、人々が今日を築いてきたということ、世界レベルでの誇りとしながら、未来に向けて、これを子孫に伝えることが、故郷を離れた私たちの故郷への願いではないのだろうか、と思うのでございます。

倉光 ありがとうございます。

滋賀県の強み、ネットワーク

倉光 ところで、私は、大阪ガスのエネルギー文化研究所というところで働いております。奇妙な研究所でございます。大阪ガスが金儲けをするための仕事はひとつもしない。十年後から二十年後の社会が少しでもよくなるための研究と提言をする、というようなことをやっております。

私は、学生時分、京都で過ごし、たが、きょうは、やはり琵琶湖というものの思い出あたりから入っていきたいと思います。



パネリスト 高市 早苗氏

立法政策研究センター専門研究員
1961年奈良生まれ。奈良高校、神戸大学経営学部（経営数学専攻）卒業後、01松下政経塾（政治コース5年）を卒業。1987年10月～1989年3月の間、米国大統領候補となった民主党のバット・シュローダー下院議員のもとで米国憲法調査・立法調査官（金融・ビジネス外交担当）として働く。帰国後、亜細亜大学・日本経済短期大学で専任教員を経て、現在の立法政策研究センター専門研究員。



ないかな、と思います。

「三方よし」のいさめ

高市 たえば、ジャパン・パッシングの問題ですね。

いま、アメリカ議会はすくく日本を叩く。日本人にしたら、「なぜ、こんなに日本がいじめられるんだ」と思うんですね。ところが、アメリカ政府の役人に言わせたら、「だって、日本は、いつもアメリカにお金を立ててくる。聞いてきたんだから言ってるやろうと、普段から思っていることを言う」と、『日本叩きをした』と。ひどいじゃないか」向こうにしたら、そういうことなんです。

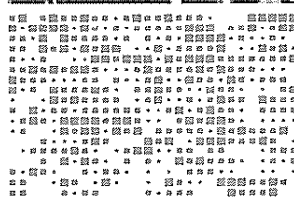
そういった情報を、どんどん、交換し合いたいと思います。

倉光 いまの意見、どうですか。

水野 僕もいまのお話は、そのとおりだと思えます。けれども、その根底にカルチャー・ギャップがあると思う

パネリスト 水野 誠一氏

西武百貨店代表取締役社長
1946年東京生まれ。慶応大学経済学部卒業後、1970年西武百貨店入社。渋谷店婦人服飾部を皮切りに、本部営業企画部、販促、商品開発のスタッフを務める。1982年本部販促促進部長、1984年渋谷店長、1986年取締役、1988年常務取締役商品事業本部長、1989年代表取締役専務を経て、1990年3月代表取締役社長に就任。





■パネリスト
フランソワーズ・ジゲル三沢氏

カナダ大使館
フォシリティーズ・マネージャー
カナダ・ケベック州モントリオール生まれ。
1971年カナダ政府の外務（対外業務）に就いて以来、カナダのオワタ、ドイツのボン、スイス、そして日本の東京に勤務。現在、駐日カナダ大使館に勤務。カナダの観光資源の紹介PRなどにあたってきたが、1985年から1990年までは駐日カナダ大使秘書。



んです。

たとえば、日本は間屋制度というものがあって、それが価格のメカニズムを非常に硬直化させている。だから海外から新しいコンペチターが参入できないんだ、という話になるわけですけども、こういう問題一つ取っても、綿々とした歴史のなかにある文化の違いみたいなもの、これがすごく重要だと思っています。

たとえば、食文化。お米、あるいは水一つとっても、そうだと思います。日本は、自然の中に八百万の神がいる。そういう国なんだとか、何かそういうことを、もっと伝えていく努力を、日本人がしないといけないんじゃないかという感じがするんです。

そのためには、まず、僕たちが文化のルーツというものを知らなきゃいけないと思います。

たとえば、近江商人は、実は、私も初めて勉強したんですけれども、「三方よし」という。昔、こちらの五箇荘というところの商人の家訓なんだそう

です。

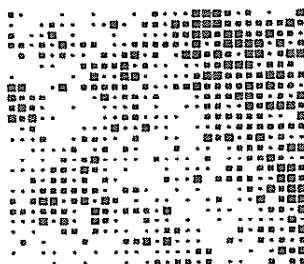
商売というのは、自分がよくて、しかも物を売った相手もよくて、そして周りの人もよい、そういう状態でいかないと、自分だけがよい商売をやっているといけないという、いさめだと思えます。

その考え方が、いまの日本に求められているんじゃないだろうかと思えます。自分も、相手も、みんな、地球全体がよくなるような、そういう考え方で、われわれはビジネスをしていかなければいけないし、地球環境のことも考えなきゃいけない時代になってきているのかなと思います。



■パネリスト
寺村 まりこ氏

ブラジル滋賀県人会
1964年ブラジル・サンパウロ生まれ。サンパウロ市のダンテ・アリゲリ小学校・中学校・高校を卒業後、サンパウロカトリック大学医学部卒業。現在、東京大学医学部に留学中。父親の出身地は長浜市。



そういう、原点といいますか、考え方のものが、すでに、私たちの祖先、近江の文化にあるということなんです。

ルーツを伝える

倉光 木村さん、いかがですか。

木村 いま、ルーツという話をされたかもしれないけども、根本的には、親が子をして、子が親を思うような気持ちによって、国際的に通じるんじゃないかな、と。日本は、その根本的なことが忘れられているような気がしないでもないんです。

そういう意味では、自分自身で、持っているいいものを引き出していくべきときが来たんじゃないかな、という気がするんです。

倉光 駒井さん、いかがですか。

駒井 まさに同感です。たとえば、いま、日本では核家族化ということがございます。そして、一人っ子が多いのでございます。そうすると、子供は、

お母さんとマン・ツー・マンで、社会性を発揮しないまままで育っていくわけなんです。

家庭のあり方に反省を加えることが必要なんじゃないかな、と思ったりするんです。

倉光 ジゲルさん、日本に来て、宗教的な問題で困ったことはありませんか。

三沢 私はカトリックで、うちでは私が子供に全部教えたので、子供はカトリックになりました。教会に行きます。でも、お義母さんと一緒にお寺に行ったり、お墓参りにも行きます。

だから、ミックスになります。これは、とてもいいと思います。子供は両方の勉強ができますし、あとで自分で決めればいいですから。

倉光 カナダの生活の仕方が、日本に来ると変わってしまう、ということですね。

三沢 そうですね。

ルーツのことですが、ほかの国に住んでいますと、自分の子供に自分のルーツを教えたい。日本で、私のカナダのルーツを私の子供に教えたい。言葉とか、文化、考え方。

でも、難しいですね。私はいつもフランス語で子供に話しますが、でも、返事は日本語です。私の言葉がわかって、自分で話せませんね。でも、ずっとフランス語で話します。そしたら大丈夫だと思えます。

倉光 寺村さん、言葉の問題はどうし

ていますか。

寺村 私は日系二世でありまして、幼いときに母を亡くしまして、祖母に育てられたんです。ですから、家のなかでは日本語を主に使うことができました。学校の社会生活はポルトガル語なんです、両方とも少しは話せるようになりました。

倉光 なるほど。お友達はどうですか。寺村 私ぐらいの年頃の日系の方は、ポルトガル語とか、南米では、主にスペイン語のしゃべれる人が多いと思うんです。でも、みんな片言ぐらいいは話せて、日本に留学している日系の方たちは、上手な日本語をしゃべっています。倉光 言葉の問題は、思う以上にたいへんですね。

日本が求められているもの

倉光 さて、琵琶湖、あるいは地球環境の問題に話題を移してみたいと思います。

水野 この琵琶湖を、なぜ、私の話のなかで取り上げたかというと、非常にシンボリックな湖だと思うからです。

市民の運動、それから、行政も、この琵琶湖の問題に対してお考えになり始めている。そういう意味では、いちばん遅れてしまいがちなのが企業だと思っ

とかく企業というのは「悪いことばし

ていない」というポーズを取りたがる。

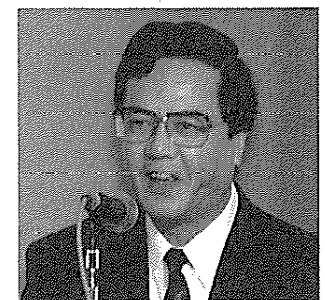
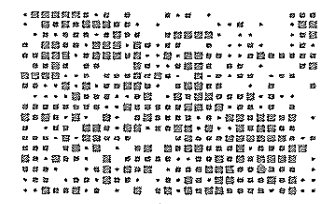
去年、東京都で、「ごみのシンポジウム」というのがありました。私も、パネリストとして、参加したんです。西武百貨店が東京に三店、さいまして、店でごみをどれくらい出しているのかと調べましたら、何と、一年間に一万三千トン出しているんです。

それなら、うちの広報担当者から、「イメージ・ダウンになるから、そういうことは、言わないほうがいいんじゃないですか」というアドバイスがありました。

でも、ごみを出している、その償いとして、たとえば、古紙再生紙の開発をやっています。あるいは、ごみの処理を自分たちで少しでもできるような体制を作っていく。これが、企業にとって非常に重要なんじゃないかと思っています。

琵琶湖を守っていくためには、市民、企業、行政が、「世界に誇れる琵琶湖を保つことが重要だ」という意識を持つことが重要だと思うんです。それと、皆さんがそういう意識を、こ

とあるたびに、お話になっていく。こういう積み重ねが、暮らしを心豊かなものにしていくんじゃないかな、という気がします。われわれも、この琵琶湖のほとり



■パネリスト
駒井 健氏
岩手県人會会長、
岩手大学教育学部教授
1931年岩手生まれ。岩手大学文学部（現・教育学部）卒業。現在、岩手大学教育学部教授を務めるとともに、岩手県国土利用計画地方審議会公益代表取締役委員、盛岡市都市計画審議会委員、岩手県大規模小売店舗審議会委員など数多くの公職を兼務。岩手県滋養県人會会長。

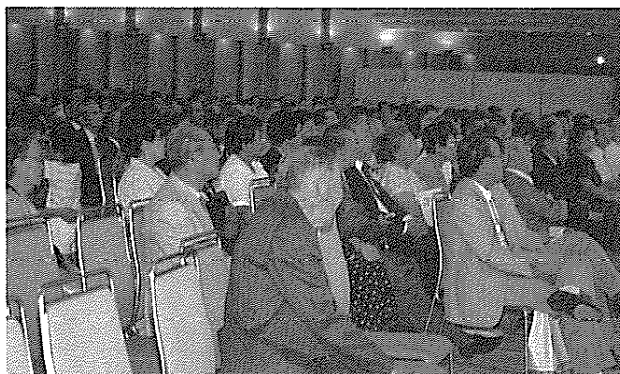
倉光 私はもっと過激なことを言っています。『琵琶湖を大切にしない人は、滋養県に來ないでください。この自然を大切に思う人は、どんどん来てください』こう言いましようよ』と知事さんに申し上げているんです。

琵琶湖から世界に向けて

駒井 琵琶湖の場合は、水を、新しい技術によって浄化していくよう、行政、消費者、そして企業が強力に力を合わせて行なっていくかなければならないと思っ

ています。そして、イメージとして、琵琶湖のすばらしい環境があります。いま、よくエコロジーと言っていますが、琵琶湖、エコロジー、ユートピアということとで、「ピワコピア」というような言葉なんかいいんじゃないか、と思っ

たんです。倉光 木村先生、どうですか。木村 これだけ大きな湖ですのでね。



琵琶湖がどうなるかというのは、ある意味では、地球がどうなるか、というのとイコールだと思うんです。これが、小さな湖か池みたいなものだと、水が汚染したということと、全部水を換えることもできるでしょうけれども、これだけ大きなものになるとある研究書で「悪くなると、入れ換え



るのに四百年かかる」というようなことを読みました。切実に感じますね。倉光 高市さん、地球環境の問題について。

高市 私は、奈良という、海のない県で、こんなに大きな湖のないところで育ったから、こういう環境にすごく憧れているんです。

琵琶湖の環境汚染は、滋賀県が抱えるたいへんなアキレス腱になる一方、すこい売りにもなる問題なんですね。たとえば、飲料水の問題一つ取っても、日本だけじゃなくて、ヨーロッパも、中南米の国も、みんなが安心して水道から水を飲めるようになるために、どう技術が必要で、どれだけのお金がかかるか、何が問題なのか。そういうことは、琵琶湖から、世界にむけて、相当な提言ができるんですね。

環境問題もレジャーも産業も含めて、湖を中心に展開している町に対して、先進事例としてアピールできればいいなと思います。

日本の心と

多民族化

倉光 最後にやってきたんですけれども、三沢さん、何かありましたら。

三沢 皆さん、日本人は、いつも日本の心を忘れないでください。そして、子供に日本の心を教えてください。

倉光 駒井さん。

駒井 私たちがこうやって一堂に会していろいろなお話ができ、あるいは、いろいろな人とお会いできたのは、ありがたいことです。

こういう機会を持たせていただいた稲葉知事さんに、心から敬意を表したいと思います。

倉光 高市さん、どうぞ。

高市 これから、日本はどんどん多民族化していくと思います。

それで、日本が多民族、多人種の国家になったときに、「滋賀県が先進県だよ。いろんなノウハウを持っているよ」と、環境問題と並行して、国際化県のひとつとして、いろんなことを教えていただきたいと思います。

木村 きょうは、滋賀県から世界に語りかけ、世界からこの滋賀県に帰ってくるという、大きな夢が見られたよう

な気がして、幸せに思います。ありがとうございました。

水野 いままで、あまりにも「企業が主役」みたいなことがあったと思うんですね。

来る前にも、「きょう、お集まりの皆さんは、西武百貨店のお客様ばかりなんだから、あまり生意気なことを言っちゃいけない」と秘書の注意を受けてきたんですが、つつい調子に乗って、勝手なことを申しました。どうかお許しをいただきたいと思います。ありがとうございます。

倉光 長い間、どうもありがとうございました。

提言

倉光 少し提言的なものをまとめてみました。申し上げたいと思います。

■提言1「私たち滋賀県人会は、まず世界に役立つ人間関係をつくっていきましょう」

自分たちのため、あるいは滋賀県のため、という内向きの考えではなくて、世界に役に立つ人々の集まり、ということを基本に置きたいと思うわけです。

そして、その世界のために私たちが役に立つ存在になることが、すなわち、この滋賀県を世界的に大切な存在にしていく、と思いたいわけでありです。

■提言2「私たちの滋賀県人会は、情報交換のための拠点、人間関係のネットワークの結び目になる」

日本から世界に乗り出す人々を応援し、また、世界から日本に帰ってくる人々を応援する。そういう組織であり、また、日本に対するアドバイス、あるいは、世界に散っていった人々に対してのいろいろな情報を提供したいわけでありです。

具体的には、旅行のトラブルのような小さなことから、就職のこと、入学のこと。そういうことをお互いに助け合える組織になりたいわけでありです。

■提言3「私たちの滋賀県人会は、日本文化の紹介、日本のすばらしさ、日本のエコロジーのすばらしさ、こういう日本の紹介とともに、世界の異質な文化を日本に紹介する。そして、相互理解の役目を果たしていこう」

日本の経済力の強さは実証済みでございます。しかし、本当の日本の魅力、日本の世界に対する役割、そういうことを知ってもらうには、不十分です。県人会が、そういう意味で、世界と日本との相互理解の役割を担っていきたいと思うのです。

私たちの県人会は、私たち自身の幸せにもつながり、そして、それが世界をハッピーにするものだと思うからでございます。

きょうは、どうもありがとうございました。



ふるさと
故郷だいすき。

ひとに個性があるように、
土地にも個性があります。
各々のふるさとに合った
店づくりこそ、
私どもの使命だと考えます。
平和堂は地域に根ざした
小売業として、
その地域に住む人々の
生活と文化の向上に
役立つ努力をいたしております。
また、かけがえない地球を
守るため、地域の皆様とともに
環境問題を考え、
対応していきます。



平和堂

滋賀・福井・石川・京都・大阪に61店舗。
本部/〒522 滋賀県彦根市小泉町31
☎0749(23)3111

国際

AKINDOフォーラム

● 報告 ●

都市経営戦略

世界都市経営会議 ■8/2

魅力溢れる世界都市の活力構造に迫る

座 長／望月照彦 (多摩大学教授)

パネリスト／ソフィー・マスロフ (米国・ピッツバーグ市長)

中田鉄治 (北海道夕張市長)

スーザン・プロクター (英国・チェスター市長)

榛村純一 (静岡県掛川市長)



水谷研治氏より「企業も行政も質の高いサービスが求められている。長期的なサービスを持続するための体質づくりが必要であり、そのことを近江商人が教えてくれていたのではないか」との基調講演を受けて、内外で、独自の都市経営を展開されている市長らを囲んでのパネルディスカッションが開始。

行政が企業的なセンスでその地域にふさわしい、住民が豊かな安定した生活のためのサービスをいかに提供していくかが、望月氏のサポートを交え熱っぽく進行されました。

ビジネスマンの資質

世界起業家会議 ■8/3

21世紀のビジネスマンの条件を考える

座 長／植山周一郎

パネリスト／ヴィリム・ヴァサタ (TEAM/BBDO会長)

櫻田 慧 (㈱モスフードサービス代表取締役会長)

ジェフリー・ワイルド

(ニューサウスウェールズ州観光振興協会会長)

山口峻宏 (㈱オーディーエス代表取締役社長)

世界の常識ともいうべき、フェア、ギブ・アンド・テイクのライフスタイルを身につけ、魅力あるパーソナリティを持つことが真の国際人ではないだろうか。

フリーマントル氏、堤清二氏の特別記念講演につづき、徳山氏からは「テイクよりギブを大切に考える」との基調講演があり、それを受けて、国際的に活躍されている実業界の方々よりの提言。「お客様の喜びがわが喜びというあきんど魂が大切」「その国の文化風俗習慣を尊重した海外での活動を」「世界を理解するためには多方向、両方向の考えが必要」「とにかく英語が話せなくては」などなど、世界で孤立している日本が今何を考えなすべきかの多くのサジェスションが噴出しました。日本が世界で活動する時、近江商人が持っていた諸国での商いの精神こそ求められているようです。

■特別記念講演

セゾンコーポレーション会長 堤清二氏

作家 (イギリス) フリーマントル氏

近江商人こそ真の国際人としての素質をもっていた「三方よし」の考え方は今こそ大切な理念である (堤氏)

世界で孤立している日本。欧米との真のパートナーとなるための積極的な努力が急務である。(フリーマントル氏)

企業経営から都市経営まで、
今、AKINDOマインド

AKINDO
AKINDOフォーラム

● 報告 ●

触れ・遊ぶ

商人と湖国・文化展

■1991/7/25~8/5

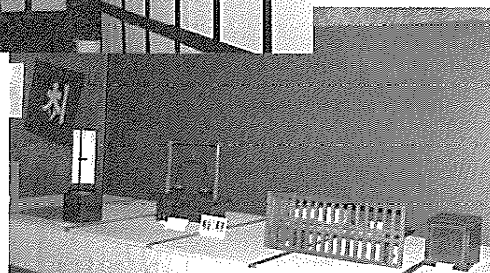
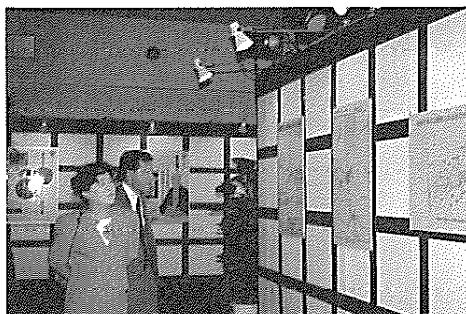
■ヒストリー館(近江商人展)

近江商人の日常生活を紹介

近江商人の日常の暮らしを紹介したヒストリー館には、県内外の各地に現存している貴重な道具類をはじめ、近代経営の基礎となった大福帳などが数多く展示されました。

近江商人の経済力を伺うことのできる高価な衣装には目を見はるものも多く、商売人としてだけでなく多くの素養をもっていたといわれているだけに、趣味の範囲の広さを実証する嗜好品も多く含まれていました。

期間中に延べ3,000人の入場者があり、近江商人に関するクイズ正解者には、県内各企業よりの協賛の豪華景品が準備されていました。



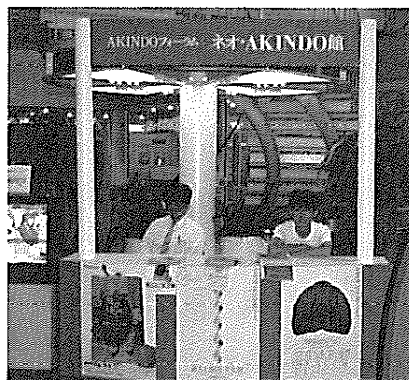
■ネオ・AKINDO館

湖国の味と技が一堂に

AKINDOフォーラム協賛行事が、大津市におの浜の西武百貨店において開催。

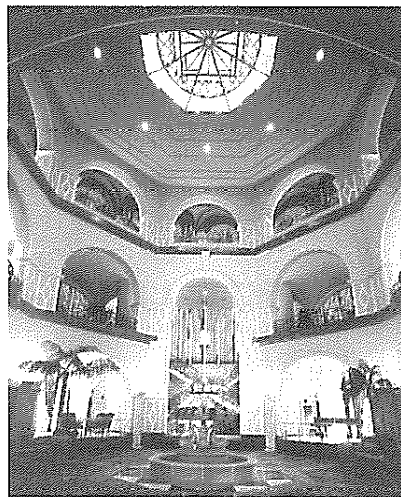
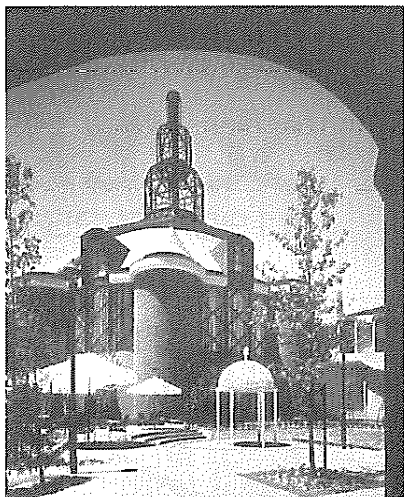
滋賀県の湖国21世紀ビジョンの基本戦略をパネルで展示。そして、6階西武ホールでは商品そのものが文化を伝える時代に対応した今を映す新しいパッケージの数々が紹介された「ネオ・パッケージ展」が開催。トキメキを演出するもの、地球環境にやさしいエコロジーパッケージ、包装だけでなく多機能なパッケージなど若手アーティストによる自由な発想のデザインが多く集められていました。

そして全館では、湖国の豊かな自然の中から生まれた味覚や伝統的工芸品から最新技術による物産などの売り場が設けられ、まさに湖国の味と技一色となっていました。



24時間マインドリゾート

アートな時空間に、心遊ばせたい。



中庭にそびえる、クラシカルな塔、八角形の吹き抜け空間から中世の風俗を思わせる見事な壁画が描かれている。この壁画は、中世の貴族が集うさまをあたかも本物のごとく表現をした、世に言うだまし絵である。作者は世界的に著名な壁画作家のバルブニース兄弟(フランス)の作で、日本では唯一めずらしい逸品である。まるでヨーロッパ王朝時代の劇場(テアトル)にでも迷い込んだ不思議な雰囲気。そして、このアトリウムを囲んでレストラン・スポーツクラブが回廊のようにレイアウトされていて、見るほどに歩くほどに、ホテルの中はちょっとした迷宮殿であり、まさにおとなの休息の場であることは言うまでもない。

 ROYAL OAK HOTEL

ロイヤルオークホテル

滋賀県大津市菟野浦23番1号 〒520-21 TEL.0775-43-0111(代表) FAX.0775-43-9100



あきんどフォーラム

ビズ・コール！

ウォッチ&トーク「AKINDO大集合」

近江商人、〇〇〇〇人に聞く！

「近江商人」という言葉の裏には、良くも悪くも言われている様々な姿が見えかくれています。国の内外で多くの本県出身の人々が経済界で大活躍されているのは、事実であります。

世界各国より、日本全国より近江商人が一堂に会して、湖国ふるさとへの思いを語り合い、未来を考えていこうと、会場にはアナライザーを装置して、全員でふるさとを見つめ、近江商人の真の声を集めてみるのが企画されました。

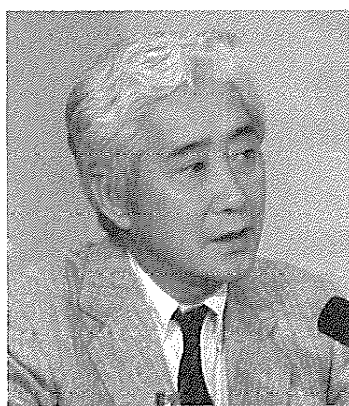




稲葉 皆さま、こんにちは。滋賀県

知事の稲葉でございます。ようこそ、この「ビッグコール・あきんどフォーラム」にお越しいただき、本当に嬉しく思っております。心からお礼を申し上げます。

わが故郷、近江が生んだ偉大な近江商人をキー・ワードといたしまして、これからのビジネス、そして町づくり、そして明日の滋賀を考えてまいりました。三年越しでやってまいりました「あきんどフォーラム」の集大成がこの会場ではないかというふうに思うわけでございます。



■コーディネーター 藤本 義一氏

昭和8年大阪府生まれ。大阪府立大学経済学部卒。昭和32年「つばくろの歌」で芸術祭文部大臣賞（演劇脚本部門）。映画は「大シリーズ」（大映）、「駅前シリーズ」（東宝）を担当するなど、これまで映画、テレビ、舞台3,000本以上の脚本をものする。昭和49年「鬼の詩」で第71回直木賞。著書「蜚の宿」（第7回日本文芸大賞）など多数にのぼる。日本ペンクラブ理事、日本放送作家協会関西支部長。

きょうは、近江商人大集合という催しでございます。皆さまが主役でございますから、これから先、どういうふうな展開になっていくか、主催者である私もまったく予想はつきません。は

親父は丹波の篠山から大阪に出てき

遠い湖の記憶

らはら、どきどきしております。ここで皆さまからいただきます皆さんのご意見、ご提言、あるいは、ご感想といったものをしっかりと受け止めさせていただきます、そしてこれから、さらに

藤本 きょうは、どうしてコーディネーターという大役といたしますか、僕にはまったく似つかわしくないことをやるかといいますが、これはうちのおふくろが近江商人で、五代前は太宮藤兵衛という近江商人で、能登川出と言っていますから湖東商人じゃなからうかと思えます。麻とか、そういうものを商っております、いま京都でロー

ブを商っている従兄弟がいます。私の母方の祖父が大阪の四ッ橋で表具師をやっております。腐らないものばかり扱っているわけですね。これは、近江商人の一つの典型じゃなからうかと思ふんです。

て、丹波から出てきた男と近江から出てきた女が大阪で一緒になりまして、私が生まれたということになっているわけです。そこで近江商人は、これから一体どういう道を歩んでいくか、過去はどういうことであつたかということをやってみたいと思います。まず駒井さんからお願ひします。

駒井 私祖先も、湖西の安曇川町の北舟木から京都に出て、さらに南部の国、岩手県東閉伊郡にある三陸海岸の宮古市というところに出ております。この近江の国から遠い東北の岩手県へどうして来たのか。当時いたしますと、いまの外国へ行くよりもまだまだ大きな決心をして出かねければならないような遠い地に、近江商人としての夢を託して出かけたのは、一体どういうことだったのだろうかと非常に興味と関心を持ちました。

機会がありまして、いまは安曇川町の北舟木の駒井マサミさんという方とルーツがありまして、行き来をしております。そして、近江商人の血を受け

素晴らしい滋賀をつくっていくために活かしてまいりたい。このように考えているような次第でございます。どうぞ、よろしく願ひいたします。

継いでいることに対して非常に誇りを持っておりまし、これからさらに努力しながら頑張っていかなければならないと、心に期しているわけでございます。

私は、仕事、あるいは物事を進めている過程で行き詰まったりすると、無性に海に行きたくなるんです。盛岡にありますが、三陸に行って広い海を見ると、何となくほっとして、活力が湧いてくるという経験を繰り返してまいりました。

このことを「京都新聞」のある記者

日本列島の中心で

藤本 いま、駒井さんがおっしゃったように、海を見たいという気持ちがある。県の六分の一を占める琵琶湖に結集してきたところに何か大きな意味があるし、そこからまた外へ発展していくところに、近江商人の大きなエネルギーみたいなものを感じるわけです。

日本列島の中心といってもいい、大きな湖を持って、まったく山に囲まれたところに誕生した近江商人について、西川さんにしゃべっていただきたいと思っています。

西川 いま皆さんは海外へどんどんいらっしゃいますが、そのころの滋賀県から江戸、あるいは北海道と、いろんなところへ、また海外にも出かけているでしょうが、やはり、進取の気性

の方に話したら、記者の方が、「やっぱり、あなたは近江ですね」と言うんですね。「琵琶湖という湖の歴史、伝統があなたの血のなかにもあるんじゃないか」と。「言われてみたら、そうかなあ」と思いながら、もういっぺん琵琶湖を眺めてみますと、これから未来に向けて、滋賀県がこの琵琶湖とともにどういう生き方をするのか、ということが一つの課題になっているのではないだろうかとか痛感したわけでございます。

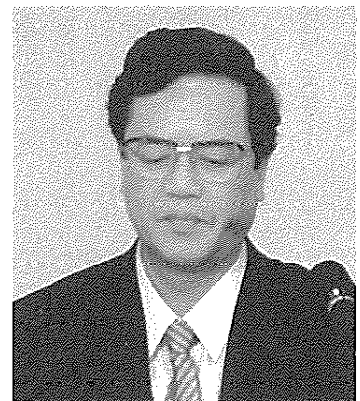
と堅実さが前提にあったのじゃないかと思えます。

滋賀県は琵琶湖のある県で、種々の多くの要素を持っていると考えられます。稲葉知事には、県政のなかにおきまして、「湖北二十一世紀ビジョン」という素晴らしい計画を持ってらっしゃいます。水と緑、人と物との交流、歴



■パネラー
岡 嘉一氏

大正6年新潟県生まれ。㈱大阪屋代表取締役社長。大阪屋雪国食品㈱社長。新潟ステーションデパート㈱社長。新潟県中小企業団体中央会会長。創業者から6代目である。



■パネラー
駒井 健氏

昭和6年岩手県生まれ。岩手大学教育学部教授。岩手滋養県人会会長。岩手県国土利用計画地方審議会委員等岩手県、盛岡市等の公職を多数勤める。県人会活動に熱心で、東北地区の近江商人の末裔に広く呼び掛け、「末裔会」を新たに設立している。

史と文化、進取の気性と堅実性ということでございます。その他、ふるさと滋賀県の風景を守り育てる条例、十年以上続いております「琵琶湖総合開発」が、国と一体となって、保全治水、水利管理等が実施されて、万全を期していられるので、私から何も申し上げることはないのではありません。この前、私は金沢から湖西線を通りまして大阪へまいりましたが、湖北の美しさは、スイスのジュネーブにあるレマン湖のローザンヌに匹敵すると思えます。

また、ご承知のように、古代は大和朝廷と結ぶ道でありましたし、近江朝廷や宮殿の跡がたくさんあることも、本で読ませていただきました。現在、工業の開発では、ハイテク産業が集中して、工業の面からも非常に主要な地域になってきているわけでございます。種々の開発計画と、それに対する規制によりまして、ハンディキャップ地域にならないよう、調和があり、豊かで安全な地域になることが望まれるのではないかと考えております。

AKINDOフォーラム
ビッグコール!
AKINDOフォーラム

近江商人の精神発掘

藤本 僕のばあさんも近江の血をひいておりますので、「始末」と「きばれ」ということをよく言いましたね。そういう根本的なことを、岡さんも、これを守ってらっしゃるか、聞いてみたいと思います。

岡 三年前、一三〇年のときに記念誌をつくろうと思って、先祖のルーツを探しにせがれを派遣しました。豊郷町の皆さん方の協力をいただきましたが、「ところで、お前さんの先祖の名前は？」と聞かれたんですね。

「嘉平でございます」

「嘉平という名前を付けるのはこの村には一軒しかない。おそらくそこだと思っから、探してあげよう」ということになって、とんとん拍子にわかった。

記念誌をつくりまして、お礼に豊郷、彦根等へお伺いしましてから縁ができました。

したがって、近江商人の末裔といえども、三年前までは、私も、何の知識もなかったわけですが、近江に縁ができてから、特に小倉先生の著書等を通じて、近江商人の経営理念と申しますか、何百年の伝統と申しますか、その素晴らしいさに圧倒されました。

この近江商人を「あきんどフォーラム」として滋賀県でお取り上げになった。稲葉知事さんの発案だそうで、本当に素晴らしいと思います。これをてこにして、「近江商人の精神発掘をぜひやっていただきたい」というのが私のお願いでございます。

と申しますのは、昨今の騒動は大変なことでございます。マスコミの報道を見ましても、財界団体の長老連中が、「いままでも利益追求主義であったことを反省しなきゃいけない」と言っているわけでしょう。こんなものは当

たり前のことでございます。損得と善悪の区別がつかない。損得を優先しすぎて、やることの善悪の判断が曇っているから、変なことになっちゃう。これは、近江商人が何百年來、唱えてきたことであります。

いま、いわゆるハウ・ツー、ノウ・

創造、革新、進取

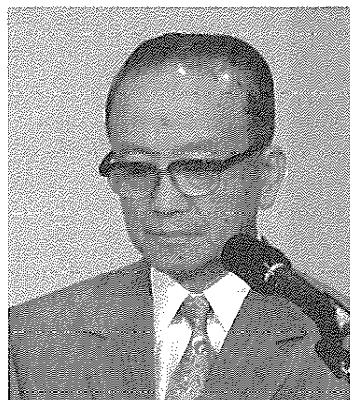
藤本 確かに利益追求のなかで善悪と損得がまったく入れ替わったような現在なんですけれども、そういったところを、中村さん、切り込んでいただきたいと思います。

中村 約二十二年、八幡の家を閉めまして、京都のほうへ仕事の関係で出てきましたときには、滋賀県の県民一人当たりのGNPは尻から何番目ぐらいで、とにかく、ずっと後ろのほうだったんです。ところが、ここ二、三年をみてみたら、県民一人当たりのGNPは五位なんです。京都が六位ですから、京都を追い抜いてしまっ

余りに増えております。これは、滋賀県の人がたくさん子供を生んで百二万になったんじゃないかと、他府県から移住されてきた人で五割ほど人口が急に増えた。私は、こういうことだと理解しているんです。

近江商人というのは、滋賀県で生まれて、苗くらしまでは滋賀県で育ったんですが、実際は、みな他府県へ出て大きくなっている。滋賀県では、この苗は成長しなかったんです。私は、近

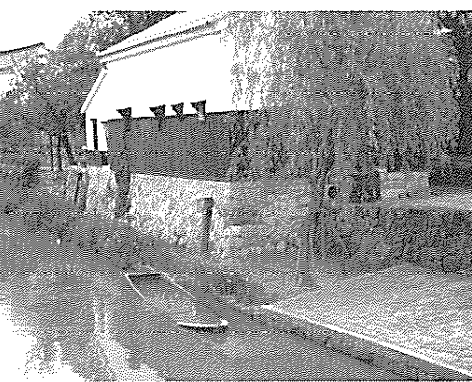
ハウとか施設とか制度をいう前に、それを運営する基本的な理念を、特に滋賀県が行政として強力にお取り上げいただいて、そして、問題の多い社会に対して警鐘を鳴らしていただきたい。これが私のお願いでございます。



■パネラー
山崎 重男氏

大正12年滋賀県生まれ。昭和12年、博多人形のお宿松居東京店に高小を出て入り、東京支店長、取締役本店長を経て昭和46年より昭和61年にやめるまで常務取締役を務める。引退後、着ものコンサルタントとして現在に至る。福岡滋賀県人会第3代会長である。

それと、もう一つ、大きく変わったのは、大体七十、八十万の人口が長いこと続いていたのが、現在百二十万



滋賀県には、せっかく生えてきた苗を大きくするような土壌がこれまでなかった。苗はみんな枯らしてしまったのか、とりあえず大きくはならんだというのが、過去の滋賀県だったと思うんです。

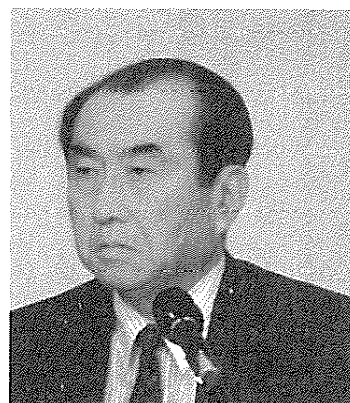
確かに、工業県になってGNPが増えたんですが、これは元からおられた滋賀県の方が急に増やされたんじゃないかと、ほとんどの工場は他府県から誘致されてきたように私は理解しているんです。その工場の生産額によって、

滋賀県の富が急に増えてきた。それに伴って、他府県から人口が約五割増えるほど人が入ってきて、それによっていま何が起こってきたかといいますと、過去の滋賀県とは条件が非常に大きく変わってきた。おそらく気質も急に変わりつつあるんじゃないか。

近江商人が活動したなかで、嫌な面もずいぶんたくさんあったと思うんです。事実、私自身も誇りを持って「近

恨
みを買うな

藤本 いま中村さんがおっしゃったなかで、氣質が変わってきたんじゃないかというのは大変難しい問題だと思っています。山崎さんは博多のほうへ行かれて、現在活躍中ですけれども、博多



「江商人とながりがある」と言うときもありまして、何か近江商人というところずかしいような気がするときもあるんですわ、正直に言うところ。ということでは、決してよいところばかりじゃなかったら思っています。

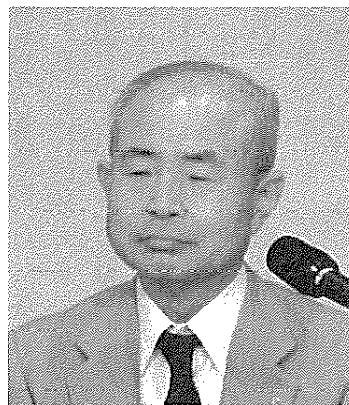
これからは、創造あるいは革新とか進取といった、近江商人が持っていた良いほうの普遍的な特質を、他府県で活かすんじゃないくて、そういうことを受け入れられるような滋賀県に生まれ変わらせて、滋賀県をよりよく豊かな県にしていくなことが今日の課題じゃないかというものが、現在、私が滋賀県に対して考えていることでございませう。

から見た近江、近江から見た博多ということを、ひとつお話し願いたいと思います。

山崎 私は蒲生郡竜王町の出身でありまして、昭和十二年に苗村尋常高等

■パネラー
西川 甚五郎氏

昭和6年滋賀県生まれ。西川産業株式
第14代代表取締役社長。西川家に伝
わる古文書の保存について、現在、
検討中。西川繊維工業株式会社代表
取締役社長。西川産業株式会社代表
取締役社長。西川関係各社員。西川
チェーン専務理事。社団法人日本
ボランティアチェーン協会副会長。
社団法人日本流行色協会副理事長。
東京繊維協会理事長。



■パネラー
中村 伊一氏

大正9年滋賀県近江八幡市生まれ。京都証券取引所理事長。旧八幡商業、横浜高商、東京商科大学の卒業生である。京都経済同友会幹事、㈱ワコーの副会長を経て、相談役。京都滋賀県人会副会長である。

小学校を卒業いたしましたして、博多織元松井の本社が九州で、私は寒いことが苦手でありまして、九州なら暖かいだろうというので、松井に入社しました。そのときに入社したのは、青年社員二十名でございました。私は、天の配剤で、いちばん寒い東京支店に就職をさせられたわけでございます。

この博多織元松井のご説明をさせていただくと、ご先祖は元彦根藩の御用商人でありまして、そのころから近江商人の独特の持ち回り業といえますか、持ち下り業をやっております、柳川の立花家とか、佐賀の鍋島藩とか、そういったところへ、京呉服ならびに

いろんな反物を持ち回りまして、商売をして、帰りに佐賀、長崎から生糸を買いまして、それをまた京都へ持って帰って商売をするということであつてきたわけであります。

そういったことで、近江商人は非常に質実剛健でありまして、私も丁稚時代から鍛えてきたわけであります。人さまに恨みを買ってはいけないということ、信用を大事にするというのが、近江商人のいままでの生き方ではなかつたかと思ひます。

博多の松井は機三台から始めましたけれど、黒田藩の時代から伝わってきておりましたような、いい商品ばかりをつくって販路に流していった。そういった関係で、博多織の長い歴史の中では「中興の祖」といわれるぐらいで、昭和の初めには日本一の博多織製造業者になり、販売業者になったわけでございます。

昔から、近江商人は移り住んだ土地のために貢献をして、地道に商いを進めていく。質実剛健で、非常に進取の



■パネラー
廣野 寛氏

大正10年滋賀県生まれ。滋賀銀行取締役会長、滋賀県経済団体連合会会長、(社)滋賀県経営者協会会長など、県内経済界の重鎮である。昭和63年の構想検討段階から参画いただき、平成元年度よりあきんどフォーラム実行委員会副会長。

気性に富んだ体質があったのではないだろうか、と自覚をしている次第でございませう。そのために、滋賀県で栄えなくて、商人は全部出ていった先々に根を生やして、企業が栄えてきており

ます。が、ルーツをたどりますと、滋賀県の商人は、本当はまだまだたくさん輩出してくるのではないだろうかと考えているわけでございませう。

キー・ワードは「合理主義」

藤 本 さて、廣野さん、提案をお願いしたいと思ひます。

廣 野 私なりに考えてみたんですが、近江商人については、いろんな人がいろんなことを言ってますわ。それを何か一つのキー・ワードでまとめられないかと考えてみますと、「合理主義」だと思ひますね。

なぜそういうことを言うかといへば、まず、近江商人がやってきた営業面のやり方、諸国産物回しだとか、持ち上がり、持ち下がりとか、独自商法といわれまますが、これらの商法をよく考えてみると、幕藩体制のときの品質的な需給の相違、ないしは価格的な相違を合理的に利益に結びつけたというのが

近江商人であつたと思ひます。

商売のやり方の形態が、出店の方式を取りましたね。これは、いまだいへば支店経営方式ですわ。主だった所に支店を出して、その場所定着して仕事をやるという支店経営方式です。しかも、この支店を、近江の本部がコントロールするというやり方です。いま考えても、大変合理的な仕事の仕方ですね。

それから、いろんな人がいう、商業倫理の重視ということがあります。「浮利を追わず」とか「三方よし」。三方というのは、お客、世間、自分自身です。出店方式でその土地で長続きして成功させる最も合理的なやり方は、

商業倫理の重視であつた。お客もいいし、自分もいいけれども、その土地の世間にもよろしいという商業倫理。これは非常に合理的なやり方という気がしますね。

次に、営業面ではなく、商売の管理面にも一部に合理性があると思ひます。たとえば、近江商人の人事管理は、出店で遠くへ行つて仕事をするので、大部分は近江人を使つてゐるんですね。地元採用もあるようですが、これはどうも補助仕事だけしかつたようですね。本来の仕事をするのは、滋賀県から全部雇つてゐるんですね。これは、異国の地での団結には非常にうまい方法だと思ひます。それから、昇進の仕方が徹底した実力主義です。この実

力昇進主義と待遇とを、きちっと結びつけてあるわけですね。これも大変に合理的なやり方です。

それから、もう一つ。当時の宗教は仏教ですが、商人はほとんど浄土真宗です。浄土真宗の教えを従業員に思想統一に非常にうまく使つてゐます。だから、近江商人の日常を見ると、本部でも、仏事は相当重視した毎日の行動になってます。こういうように、人事管理のやり方でも非常に合理的ですね、考えれば考えるほど。

その次は、財務管理。これについては、支店方式を取りながら、財務は本部集中主義ですね。支店の財務は定期的に必ず本部へ報告させるということで、財務のコントロールの仕方は本部でまとめてコントロールするというやり方ですね。

それから、さらに驚くのは、徳川の中期から末期に、すでに独特の複式簿記を編み出しています。これは西洋式の仕分け方式の複式簿記ではないんで



すわ。大福帳といわれ、それぞれの帳簿のつき合わせ方式という格好で、実質、複式簿記と同じ効果が出てくる財務をやってますね。

こういうように見てまいりますと、近江商人の本質は合理主義だと思えます。

足元を見直す

藤本 いまパネラーの方からいろんな説が出ましたけれども、行政面で、具体的にどういうふうに運用して、これからの滋賀、あるいは近江商人たちの遺徳を伸ばしていくかというところを、駒井さんからお願ひしたいと思ひます。

駒井 私は、最初に、滋賀県は琵琶湖に代表されるシンボリックな県だけれども、一色、一律なのかどうかというのを考えてみる必要があるんじゃないかと思ひんです。

やはりいろいろの市町村があり、農村、山村、あるいは都市と、いろいろな特性を持った地域があるわけでござひます。そこで、地域単位に、そこに住む人々が、簡単な言葉で言うと、足元をもういっぺん見直してみることが必要なのではないか。これをひとつ提言してみたいと思ひます。

足元を見直すことから、それぞれの地域がどういふ問題を抱えているのか、あるいは、これからどういふ可能性を秘めているのか、ということを見出し、知恵を結集して取り組んでいくことが、大事な基盤になるのではないで

しょうか。そういうふうな地域の問題を考えていきますと、それぞれの地域にはそれぞれの特性があると同時に、共通したテーマが一つあると考えます。その共通したテーマは、全国的に言われている傾向がありますが、人づくりではないか、人材育成ではないか。その人材育成をどうやっていくかというところ、ポイントがあるのではないかと思ひうわけであります。そのためには、リーダーづくりじゃないか。それぞれの地域で人づくりをするのであれば、どういふリーダーを育成するかということが、非常に大事な課題になってくると思ひます。

それから、二番目は、宗教と関係してくるか、あるいは先達の近江商人の思想と関係してくることになるのかもしれませんが、他人のために汗を流せるような仕事を進んでやる機会をつくってやるのが大事なのではないか。社会のため、人のために汗を流すことが評価されるような滋賀県の地域性があってしかるべきなのではないだろうかと思ひます。

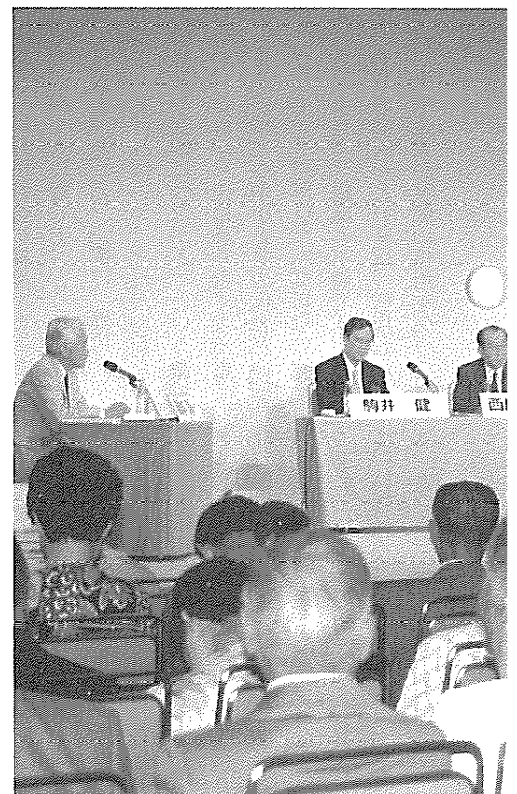
それから、三番目は、一つの人づく

りの仕事に成功するまで、十年単位ぐらいの時間をかけて持続して努力することが大事なのではないかと思ひます。

この間、安曇川町の青少年ホームの方々が、盛岡市に、交流を求めてやってきました。十二名の青年の方々は、同じ仕事ではなくて、公務員あり、商売をやっている人あり、いろいろな業種の方々、男女ともにやってまいりまして、意見交流会を三泊四日にわたって行ったわけでござひます。

そういう異業種間で若い人たちが意見を交換する、あるいは意見の交換をしながら研修できるというような場を、行政が積極的に仕組んでいく。あるいは、自分たちで若い人たちが計画を立てていくことが、非常に大事な課題になるのではないかと思ひんです。

それから、そういう人材育成のために、滋賀県で、滋賀県の若者なり人材育成をするための手だてを立て、伝統的な近江商人を生んだ県として、商業



経済、あるいは商業系統にかかわる研修を望む他地域に優秀な講師を派遣してあげるような制度をとったらどうでしょうか。そして、講師派遣を受けた県の人々は、今度は、滋賀県のこういうフォーラムのような、人材育成の本部研修のようなものに来て、交流を持つ。そういうことを考えるぐらいの大きな観点でものを考えてもいいんじゃないかということが、一つあるわけでございます。

AKINDOフォーラム
ビッグコール
AKINDOフォーラム

東北の末裔たち

駒井 それから、もう一つ申し上げ

たい点は、外に出て非常に長い時間がたちますと、近江商人の末裔として生きていく誇りは持っておりますが、三代、四代にかかってくるきと、それぞれの土地で、県人になりきっていくわけです。近江商人の末裔という意識はあるが、滋賀県人という意識はなくなつて、秋田県人、青森県人という意識が強くなってまいります。そういう傾向は、これからもどんどん強くなっていくわけでありますから、その末裔としての誇りなり結びつきなりをどういうふうにつくっていくかということが、滋賀県の地域の活性化を得るための手だてとして、非常に大事な項目になるのではないかと考えるわけでございま

す。

岩手県では、滋賀県人会を持っておりますと同時に、末裔会を東北の方々と呼びかけ、この開会に間に合うように『近江商人、東北の末裔たち』という本をつくってみました。第一部では、近江商人って何だろうと考えるページを設けましたし、第二部では、それぞれ、どういうふうに生きてきたのか、

ビズ・カンパニーよりグッド・カンパニー

藤本 岡さんは、どうですか。行政とどういった接点を持っていたらいいかということについて、ご意見がありましたら聞かせてもらいたいと思ひます。

岡 私、新潟県の中小企業団体中央会の会長を仰せついています。中小企業庁の二年ほど前からの重点施策は、異業種交流でございます。

新潟県の中央会の機関紙を見ましたら、近江のことが出てましたよ。異業種交流の例です。「天秤にかける商いの道、協同組合近江天秤の会」と、滋賀県の珍しい物産の方が十七社集まって協同組合をおつくりになって、郷土の商品をつくって活発に動いてらっしゃいますね。

それから、雇用問題政策会議という

ご先祖からどういう受け伝えを持っていくのかということを含んで寄せ書きをしながら確かめ、そこから未来を見つめていくという形をとってみたいわけであります。

近江商人の末裔の方々ができるだけそういう意識を持ってつき合える、交流できるような場を、滋賀県自体がつくっていくことが、新しい課題として必要なのではないかと思ふわけでございます。

のが、ついでの間でございました。これは労働省の諮問懇談会です。公労使、行政、消費者の各団体の二十一名が集まりまして、会長が東大の名誉教授の大内力先生です。私は「使」の代表を仰せつかりまして出てます。

メイン・テーマが「労働力尊重時代にふさわしい経済社会の構築」だったんです。働く人に対して、どういう姿勢で経営者が臨むか。「働け。働け。利益を上げればいい。それがお前たちの昇進の査定につながる」というやり方が、これから先は通らなくなると思ひます。私も中小企業の代表といまして、「お金はそんなにない。人材もいません。組織も不備です。ただ、あるのは何かといえば、信用しかない。中小企業が世間の信用を失うこ

とがあったら、翌日、倒産です」という意見を発表したわけです。労働力尊重になってきたならば、世の中をがらりと変えなければいけない。いまのようないいのかどうかということをも痛切に考えております。

私はずっと前から、「われわれのところは小さな会社だ。スモール・カンパニーだ。けれども、グッド・カンパニーにはなり得るよ。みんなで力を合わせて、グッド・カンパニーにしようではないか」と、社員に対してアドバランを上げています。力を合わせて、グッド・カンパニーをつくらうではないか。それが、労働力尊重につながるのではないかと、いうことでございます。

私も十九年前から完全週休二日制をやっておりますからね。いまは、月一回三日制を採用しております。年間休日日は百十七日です。

とにかく、いい会社をつくっていく。そうすると、近江商人の精神基盤そのものが、ずばり適用できると思ひます。近江商人が、何百年、営々として築いてきた経営理念と申しますか、精神基盤は、素晴らしい力を発揮すると思ひます。これを滋賀県のご当局は大いに取り上げていただいて、「労働力尊重時代にどうやったら役立つか」ということについて、施策として、行政として、いろいろな案を立てていただければ、という気持ちでございます。

出生率低下と単身赴任

藤本 西川さんの場合、十四代という以前からのものをどう引き継いで、それを未来の社員にどう渡していくかという具体的な話をお願いしたいと思っています。

西川 いま、子供が生まれるのは百二十万人ぐらいで、非常に減ってきています。ある学者の先生のお話では、百八十万ぐらいは生まれないと国の勢いがつかないということになっております。

いま産院が閉鎖するところが出てきております。幼稚園もそうです。これから先、小学校、中学校、高校、大学と有名校には集中すると思いますが、全体的には競争の原理が働かなくなってくるということになります。

足元を見直すことをよっぽどしかりやらないと、先進国にもそういう例があると思うんですが、競争の原理が働かないので、国の勢いが、また産業構造が変わってくるということになります。

私どもにも、単身赴任のケースがあります。いまは子供の教育が非常に問題になっているんじゃないかと思えます。

こういうことにつきましては、今後、もっと手厚くシステムを考えていきませんか、先ほど申しました、人口

が減ってくるために、雇用に対して、売り市場といえますか、学生のほうが選んでくるわけですから、競争の原理の働かないなかで、いかに近江商人のイデオロギーを涵み込ませていくかということとは、これからは非常に難しいと思います。

裏側の方法

藤本 廣野さんにお聞きしますが、近江商人の家訓とかを読んでいますと「知恵なき者は去れ」という厳しさがあるんですが、日本の場合は終身雇用で、いまはそれがないように思うんですが、これをどうお考えになりますか。

廣野 近江商人のときの社会環境が、特に滋賀県においては、著しい労働力供給過剰環境ですわ。ところが、いまはその場面が裏向けになっているから。おそらく「いまの近江商人は、そんな馬鹿なことはやりませんよ」ということだと思っんですね。方法としてはまったく裏側の方法で、裏側の最も合理的な方法は何かという発想をする必要がある。

藤本 何かアイデアがございませんか。
廣野 いまの労働力不足時代には、



労働者が最もほしがらる条件を与える必要がある。時間の問題なり、ペイの問題ということだね。

藤本 行政サイドと民間企業サイドとの歩み寄りというか、そういう働きかけは、徐々に生まれてきているんですね。

廣野 このところは、必ずしも行政にタッチしてもらわなくてもわれわれでやれる話ですが、人事管理面ではちばん行政にタッチしてもらわなきゃならんのは、現在の単身赴任がなぜ起こっているかということです。これは子供の就学問題ですよ。この就学構造を直すのは、行政でなきゃできませんわ。文部省だけじゃないのかもしれないが、これを絶対にやってもらわんと、今後、民間企業は非常に行き詰まると思っていますわ。

藤本 こちらからの働きかけはない

んですかね。
廣野 民間だけでは、どう解決しようもないわけです。

中村 いろいろな意見を聞きながら考えたんですが、現在の若い人たちの近江商人に対するイメージが、私たちの若かった時代とは相当変わってきました。私たちの時代には青雲の志を抱き、希望というか、一つの目標でもあったんですが、いまの若い人に聞いても、近江商人が自分の人生の目標だという意識を持っている人は非常に少ない。私たちのころは、特に八幡の小学校はそうでしたが、小学校でもそれが教育の目標でもありましたけれども、どうもいまは価値観が非常に大きく変わってしまったと思います。

このころは、次男、三男を探すのが非常に難しくなりまして、昔はやむをえず他府県へ出ていったんですが、これから先、過去のようにたくさんの方が、はたして滋賀県を出て他所で働くようになるかどうか、これは問題だと思っんです。

AKINDOフオーラム
ビッグコール!
AKINDOフオーラム

伝統の教育

藤本 さて、皆さん、アナライザーを四百十一名お持ちになられているようでありませうけれども、「すでに近江商人という言葉は死語である」という方は、ONのほうにやっていただけですか。逆に、「近江商人は、二十一世紀に続いていく」という方は押さないでください。

六〇パーセントの方が「死語である」とおっしゃった。ということは、四〇パーセントが「まだ精神土壌のなかにある」と。

山崎さん、この数字をどう思われますか。

山崎 私は、まだまだしばらくは続くんじゃないだろうかと思っています。藤本 しばらくというのはいくら……。

山崎 十年ぐらいいいじゃないですかね。われわれの息子の代までぐらいい。その孫の代になると、意識がぐっと変わると思います。

藤本 伝統を伝えるというのは、駒井さん、教育の面からいくと、どうやりやすいですかね。

駒井 やっぱ、系統的に整理したものとして公開することじゃないかと思うんです。

たとえば、盛岡市に先人記念館というのがあるんです。で、十二月一日から平成四年の二月二日まで、「盛岡の

先人、近江商人群像」というテーマ展が、いま準備されているんです。一昨年もあった近江商人の顕彰をやりたいという案が出て、三ヶ月も行われていくわけなんです。

そういう面では、いま出ましたアナライザーの数字からいくと、盛岡で、もしアナライザーを使って押したとすれば、近江商人の群像の評価はもう少し高く出てくるのではないかと思います。

藤本 それも単なる郷愁とかそういうものじゃないですね。

駒井 末裔が実在しますから。

損得より善悪

藤本 さて、われわれはスタンスを置いて近江を見ているんじゃないか。しかし、遠いものじゃないでしょう。大変気になる存在ではないですか。

岡さん、ひとつ、代表でおっしゃっていたいただきたいんです。

岡 なりますよ。

大事なのは経営理念だと思うんです。確固たる経営理念をつくるために、三年前からですが、近江商人の教えが私にとってどれだけプラスになったか。本島に、私は有り難い。これをできるだけ活用していきたいと思っております。



す。

私は、中年からの脱サラのあきんどですから、何もわからない。勉強しようとして行ったのが、『商業界』の倉本先生のゼミナールです。そこで教わったこと、近江商人の何百年の伝統のある教えと、同じなのです。それで、私は「絶対これは間違いない」という信念を持って、いま商売に当たっているわけです。先生から教わったのは、「損得より先に善悪を考える」。これしかない。この一言です。

あきんどですから、利益をつかむのは、目標、目的。これは間違いないません。しかしながら、問題はそのつかみ方にある。「どんなことをやってもいいから、利益を上げる。上げたやつは昇進、昇給の対象になる」ということが、いま行われているわけでしょう。そのために、しわ寄せを受けた多くのサラリーマンがぼろぼろになって、過労死というとてもない問題にまで発展しているんじゃないですか。

やはり、こういう経営理念を持ってやるかということが、いちばん大事だと思います。そのために近江商人の教えがどれだけ私にとって大事な教えになっているかということをごさいます。

藤本 最後に、総括的に言えることは、きょう、お集まりになった方は、それぞれ先祖の持っている何か、血といいますが、エキサイトしていく部分、自分が他府県にあってもあるということ、大きな一つの財産だと思います。その財産を、いろんな形で伝えたい。そして、きょう、何かを得たと感じられたら、たいへん嬉しいと思います。

AKINDO フォーラム
ビッグゴール!
AKINDO フォーラム

■ 繊維総合卸 ■

呉服・寝装インテリア・毛皮・宝石・ハンドバッグ

■ 第三事業部 ■

洋品・NEWきもの・ネックレス装飾品・家具・健康食品etc.

 株式会社ナルミヤ

代表取締役 成 宮 正 敏
(犬上郡豊郷町出身)

本店／広島市中区大手町2丁目3番3号
TEL.082-247-4481

———《ナルミヤグループ》———

株式会社ナルミヤインターナショナル

【本社】東京都渋谷区神宮前3-35-19

ナルミヤエンタープライズ株式会社

広島市中区大手町2丁目3-3

成 宮 不 動 産 株 式 会 社

広島市中区大手町2丁目3-3

びわこ空港開設へ

BIWAKO AIRPORT

交流の時代にふさわしい活力創生の
郷土づくりをすすめ
近畿・中部の活性化の二翼を担うために
滋賀に空の玄関口を

前号においては、一九七三年の県総合発展計画で空港の必要性が提案されてから今日に至るまでの空港開設に向けての経過や、新空港に寄せる期待などを中心に話合われたこの特別座談会、本号では、引き続き開港による効果や空港の利用方法等について出席者の関係各位より積極的なご意見、ご提案が出されました。

■出席者／

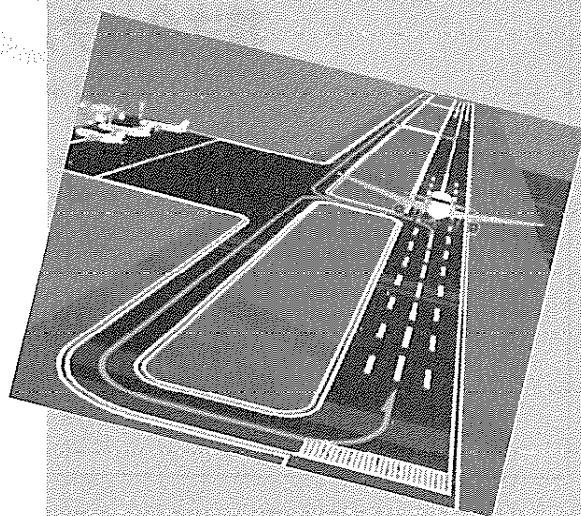
産経新聞論説委員・運輸省航空審議会委員……箱崎道朗氏

日本航空(株)運行本部機長操縦教官(野洲町出身)井口克彦氏

滋賀県東京事務所副所長……池口博信氏

■司会／

全国滋賀県人会連合会理事……中西正一氏





一番信頼性があるのは航空機だということになる時代が！

中西 ふる里にはハイテク産業はかなりあると思いますが……、つくられるものは小さく、かさばらないで、軽くなって、しかも高価で付加価値の高いものを適所に短時間でそれこそ空路を利用して運び出し組立てられて完成品へと直結するということは、よいのではないのでしょうか。

箱崎 大いにあるんでしょうね。それに、第二名神ができて限界はある。まず、労働力が非常に不足してますね。そして、トラックの運転手が確保できない。今、日本航空と大和運輸、日通が宅配便で提携しているんですが、これも運転手不足が引きガネになっている。その中で一番信頼性があるのは航空機だということになる時代です。

もうひとつの視点は、アジアです。今後十年間、二十年を予想すると成長は目覚ましい。今も世界で一番成長率が高い地域です。アセアン諸国と、それから極東の韓国・台湾。そういうところが、部品をお互いに送りあってアセンブリしていくということがますます強くなっていく。たとえば、ミネベアというのは、自分の会社で飛行機を持っている。そして、シンガポール・

ジャカルタ・日本を週二便飛ばして、それで部品を運んでいる。ベアリングを積んで飛んでいる。自分たちが重役会議をやるときも、今度はジャカルトでやろうという感じで、重役が全員日本から飛んでいく。そういうふうなことをやっている。そのようなケースがい로운な産業で増えてくるんでしょう。

パイロットが気になる天候の予知に最大の努力を

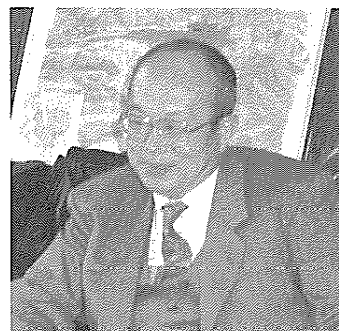
中西 少々、横道にそれて井口さんに伺いますが……

ものを運ぶのと人を運ぶのではパイロットとして気遣いの度合いは如何なものでしょうか。

井口 私も、いわゆる貨物便で、何度か飛んだことがありますけれども、それはもう貨物便の方が気楽ですね。少々遅れても文句は言いませんしね。

中西 そうですか。

井口 もちろん、カスタマーというかユーザの方がいらっしゃいますから、べらぼうに遅れたら文句は言われますが、旅客便ほどは、定時性を厳密に言われないし、それに一番やっぱり怖いのは、お客様がベルトサインをはずしている時に、突然の乱気流で怪我をされとか、安全を損うことですね。そういう面からいいますと、飛行機に



ています。高い高い空の上にとりますと、地上では考えられないほど強い風が吹いています、強い時には、秒速一〇メートルにもなります。速度の小さいプロペラ機では風に負けてしまうことだって有り得るわけです。

予想より向かい風が強かったり、追い風が弱かったりすると、定時性の確保が難しくなります。日本航空では、安全性、定時性、快適性ということを強調しています。三つとも、お天気がかわってきますね。だから話していると、このようにお天気の話はかりになります。実際、お天気に一番気を遣っています。あらゆる輸送機関のなかで、航空輸送が一番天候の影響を受け易いと考えています。

さっき話した、突然の乱気流にしてもそうです。ちょっととした外気温の変化や、風の変化にも細心の注意を払って、その予知に最大の努力をしています。

近年、航空機の信頼性が飛躍的に向上しました。エンジンの故障その他機器の不具合といった機材面での心配は、ほとんどしていません。『承知のように、航空機の重要な部分、機器は二重三重に装備されていますから。』

また、旅客便ですと、最近少なくなりましたが、ハイジャックの心配、お客様の健康状態とか、乗り継ぎのお客様への配慮等などはるかに気を遣うことが多くなります。太平洋の真ん中で



お客様が病気になるったり、赤ちゃんが生まれそうになったりしたら、大事ですから。

では、いま申し上げたようなことを、
 気遣いだしたらきりがありません。
 貨物便だからといって決して手抜きを
 している訳ではありませんので、誤解
 しないでいただきたいと思います。

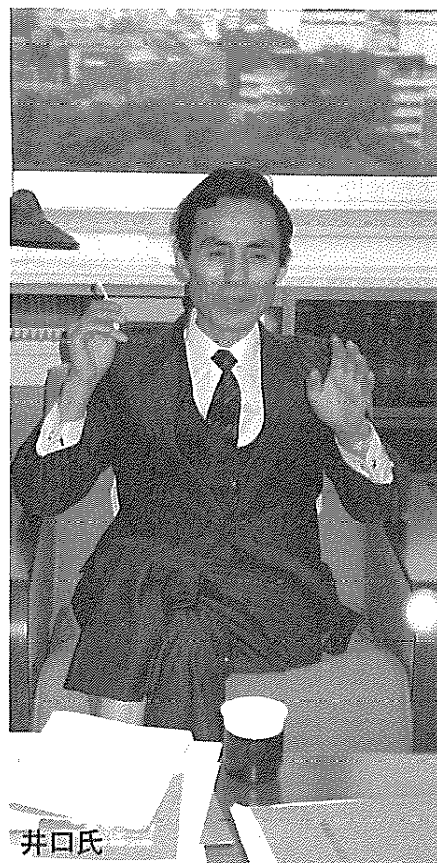
国民休養構想が柱
になった「日本のス
イス」のイメージ

中西 箱崎さんには、昨年滋賀県にお出まじただき、飛行場となる予定地もご覧いただいているのですが、この「びわこ空港」をつくるなら平行して、こういう施設もつくってほしいと思われているのは、さいませんでしょうか。

箱崎 アドバイスというような立場でもないんですが、琵琶湖というのはリゾートとしては、最高に優れている

と思います。

そうするとびわこ空港。たとえば静かなりゾートを想定しますとあそこ行つて、多少なりとも研究しよう、あるいは自分の思った勉強ができるというような環境で小さな図書館を設けて、大学の先生方を呼びこめば、湖畔でゆっくり研究に打ち込んでいただける、大変付加価値の高い、また滋賀県というものをイメージチェンジするには最適なチャンスがあるんじゃないかと、思うのです。滋賀県の場合には、なにせ、琵琶湖の水を汚さないようにしたいと言う願いが大変大きくありますから、飛行機が飛んでも、工場が誘致されても、県民所得がどんどん上がっても、最終的には琵琶湖の水を汚さないで、汚れないように、また自然環境をうまく使つて行こうということは県当局はどうお考えなのですか。



井口氏

が遊びに来て帰って行くということだけでなく、そこで心身ともにリフレッシュして、明日のエネルギーを蓄えて帰っていきけるようなリゾートを目指すというところで、国民休養構想というのがひとつの柱になっています。簡単に言いますと、「日本のスイス」を目指すというようなイメージになるんですが、そのもとになるのは、琵琶湖であり、琵琶湖の水を汚さない、これは県民の最大の願いです。

京都からの空港利用者 は八四パーセント の数字が出た

中西 先程もお話に出ましたけれども、これからリニアモーターカーだとか、いろいろ期待されるものがあるのですが、この琵琶湖空港がもし誕生した場合、この空港は隣接県の願いもこめて、あるべきだという、一意見

承りたいんですが。

池口 実は、今年の三月に、京都の人達がどのように動くかということを知るためにアンケート調査をしました。京都駅から伊丹空港へ行く人達、約千二百人ほどの皆さんに御協力いただき、調査したのですが、その大半が京都市内にお住まいの方、また周辺にお住まいの方だったんですが、その人たちは、琵琶湖空港ができたときには路線にかかわらず利用しますという方と、路線によっては利用しますという、この二つをたしますと、八四パーセントという数字が出ました。路線によって利用されるという人は、やはり東向きのお客様で、たとえば、東京とか、仙台とか、北海道とか進行方向に向かって飛ぶときには、やはり伊丹に戻るよりもこちらのほうが便利だと。そういう数字がでてきたわけです。その理由は、距離が大阪の新空港に行くよりも近いとか、あるいは、時間がかからないとかが多いようです。たとえば、伊丹

へ行くときは、名神高速道路の天王山のトンネルが非常に混雑するというところで、あそこで、いつも時間がかかってしまうわけですが、そういう意味では、時間がきちっと読めるというのと、距離が近いというところから、わりと利用者が多く見込めるような気がします。

か。だんだん、騒音は小さくなるというところはあるのでしょうか。

井口 将来的には騒音問題というのは、今以上に悪くなるということとは少なくともないと思います。そのわけは、ジェットエンジンの今まで発達の過程を見てきまして、いわゆる、ジェットエンジンができた最初は、ピュアジェットといわれるエンジンなんですけれども、これに比べると今はファンジェットです。ファンジェットというのは、燃焼させない空気で、従来のピュアジェットだと全部燃焼させた空気を直接大気に出していたのを、二次空気と言うんですけど、ファンでかき混ぜただけの空気で騒音圏を包んでやっているので、格好になっているんですよ。だから、ピュアジェットに比べて、ファンジェットははるかに騒音数は少ないです。まあ、エンジン自体が大きくなっていますから、目立って耳に聞こえる騒音が小さくなったかというところに関しては小さくなっている

騒音問題には常に対策を考えている航空 関係者

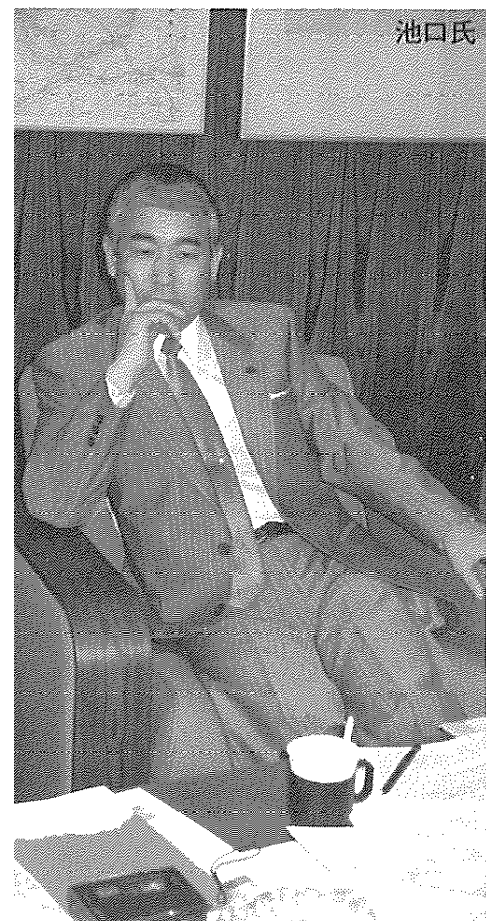
中西 大阪の伊丹空港は将来どうするかということについては如何なものでしょうか。

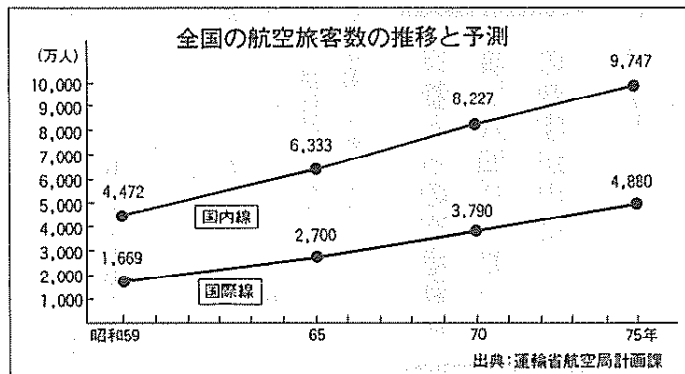
池口 地元の人達が心配しておられるものの中に、騒音問題があるんですが、これだけ技術革新が進んでおります中で、航空機材の、将来の騒音対策は、どのようにして行くんでしょう

と、どうやって行くんでしょうか。

池口氏

BIWAKO





全国にアクセスし、 地域を活性化する。 これから、 地方空港の時代です。

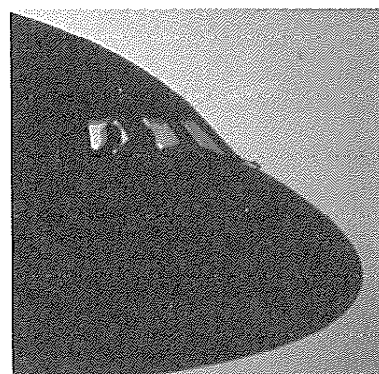
いないですがね、もっともって将来的には良くなるだろうと思います。

大阪の例ひとつを取りましても、今は九九デシベルぐらいのリミットを設けていますけれど、以前は一〇二デシベルであったとか、まあそれだけ軽減されてきているということですよ。また、あの、飛行の方法も改良されましてね、騒音源からの距離の二乗に反比例して、騒音というのは小さくなりますから。二倍距離が離れば、騒音は四分の一に減りますから。できるだけ早い時間に高いところ上がっちゃおうという飛行方法をとっているんです。ノイズアバートメントと言っておられますけれども、着陸のときもそうなんです。低空になって、エンジンを吹かさなければならぬようなものは、できるだけ着陸す前までは降ろさないでおきましょう。たとえば、着陸のための車輪を降ろしますと、あそこに

風が当たるから抵抗がふえるわけですよ。その分、エンジンで補正してやらなければならぬから、パワーを出すと騒音が高くなる。だから車輪を降ろすのをちょっと遅くするような、技術的な革新もやっていますけれど。地元は、一番騒音公害の事を心配していると思います。将来騒音が小さくなるということになればですね、またそれはそれで安心できる部分があるんじゃないかと思っています。

小回りのきくヘリコ プターの利用は魅力 的です

中西 全面積の六分の一は湖で大きな空間があるところに、小回りがきくと思われる「ヘリコプター」というのは、この際併せて考えなくてもいいの

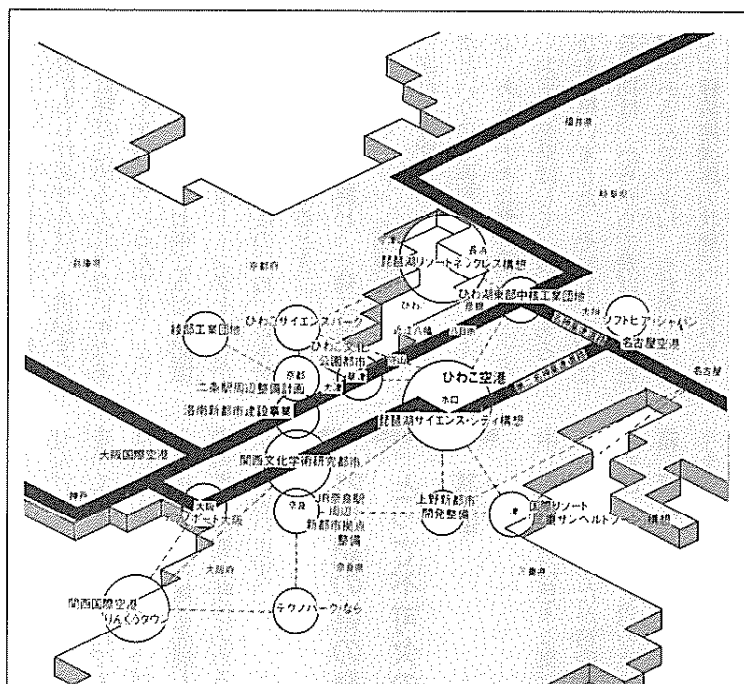


井口 いま、ヘリコプターや、コミュニティーは、あまり、うまくいっていない所が多いようですね。
中西 その理由を御聞かせただけでしようか。

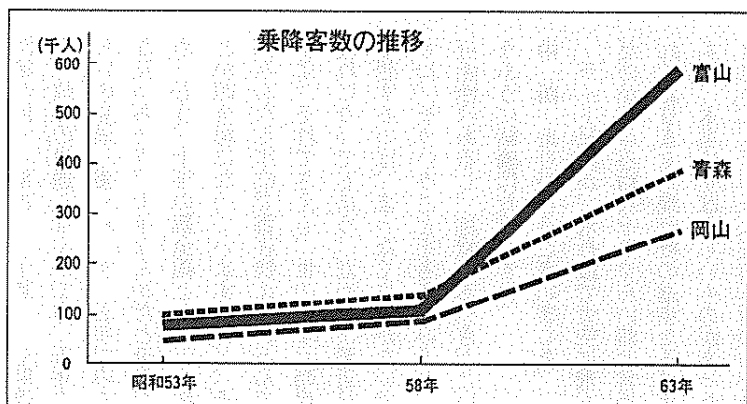
たとえば、今度できる関西空港とのジョイントですね。とくに、その京阪神ベッタウンを控えたその人の流れの中に急を要する、あるいは何かトラブルが起きて名神がふさがったというときにですね、ヘリコプター、あるいは小型飛行機で関西空港に駆けつける。あるいは、小牧に逃げるといような手段が臨機応変に取れると、これ、またひとつの魅力になるのではないかと思います。運転される立場からいくと、そういうあんまり小回りの利くようなことは必要ないんではないか。

井口 アイディアとしては、とても面白いと思います。そういった需要がでてくれば、琵琶湖空港の将来は明る

■びわこ空港開設へ—その2—



近畿・中部圏の主要都市から約50分



いと思います。

他にも、例えば湖西、湖北の人が琵琶湖を迂回する面倒を避けて、ヘリコプターで一足飛びに空港に来るとか、三重県の人々が鈴鹿山脈を飛び越してくるとか、でも、あの、ヘリコプターというのは、単価が高いんですよね。ちょっとしたヘリコプターだったら一機一億とか、二億円かかるわけですよ。そのわりには、五人ぐらいしか乗れないとかですね、じゃ五人乗りの飛行機にしますとね、飛行機自体は一機一千万か千五百万出せば買えるんですよ。そのうえ、五人とか十人のお客様を運

ぶのにも二人の乗務員が必要ですから、採算面から考えても難しいと思うんです。

また、今、中西さんがおっしゃいました、緊急避難的な利用は、それほど頻度が高くないわけですから。やはり、恒常的な需要がないと。現在、羽田・横浜と成田間をシティーエアーリンクという会社が営業していますが、利用率は五〇割前後だと聞いています。中西 半分では採算のほどは如何なんでしょうか。

井口 はい。やっぱり苦しいみたいです。そのわりには、さっきおっしゃいましたけれど、コミュニティーは雨後の筍ごとくあちこちできっているんですよ。採算が取れているのは、今、なんとかやっているのが、奄美大島を含んだ鹿児島県の一角だけなんです。で、あと、瀬戸内海をうちの子会社のジャルアカデミーというのが、運行を下請けするというか、運行を担当しましてね、始めたんですよ。それ、何年ぐらいのめど立てているのか知りませんが、で、今日も新聞見てましたら、富山と名古屋を50人ぐらいのコミュニティーでやります。で、岡山と米子ですが、どこかあのへんも一週間ぐらい前になり手というところで、コミュニティーがものすごく伸びてきているみたいです。

供給すれば需要は
呼び込めると
思います

中西 そうすると、国内には約八十余の空港がありながら、その空港の使い方・使われ方をもう少しきめこまかに連携させると新しい便利さが生まれ新しい需要はおこらないでしょうか。井口 あ、もちろんそうだと思うんです。さっきの、第一名神の話とか、新幹線の話とか、リニアモーターカーのことはどうなるかわからないというお話もされましたがね。ぼくは、ちょっ

と思いますに、非常に無責任で楽観的な見方かもしれませんけど、供給すれば需要は呼び込めるんじゃないかなあという考えを持っているんです。とい

いますのは、一九六七年ごろだと記憶しているんですがボーイング七四七が初めて日本に来了したのはね。日本航空の最初の一機が来るときに、私はアメリカでの訓練を終わって帰る途中、ホノルルでそのジャンボ機を見たんです。あれが今度初めてくるジャンボなんだというので強烈に覚えているんですよ。あんな大きな飛行機を持ってきて、太平洋を飛ばして、お客があるのかなあと思いました。それで、現実はある時期は、がらがらで飛ばしていた時期があるんですよ。それが、今ホノルル線満席満席の状態で、足りなくて、チャーターだなんだってしょっちゅう飛ばして。まだ足りなくて、一社では賄い切れないから、六月からJASも入りますよね。そういう世の中になってきています。新幹線だって最初、東京、大阪を走り始めたときは、ほんの

一日何便か何本走ってましたか知りませんけれど、今もうバンクするぐらい走ってますよね。それでも、もういっぱいなんですよね。やっぱり、造ってみれば意外と地域が発展してくる、相乗効果で需要が呼び込めるんじゃないかなと思います。

21世紀の県の発展に とって不可欠の交通 基盤

中西 本日は色々な御話を拝聴させていただきましたが箱崎さんにもう一度お願いしたいと思います。

箱崎 まあ、もうひとつはいろいろ今まで話してきた中で、忘れてるのは、あの、休みが多くなるんですよ。休暇が多くなると、その時にどのような過ごし方をするのかなということですね。ちょっとあそこへ行って雄大な景色を眺めてみようということ、パッと飛行機に乗るかも知れない。それから、あとは、先程出た、部品とか何とかいう、精密機械とか、そういうものの航空貨物の問題ですね。そういうふうなことを考えてみれば、今、井口さんから話が出たように、希望は常に持っているんですよ。それに、十年一昔といいますが、十年たってみると本当に世の中変わってきますから。単に我々が予想できないということじゃない。専

門家が何人も集まって予想しても間違え。政府の見通しなんかでも、五年ぐらいの見通し書くんです。五年でみんな狂っちゃう。十年なんかだと全然だめ。もう、十年の新全総とか、三全総とか四全総になっていきますけれど、それみんな五年位で書き換えているんですよ。それでさえも、世の中すぐ時代遅れになってしまふ。だから、最近はず想するのは、まったく自信がないですね。そういうことを考えてみると、可能性はあるし、挑戦するべきだというふうに結論はなりますね。

中西 ありがとうございます。

ライト兄弟が、飛行機で大空に飛んだのが今から約八十年ぐらい前と言われている。飛行機の進歩たるべきもの、本当にすばらしいものがあつたと思います。昨今は技術革新の力を借りて、ますますすばらしい飛行機がつくられると思われるところでありますが、その飛行機を飛ばす空港がふるさとにできるという話が今日のテーマであります。県当局も大変力を入れて、平成十二年に向けて着進しておられます「びわこ空港」は申すまでもなく明日の滋賀の活性化と二十一世紀の隣接する県の発展にとっても不可欠の交通基盤となることまちがいない、我々県人会も「ふる里に空港を」の合言葉のもとに一番機が空高く飛ぶその日を心待ちに致しております。



だという力強い言葉をいただき、大変ありがたいと思います。百二十三万県民は、「滋賀にびわこ空港を造ろう」という合言葉のもとに、周辺の京都、奈良、三重、岐阜などの関係の皆さん方のご協力をいただきながら、今年の秋頃には決定されます第六次空港整備五箇年計画にぜひ採択されるよう頑張っておりますので、どうか県人会の皆様方におかれましてはそれぞれの立場で、またそれぞれの地域で種々空港の実現のために大いに支援、協力をいただきますようお願いを申し上げたいと思います。

中西 本日は、ご多忙のところわざわざご参集いただきまして誠にありがとうございました。

(追記)

全滋連No.三が発行されます頃には、第六次空港整備五カ年計画の閣議決定も終わっているものと思われ、県民の期待を盛り込んだ結果が出るものと信じておりますが、県人会の皆様方にもいずれ次の機会にはその詳細もお知らせいたしたいと考えております。

平成三年十一月十五日

滋賀県東京事務所 池口博信
副所長(空港担当)



洗練されたゆとりとやすらぎ…。

さまざまな人と人との出会い、さまざまなめぐりあい。
訪れるすべてのお客さまに、真心こもったサービスと充実した設備で
皆さまのあらゆるご要望におこたえいたします。

GUEST ROOMS(客室)



■ 客室(85室)(4～8F)

スイート	3室
和室	1室
コーナーツイン	5室
ツイン	30室
シングル	46室

THE FITNESS(ザ・フィットネス)



最新のマシンを備えたトレーニングジム、15Mの室内温水プール、ジャクジ、ラウンジ、サウナルーム、バスルーム、マッサージルームなど。
ご宿泊のお客様は無料にてご利用頂けます。

RESTAURANT(レストラン)



RESTAURANT

The Azalea

ご朝食・ランチはもちろん、本格的なフランス料理まで、シェフ自慢の味をご賞味ください。

BANQUET HALL(宴会場)



お二人のかけがえのない旅立ち…。ご婚礼はもちろん、レセプション、発表会、パーティーなど多目的にご利用いただけます。
経験豊かなスタッフが、それぞれのスタイルにマッチした最善のサービスと演出をいたします。

ご予約お問合せは ☎ (0748) 36-6666



Hotel New Omi
ホテルニューオウミ

〒523 滋賀県近江八幡市鷹飼町1481番地
JR近江八幡駅より徒歩1分

坂本

石垣の門前町

比叡山の東麓に位置する坂本は、町のすべてが琵琶湖に向かって傾斜している坂の町であり、穴太築きと呼ばれる石積みみの石垣が縦横につぎ連なる石垣の町である。

穴太築きとは中世以来日本の石垣築きの最高の技術水準を示すものであり、坂本の大字「穴太」の一字に居住し、比叡山の土木営繕的な御用を勤めていた「穴太衆」の手によるものである。それは、加工しない自然のままの石面を巧みに用いて石積み面の面を構成していて、まるで石そのものが「終の住処」を求めてそこにたどりついているような姿を見せている。

延暦寺の里坊のみならず神社や古い民家の石塀なども穴太築きがなされており、坂本の町は、町そのものが石の芸術であるようだ。

自然石を巧みに積んだ美しい石垣



▼日吉大社、参道



▲西教寺（天台真盛宗の総本山）



▲そばは坂本の名物である

中世から近世に
かけては大都市……。

「中世から近世にかけて、坂本は二万の人口をもっていたといわれる。当時としては、大都市である。」

叡山の寺領のうち北陸や東海の領地から運ばれてくる米は琵琶湖を舟で運ばれ、浜坂本に揚陸された。それを町の坂本へ運ぶ馬借、車借が多数住んでいた。

坂本にあってそれらを行政的あるいは事務的にさばく人として多数の公人がいた。公人は僧ではなく、俗人の吏員である。

公人のほかに、一山の建物の修理や普請をする職人たちが住んでいた。仏像をきざむ仏師、仏画をかく絵仏師もいたし、いまでも少人数ながらいる。塗師もいたし、石工もいた。それに旅籠、そばやなどもふくめると、人口二万だったというのはおろくにあたらない……」

（司馬 遼太郎）



●ふるさとの心を伝える

近江の地酒

当社の製品はすべて伝承の手造りで、手間・時間をかまわず丹念に仕込んだこくのある、きれのよいお酒です。

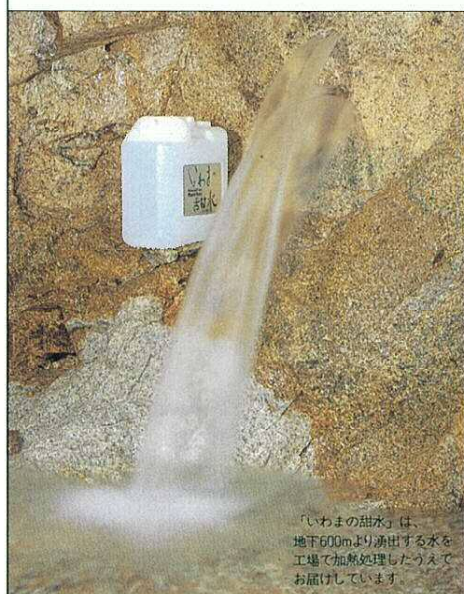


新旭町風車村

■お問い合わせは

上原酒造株式会社

〒520-15 滋賀県高島郡新旭町大字太田1524番地
TEL.0740-25-2075・FAX.0740-25-5463



飲んでおいしく、天然の滋養をたっぷり含んだ岩清水
——それがいわまの甜水です。

純なる自然の贈りもの

いわまの
Natural & Pure
Mineral Water
甜水
てんすい

南近江・音羽山系に連なる岩間山の地中深くより湧き出る水は良質で、口あたりが良くおいしいことでよく知られています。深山600mの地下、岩の間から湧きでくる不思議の岩清水。
まさに、純なる自然の贈物—
それがミネラルウォーター・いわまの甜水。
飲んでおいしく、たっぷり含んだ天然の滋養をそのままに、ご家庭までお届けいたします。

お宅まで、直接お届けいたします。

「いわまの甜水」は一人でも多くのお客さまに飲食用として、巾広くご愛用いただくことを願って20ℓ(10ℓ缶2個)単位で、一軒一軒のお客さまのお宅まで、直接配達させていただきます。



〔ペットボトル〕
いわまの甜水1ℓ 詰



〔御進物用20ℓパッケージ〕
20ℓ パッケージ詰(蛇口付)



〔配達用タンク〕
いわまの甜水10ℓ

〔その他〕
御進物用
●1ケース
10 詰×12本
●1ケース
1.8ℓ 詰×6本

株式会社近江ミネラルウォーターサービス

■本社工場：〒520 大津市南郷3丁目1番12号
■東京営業所：〒187 東京都小平市喜平町3丁目2-8-101 ☎0423-24-4588
■滋賀県東部観光観光所：☎03-231-6131代/■小田急百貨店(ハルク食品売場B2)：☎03-342-1111代

■お問合せお申込みは、お電話で

TEL.0775-37-3350
FAX.0775-34-7484

グローバルな湖国人
第3回

大乘仏教の普及に努めた 平安新仏教の創始者 最澄



(最澄像、重要文化財山東京観音寺蔵)

日本天台宗の開祖・最澄。平安新仏教の創始者であり、大乘仏教の普及に努め、日本仏教の発展にその生涯を捧げた。法然、親鸞、日蓮、栄西、道元、一遍などの鎌倉仏教の祖師達に多大な影響力を与えた最澄の教えを語らずして今日の日本の仏教を語ることは不可能である。

西暦七六七年、比叡山麓で生誕した最澄。

近江国分寺で出家し、はじめ南都旧仏教を学んだがその民衆に無縁な教説と墮落した風潮に不満を抱いて、比叡山中にこもっての修行の後、七八年比叡山寺（のちの延暦寺）を建立。

七九七年桓武天皇の護持僧として内供奉十禅師に補せられ、八〇四年遣唐使とともに海を越え唐の国に渡った。天台山国清寺などで行滿らの高僧から中国の正統天台の教えを受け翌年帰国し、八〇六年、天台宗を独立させた。

日本の仏教のため、人々の真の幸せのため、死の危険を恐れることなく海を渡り異国の地にまで出向いていった最澄は、世界に目を向けた「グローバルな湖国人」の一等最初の人であるのかもしれない。

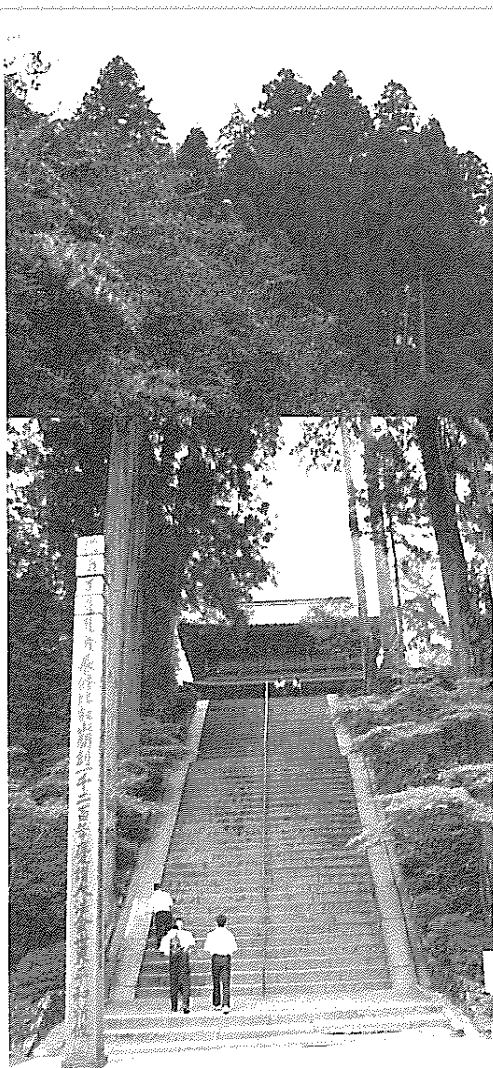
延暦寺

千二百年前に伝教大師最澄によって建てられた延暦寺は、標高八四八メートルの比叡山のほぼ全域に広がっている。

古くから三塔十六谷と呼ばれてきたが、三塔とは、根本中堂をはじめとする東塔、山内では最古の建物が残る西塔、僧たちの修行場の横川のことで、延暦寺は大きくこの三つの地区に分けられる。

延暦寺という名は、もともと比叡山寺と称していたが、伝教大師最澄が開山した年号に因んで寺号としたものである。

法然も親鸞も日蓮も柴西も道元も……この延暦寺で修行をするために比叡の山を登った。文字通り日本仏教の発祥地である――。



■根本中堂

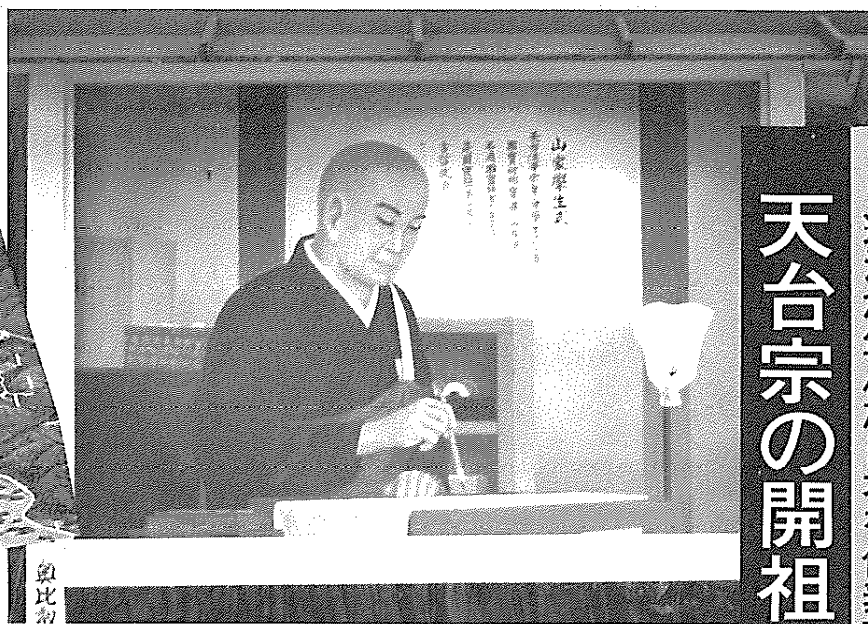
「……バス停からほどなく政所の辻と呼ばれる広場に出る。事務所や、休み処があるその広場からだたら坂を見下ろした下に根本中堂の大屋根が沈んでいる。入母屋の屋根が格別重々しく広がり、建物は丹塗りで大廻廊をめぐらせたもので、丹塗りの紫宸殿とでもいいたいような建築である。徳川家光が建てたのが現在のもので、九年の歳月を費やしたと伝えられている。寛永十九年（一六四二）に完成した完全な江戸風建築の豪華なものだ。今は丹色も錆びてきているが、新築当時は、丁度今の奈良薬師寺の新本堂のような鮮麗華美なものであったらう……」

（瀬戸内寂聴）

近江が生んだ日本を代表する宗教家の人となり

天台宗の開祖 最澄

天津市歴史博物館 館長 木村至宏



最澄

最澄は奈良時代の末から平安時代にかけて活躍した、近江が生んだ日本を代表する宗教家であった。そして、近江はもちろんのこと日本の歴史や文化に大きな影響を及ぼした人でもある。

最澄は近江と京都の境をなす比叡山において新しい思想を確立し、その根本道場の延暦寺は、のち著名な宗教家を輩出する母胎ともなった。

すなわち浄土宗の法然、浄土真宗の親鸞、臨済宗の栄西、曹洞宗の道元、日蓮宗の日蓮、時宗の一遍、真盛宗の真盛、融通念仏宗の良忍などである。これらの人はみな最澄の思想と深いかわりをもつて勉強に励み、それぞれが新しい教義を興している。

一方、山岳仏教の大成者最澄の出現によって近江を取りまく連山、たとえば太神山・飯道山・岩根山・叡山（観音寺山）・長命寺山・太郎坊山・伊吹山・己高山・比良山系・湖東三山などに天台仏教文化の花が咲いた。いまもその足跡をたどることができる。それが近江が日本第三位の文化財数を誇る大きな要因ともなっている。

ところで、湖辺に生まれた最澄をはぐくんだ比叡山系が、彼の思想の形成に大きな役割を果たしてきたといつてよいだろう。ここで比叡山とともに歩んだ最澄の人となりについて略述してみよう。

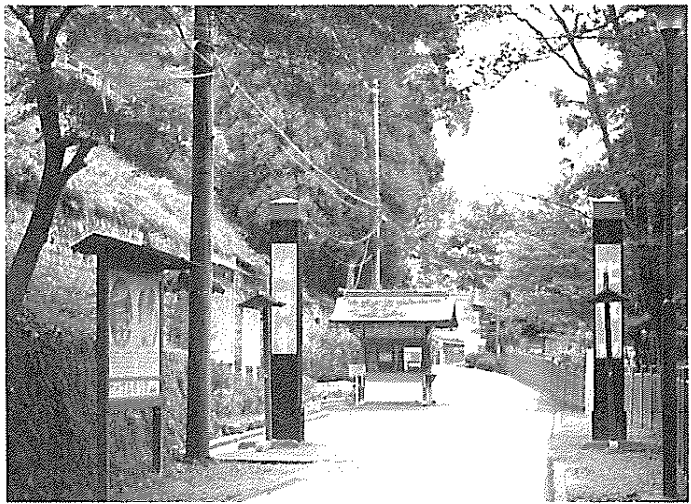


最澄の出家

最澄が入山した比叡山系は、その山容の美しさにおいては富士山に一步ゆずるが、その歴史と文化の深層性から見れば日本を代表する山だ。平安時代の『枕草子』では、「山」といえば比叡山をさしているほどだ。

比叡山は、主峰の大比叡岳（標高八四八メートル）をはじめ五つの峰から形成されている山系である。比叡山の記録は、日本最古の史書奈良時代の『古事記』にすでにみることができる。すなわち「大山咋命またの名は山末之大主神、この神は近淡海國の日枝の山に坐す」とある。日枝の山は、大きく比叡山そのものであるが、とくに限定するならば、比叡山系の東側に位置する牛尾山（八王子、小比叡）をさすのである。円錐形をした形姿の美しい山だ。

牛尾山の頂上には、目を見張る巨岩が屹立する神奈備で、いわゆる神体山の形態を有している。この山の中腹あたりにのち最澄が入山したのである。牛尾山を含む比叡山の中腹あるいは



山麓には、多くの古墳群が散在し、その年代に多くの人々が居住していたことを明確にしている。しかもその古墳群は、堅穴式石室をもつものが多く、その形態から渡来人との密なる関係がうかがわれている。彼らは比叡山を早くから自分たちの祖霊の宿る山としての畏敬の念をもって眺めてきたのであろう。

ところで、最澄の祖先は渡来人の一人で、三津首の姓を得てこの地に定着した小豪族の系譜を有していた。三津首の人々も比叡山を祖霊の山として眺めてきたことだろう。最澄は神護景雲元年（七六七）に比叡山麓で生まれた。幼名は広野と称していた。父の百枝は、私宅を寺として礼仏誦経の日々を送ったという熱心な仏

教徒であった。しかし、子どもに恵まれないことを悲しみ、比叡山系牛尾山の中腹あたりに草庵を結び、精進修行をつとめた。そのあとようやく広野が生まれたと伝えられている。

このような状況のなかで育った広野は、幼くして頭角をあらわし、十二歳のときに近江の国分寺（大津市南部）に入った。生まれながらにして僧の道を歩んだのである。国分寺の大師師行表の弟子となつて本格的に仏教を学んだ。行表は帰化僧道叡の弟子という学僧であった。国分寺において勉学中に僧最寂が死去し、僧の定員が欠けたので急に太政官の命によって代わりに得度したのである。行表は最寂の一字をとって広野の名前を最澄と改めた。得度して三年後に得度の証明書である「度牒」が与えられたのである。

延暦四年（七八五）四月、最澄十九歳のとき南都東大寺の戒壇において具足戒をうけて正式の僧となった。いわゆる東大寺戒壇で試問され僧としての国家試験に無事合格し、公に認められたことを意味する。いままで述べた最澄の出生・得度・受戒の年次については一年ほど異なる諸説があるが、ここではとりあえず最澄の弟子仁忠が著した『叡山大師伝』に準拠した。

最澄はこのように東大寺で戒を受けて国家僧となった。そして自らが出家・得度した近江国分寺の僧として赴任したのである。これによって将来が約束されていたのであったが、その三ヵ月後に突如として近江国分寺を去った。最澄は比叡山に入山したのである。最澄はなぜこのような行動に出たのであろうか。

■比叡山へ入山

最澄は、幼いときから前述したように比叡山を眺めてきたにちがいない。まして近江国分寺あたりからの比叡山系は、前面に大きく広がる琵琶湖の水面を見越し、いくつもの小さな峰をもつ雄大な山なみの眺望は、すばらしいものがある。おそらく最澄をして魅了したことだろう。湖東の人たちが、湖面越しに比良・比叡山系に太陽が沈みかける夕景に目がうばわれるように。しかも比叡山麓は、数千年前から拓かれ、なかでも古墳時代には数多くの古墳群が築かれていた。この地域に住居した古代人の祖霊が宿る比叡山は、いわば原始信仰を集約した霊山でもあった。すでに当時から人々は、比叡山を神山として仰いできたのである。

霊山比叡山は、最澄が入山する前からすでに山林修行者が入り込み開かれていた。これは注目すべきことである。前述した飯道山・菩提寺山・太郎坊山・伊吹山・霊山・己高山など原始信仰（祖霊の宿る山）の対象となった山々は、奈良時代に入ると伝教伝来にもない山林修行者の山として存在するようになった。

文献のうえで霊山の比叡山に入山した最初の記述は、奈良時代の漢詩集の『懷風藻』である。それによると当時近江国守を兼ねていた藤原仲麻呂が比叡山に登り、父武智麻呂が比叡山に入り草庵を結び修行していた旧跡をたずねて詩を詠いたとき、これに同行した貴族麻呂連陽春が次のような詩を唱和して、往時をしのんでいる。

近江は惟れ帝里（近江大津宮のこと）、稗叙は定に神山。山静けくして俗塵寂み、谷閑くして真理専にあり。於移し我が先考、独り悟りて芳縁（仏縁）を聞（聞）く。宝殿空に臨みて称へ、梵鐘風に入りて伝ふ。

この詩集のなかに「比叡は寔に神山」としてあることが注目される。作者はすでに前述したように比叡山を神奈備山あるいは霊山としての認識が充分にあったことがうかがうことができる。

最澄は、このように霊山として存在していた比叡山に延暦四年の夏に入ったのである。この地域の出身の最澄は、すでに山林修行者が草庵を結んでいた霊山に強い思いをもっていたにちがいない。比叡山は修行者として出発するにはまことにふさわしい山であったといえるだろう。

最澄の比叡山に入山する事情について『叡山大師伝』に

延暦四年を以て、世間の無常にして榮衰の限り有るを親じ、正法の陵遅し、蒼生（人間）の沈倫（沈沦）せることを慨き、心を弘誓に遊ばしめ、身を山林に遁れんとす。其の年の七月中旬、慣市（ひとごみ）の処を出離し、寂靜の地を尋ね求め、直に叡岳（比叡山）に登りて、草庵に卜居（住居）す。

とある。この短い記述のなかに最澄が念願の国家僧となりながら、それを突如として捨てて比叡山に入った事情をよみとることができる。なかでも「正法陵遅し蒼生の沈倫せる」とあるように、正しい仏法が衰えてしまつて庶民が苦しみの中に浮き沈みしているのをじっと見てお

れない、そのために正しい法を求めて山の中に入ったとある。また、「世間の無常にして榮衰の限り」のように最澄の青年時代は世情不安定であった。

すなわち、最澄の生まれる三年前の天平宝字八年（七六四）に孝謙天皇の寵を得た僧道鏡が、宮廷と接近し自らが法王の座につき僧官政治を行った。これによって当時の仏教が政治と深くかわり沈滞の様相を呈していた。また、最澄が比叡山に入山する二ヵ月前には、桓武天皇は「今衆僧を見るに多くは法旨に背いて」いるとして教団や僧侶を肅正する詔勅を下している。おそらく最澄は、このような社会状況を目のあたりにして、正しい仏道を実践することができないと考えたのかもしれない。まして青年僧として自らが求めようとする仏教の道と現実との大きな隔たりに悩み抜いていたことが推察できよう。そして最澄が出した結論は、霊山の比叡山に入山して修行することであった。

■山学山修

比叡山に入った最澄が、まず草庵を結んだところは神宮禪院であった。これはすでに述べたように比叡山系の東側の神体山の牛尾山（小比叡）のやや中腹に位置している。かつて最澄の父三津首百枝が、彼の出生を祈願して建立したと伝えられるところであった。現在もその旧跡が残されているが、昼なおうすぐらく静寂の地である。ここで最澄は、一二年間にわたる龍山修行のスタートを切った。山中における修行生活については「松下巖上に蟬声と梵音の響きを争ひ、石室草堂に螢火と斜陰の光を競へり」（『叡山大師伝』）とある。短い表現のなかに最澄の修行地の状況の一コマが浮かんでくる名文である。

最澄は、入山まもなくして五条からなる「願文」をしたためた。書き出しは「悠々たる三界は純ら苦にして安きことなく、擾々たる四生



（四度の生死）はただ患^{わづら}にして楽しからず」とあり、青年僧とは考えられない堂々とした文である。そして最澄は心の中で仏の教えに背き、自らは愚かな底下の人間であると自覚していた。そのために必死に願を立てたのであった。この願文は、山中における修行の目標とし、懸命に仏道を実践するために自らに課した重要な誓でもあったのだ。その願文をわかり易く書き改めると、

第一条 仏のように悟りに似た清浄な位にのぼることができないうちは、比叡山の外に出て、世間に出ることはしない

第二条 真理を照らす心を得ないうちは、世俗の才芸（絵画・碁・書などの芸術や遊び）にかかわらない

第三条 清らかな戒律生活を身にそなえない

うちは、檀主（施主）の法会などにはのぞまない

第四条 悟りの智慧を得るまでは、世間の人事（慶弔・学問）にはつきあわない

第五条 この世で修する功績は決して自分一人に受けることなく、すべての人々に分かち、他人を救いすべての人がともに悟りを得るようにした

とある。若き僧の求道の熱い思いとともに自己反省の強いことがわかる。そして当時の教界から脱皮し山林修行にかける最澄の心情をうかがうことができる。

延暦七年（七八八）最澄は、比叡山の虚空蔵尾とよばれる辺りに小堂を創建して、薬師如来像一軀を刻んで安置した。これが根本薬師堂であるが、のちにその左右に経蔵と文殊堂を建立した。この三堂を一乗止観院と称されたが、なかでもその中央に位置する根本薬師堂を中堂といった。これがのちに根本中堂とよばれるようになったのである。現在もその場所の近くに根本中堂（江戸時代の初期寛永十九年に再建、国宝）が建てられている。

山林に囲まれた根本薬師堂において最澄は、毎日かかさず法華経・金光明経・般若経などの大乘経を誦誦していたという。その生活ぶりについて最澄が死去に際して門弟たちに残した「遺誠文」によれば、路傍に捨てられた古着を用い、小竹で編んだ小さな円房に住居し、薬を寝具とすることが修行生活の最上であり、求めずして与えられたものだけが、その食糧でなければならぬということが記してある。



これからも最澄の修行生活は、まことに質素であったことがうかがえる。このなかから有名な「道心の中に衣食あり、衣食の中に道心なし」という最澄の遺語が生まれたのであろう。このことは最澄の弟子の光定が、師最澄の活躍を書き留めた書物にある。いわゆる人間が生活していくための必要不可欠の衣食は、あくまでも道心（道を求める心・知恵）を中心に考えることであった。身をなげうって懸命にやっておれば、期待もしていないのによい結果があらわれる、逆に美しい衣服を着たい・おいしい食事をしたいことだけを望んでいたのではかえって逃げてしまうことであろう。これは最澄がもち続けていた信念であったといっても過言ではない。

最澄は、比叡山の草庵において「起信論疏」「華嚴五教章」などの典籍を学んだ。そして僧鑑真に先立って日本に戒律・禪などを伝えた学僧道叡の弟子行表の学問を研究。さらに鑑真が将来した中国の天台大師（智顗）の思想をあらわした代表的な「摩訶止観」「法華立義」「法華文句」といった天台教学を研讀したのである。それによって最澄は「法華経」による一宗を樹立しようと考えた。すなわち法華経を根本經典として民衆を救済することを旨としたのであった。これは奈良時代の主流を占めていた「論」にもとづいて立宗していた論宗とは、まったく異なった思想であった。

■入唐求法の旅

新しい教義の確立をめざし籠山行に励んでいた最澄の修行道場のある比叡山が、急に脚光をあびるようになった。それは延暦十三年（七九四）、桓武天皇の平安遷都であった。新しい都の鬼門（北東の方角）に比叡山が位置するとともに新しい教学を打ち出した最澄の存在は、都の思想界に大きな影響を及ぼすようになった。遷都三年後の同十六年、ひたすら山中で修行していた最澄三十一歳のとき、内供奉十禪師の一人に仕命された。内供奉は宮中の内道場に供奉し、天皇の護持にあたる僧職である。若輩の最澄が全国ですぐれた高僧十人のなかに選ばれたのである。最澄にとって驚きであったにちがいない。

その翌年最澄は、いままで研讀を励んでいた

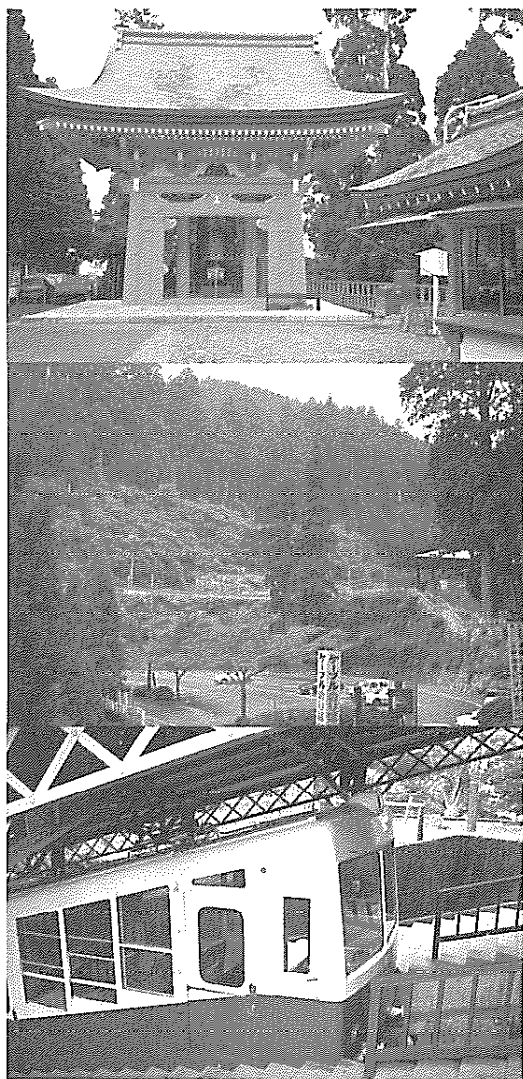
研究成果を発表すべく法会の一つ法華十講を開いたのであった。ここで南都から十人の高僧たちを招請しての講義で、最澄は自らの天台教義を宣揚した。翌年にも京都の高雄山寺（神護寺）でも法華経の講会六ヵ月間にわたって開催されている。この一連の講義において、最澄の名聲が世に知られるようになった。

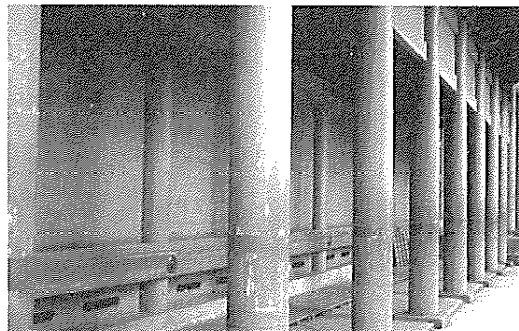
そのあと最澄は、改めて天台典籍を求めようと入唐をすることを朝廷に願い出た。最澄が提出した「入唐請益表」には「法華の深旨、なおいまだ詳釈せざるごとあり、幸い天台の妙理を求め得て、披閲すること数年、字義り行脱して、いまだ細趣を頭わさず」と学問への熱情と真摯な態度がうかがえる。早速その勅許がくだり詔語僧（通訳）として弟子義真を同行して延暦二十三年（八〇四）入唐求法の旅に出た。肥前国（佐賀県）を出発した第二船に最澄が乗船したが、第二船にはのちに真言宗高野山を開いた空

海（弘法大師）が乗船していた。

最澄は、まず第一に天台宗の聖地である浙江省にある天台山をめざした。この山の名称は、記すまでもなく随の名僧智顗（天台大師）が住していたことに由来する。最澄が入唐したときは、智顗第六世の法孫湛然の高弟の道邃・行滿などによって天台山は興隆期を迎えていた。最澄は道邃から天台の法脈や大乘菩薩戒の伝授をうけたことをはじめ、行滿や多くの学僧からも法義をうけた。台州長官陸深は最澄に經典一二〇部三四五巻を贈っている。

そのあと最澄は、明州から越州に行き同地の竜興寺（浙江省紹興）で金剛界・胎藏界両部の灌頂（法を受けるときの儀式）を受けている。そのほか各大寺の住持から密教をはじめとする多くの学問を学んだ。越州では最澄は經典類一〇二部一一五巻を蒐集している。最澄の入唐は八ヵ月といった短い期間で、しかも台州・明州・





越州いずれも現在の浙江省内の少範圍を巡歴したにすぎない。しかし、現地で直々に学問の修業はもちろんのこと将来した經典・法具類は、二三〇部四六〇巻の多くを数えている。とくに入唐中には台・密・禅・戒の四宗を相承したことは、最澄の意図する四宗統合の教義に沿ったものであった。

しかし、密教については入唐中に少し学んだが本格的なものではなかった。そのため最澄は帰国後、密教の正統な伝授を唐の恵果から受けていた空海について受けたのである。自分よりも若い空海に弟子の礼をとって灌頂を受けた最澄の貪欲なまでの求道心とその人間性を垣間みることができよう。

帰国したその翌年、朝廷は南都六宗（三論・成実・法相・俱舍・華嚴・律の各宗）のほかに、最澄の主唱する天台法華宗を公認し、ねんぶんどしや年分度者（国費による得度者）二名を天台法華宗に設置

することを許可したのである。これはいままでの南都六宗と並んで天台法華宗が、公式に認められ、日本の天台宗が独立したことを意味する。ところで、延暦二十五年（八〇六）に最澄のよき理解者であった桓武天皇が没し教団として沈滞期を迎えるに至った。そのなかで最澄は、より教団内部の充実とともに修行研究への確立に向かって心をくだいていたのであった。その一つに一乗止観院において法華経を中心とした議義いわゆる「山の論義」を創設した。そして、弘仁三年（八二二）に比叡山に法華三昧堂を創建して、天台宗の実踐行である四種三昧のしし一つ法華三昧の修行道場としている。

いっぽう、最澄は比叡山からはじめて遠国への教化の旅に出た。まず弘仁五年（八一四）九州へ。宇佐八幡宮に宝塔を建立、田川郡神宮寺では法華講会など長きにわたって開いた。そして、最澄はいったん比叡山に帰ったが続いてこんどは東国への教化に立った。東山道沿いに美濃・信濃を経て東国へ。上野国（群馬県）の浄土寺（緑野寺）、下野国（栃木県）の小野寺（大慈寺）を中心に熱心な教化をした。この九州・東国の巡歴は、最澄の天台教学の確立へ手ごたえをより感じさせた実りの多いものであったといえるだろう。

■真の独立をめざす

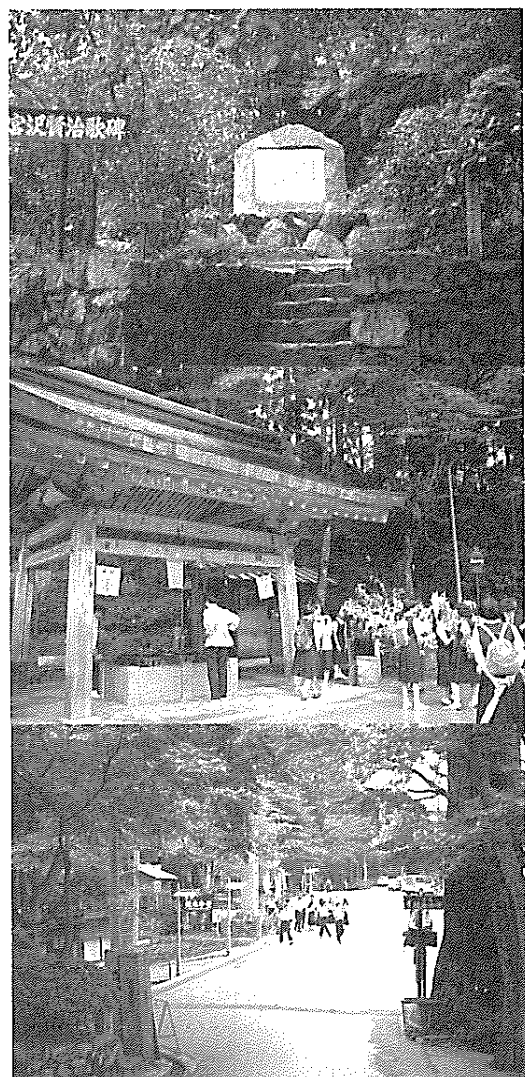
東国から比叡山に帰った最澄は、大乘戒独立の構想を具体的に打ち出したのであった。大乘戒は、南都が主唱する小乗戒に対して利他いわ

ゆるすべての人々を救済することを目的とした戒律のことである。

最澄はこの目的に沿った新しい戒壇を造立したい構想をまず弟子光定に打ち明けた。そして門弟たちに「我宗の学生は、当に國の為山修山学して、有情を利益し仏法を興隆すべし」と教えている。その機をみて弘仁九年（八一八）に最澄は、比叡山上に大乘戒を実践するための区域を定めた。そして大乘菩薩戒を養成するための「山家学生式」を制定したのである。これは天台一宗の学則にもあたる重要なものであった。

山家学生式は三式の総称である。すなわち最初に「天台法華宗年分学生式」（八条式）三番目に「勸修天台宗年分学生式」（八条式）三番目に「天台法華宗年分度回小向大式」（四条式）をそれぞれ著わしている。いずれも比叡山の学徒養成に向けて定めたものである。

その内容は、簡単に述べれば六条式では学生が比叡山で十二年間の籠山して修行するための生活、修学を規定し、八条式はこれをもっと詳細に規定し、比叡山における修行生活そのもののあり方を示している。四条式は仏教には大乘・小乗の別があるが、大乘菩薩戒論を強調したものである。六条式には有名な言葉として知られている「国宝とは何物ぞ、宝とは道心なり、道心ある人を名付けて国宝と為す」がある。また、道心については「悪事を己に向け、好事を他に与へ、己を忘れて他を利す」という心をもつことであることを記している。最澄が求めたのはこのような道心のある僧・国宝の養成であったのだ。



最澄はこれらのように天台宗の学生は、菩薩として得度・授戒させたいという上奏文を付けて朝廷へ提出した。すなわち他宗の僧とは別に得度も受戒も比叡山で行い、南都の戒でなく、最澄の得た大乘菩薩戒を授けたいというものであった。南都東大寺の戒壇院とは別に比叡山でそれを受けることのできる戒壇院を許可を願うものであった。これらの最澄の主唱は、南都の強い反対を受けて実現できなかった。そのため最澄は「顕戒論」を書き反論した。このように最澄の晩年は専ら比叡山に大乘戒壇設立の運動に終始したのであった。

弘仁十三年（八一三）最澄は、伝燈大法師の位を授けられたが、しかし、念願としていた大乘戒壇設立についての許可はまだおりなかった。このような状況のなかで同年六月四日、比叡山の中道院においてこの世を去った。臨終間近の病床のなかで「心形久しく勞して一生ここにき

わまる」と最澄は述懐している。ときに五十六歳であった。最澄が没して七日目にあたる同月十四日に、最澄終生の願いであった大乘戒壇院建立の勅許が下ったのである。これによって晴れて一宗として名実ともに確立したことを意味している。

さらに翌年には、いままでの比叡山寺とよばれていたが、小堂当時の年号をとって延暦寺と改められた。少し年代がくだるが貞観八年（八六六）最澄に伝教大師の諡号が宣下された。これは大師号として日本ではじめてであった。最澄の没後、比叡山では師をしのぐすぐれた弟子たちが輩出した。たとえば円仁（慈覚大師）、のち園城寺（三井寺）再興した円珍（智証大師）、延暦寺中興の祖良源（慈恵大師）、『往生要集』を著わした源信（恵心僧都）などの名僧が続いている。いずれも最澄が定めた教義や思想から生まれたのである。

電気エネルギーの役割①

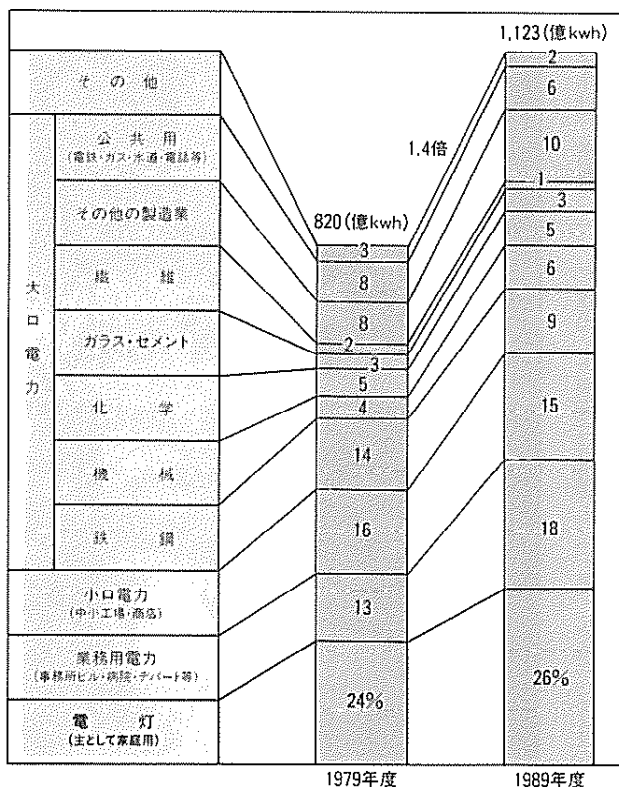
電気は生活の必需品

快適な生活、社会に欠かせない電気

電力の需要はますます増加を見せ、エネルギー消費全体のなかでも、次第にその比率を高めています。(1975年度29%→1987年度38%全国統計)近年、産業・社会のソフト化・サービス化が進み、業務用電力や小口電力の伸びが顕著になっています。

また、電力需要の伸びは、産業用以上に家庭用でめざまします。エアコン、電子レンジ、AV機器、さらには、パーソナルコンピュータまで、暮らしの電化が進み、電気の使用場面がどんどん広がってきた結果といえます。今後も、電気の役割はますます大きくなっていくことでしょう。

暮らしの中の電気(関西電力の場合)
販売電力量の推移

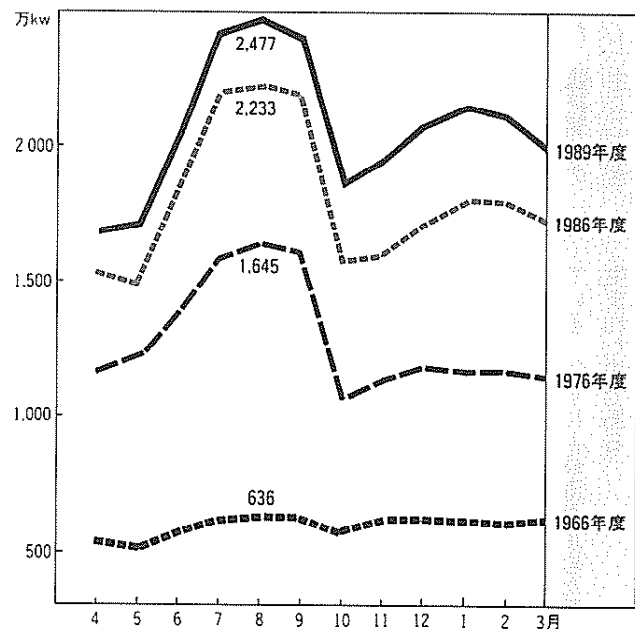


需要にこたえる電気のあり方は?

電力需要は特に、一年のうちでは、冷房の普及とともに夏が需要のピークとなっています。需要が最高の8月は、最も低い5月の1.5倍ほどの消費量に達します。電気を供給する設備は、この「夏ピーク」にどう対応するかが大きな課題。というのも、電気はストックできないからです。

このように、電気はわたしたちの生活と切っても切れない関係にあるといえるでしょう。日頃は、なにげなく使っている電気ですが、もう一度あらためて、その大切さ、電気の供給はどうあるべきか、を考えていただければと思います。

電気の使われ方(関西電力の場合)
月間最大電力年度別推移



電力使用のピークは夏

年間の電気使用のピークは、1966年度に冬から夏に移行しました。それ以来、家庭用クーラーを中心とする冷房需要の急増とともに平常月との需要差はますます拡大しています。

電気エネルギーの役割²

近未来の「電力社会」にこたえて

電力会社の供給責任

電力の供給量が消費量に追いつかない時、電圧変動や停電を引き起こします。停電は高度にネットワーク化・コンピュータ化した情報社会にとってはアキレス腱ともいえるもので、社会機能を完全に麻痺させ、社会不安を引き起こします。電力会社は、電力消費がピークに達しても、余裕をもって電力を供給できる体制を整備していなければなりません。快適に利用できる電力を、安定的に供給する。これが、電力の供給者に課された社会的責務なのです。

21世紀の電力需要にむけて

21世紀、関西の電力消費は大幅な増加が予想されます。関西電力の試算では、1999年度には現在の4割近い需要増を見込んでいます。産業界における省エネが進んでいるため、GNPの増加率ほどには達しませんが、電力利用の分野は、さらに拡大し、それが需要増をもたらすと思われます。こうした将来の需要増に対して、供給責任をもつ電力会社は、十分な電力設備を計画していかなければなりません。また同時に、価格変動が少ない安定した電力の供給が社会発展のためにも必要だと考えます。

わが国の今後の長期見通し

年度	1988年度 (実績)	◀平均伸び率▶	2000年度	◀平均伸び率▶	2010年度	(参考) 2010年度 1988年度
諸元						
GNP (単位：兆円)	335	(4.0%)	536	(2.2%)	667	1.99
※1 一次エネルギー供給 (単位：億kcal)	4.82	(1.8%)	5.97	(1.1%)	6.66	1.38
電力需要 (単位：億kwh)	6,723	(2.7%)	9,270	(1.5%)	10,800	1.61
発電設備量 (単位：万kw)	16,482	(2.7%)	22,770	(1.6%)	26,700	1.62

※1 石油換算の値

総合エネルギー調査会及び電気事業審議会資料

1999年度の関西の電力需要(試算)

	1989年度	1999年度	平均伸び率(%)
販売電力量 (億kWh)	1,123	1,457	2.6
送電端最大電力 (万kW)	2,385	3,261	3.2

関西電力の電源構成

(単位：万kW)

電源種別	1989年度末	1999年度末
原子力	741 (25)	1,112 (27)
火力	石炭	- (-)
	LNG	471 (15)
	石油	1,203 (40)
	計	1,674 (55)
水力	一般	10 (10)
	揚水	292 (10)
	計	602 (20)
合計	3,017 (100)	4,088 (100)

()内は構成比(%) LNGにはその他カスを含む

近江の 芭蕉句碑

夢望庵主

乾 憲雄

(甲賀郡甲西町
菩提寺一、二二二)

去る年は芭蕉が奥の細道へと旅立ち三〇〇年、そして今年は近江の石山園分の幻住庵に住まれてからちょうど三〇〇年にもなった。

ところで芭蕉はどのぐらい俳句を作ったのだろうか。ある日、調べたら二、〇〇〇句、そして存疑(はっきりしない)の部として五〇〇句、計約二五〇〇句ほどである。

五回ほど近江の地を往来した芭蕉はわずか五一歳で大阪で亡くなり、遺体は天津の養仲寺に埋められた。それからすでに約三〇〇年も過ぎようとしているのに、現在もお慕われるのはなぜだろうか……。

(二) 栗太・野洲・近江八幡地方

(I) 栗東町内唯一の芭蕉句碑

(13) 綾村 大宝神社境内

栗東町には綾村に二基ある。

今年はJR東海道線の琵琶湖線の守山駅と草津駅との間に新しく「栗東」という駅が出来て駅付近の人々は「便利だ」と多くの住民達は利用している。

その駅辺が綾(へそ)村である。自動

車で訪ねると守山の焰魔堂から中山道の二町(ふたまち)を超える。と、左側に鎮守の森が見える。

「街道に添うて流れているこの水は枯れたことがない。古くはこの路まで葎であったが近年に公園になった。みこしは三つ、そして子供用までできた。祭日は昔から四日でしたが、此頃は五日に変わった」などと近くのおばあさんが教えてくれた。

大きな石鳥居がある。手前に石橋があつてまっ直ぐに奥へと参道が続く。

鳥居の前には「大宝神社」と美しい筆運びで書かれた社碑が建つ。「明治二七年、大越亭書」とあつた。

その鳥居のすぐ傍を左へ折れると明治四三年生まれの一人の一人の人が寄進された石灯籠があつて、その後方に句碑がある。椎の木におおわれている立派な句碑であるが見逃す人も多い。

横幅三〇センチ、高さ四五センチの自然石を碑の台としてどっしりとしている自然石の句碑は落ちついて品がある。



PHOTO: 三品正親(守山市)

碑の高さ二一五センチ、幅八〇センチで真ん中に額縁をとって

へそむらのまだ麦

青し 春のくれ はせを

と二行に書かれている。穏やかで、上品で、まじめな筆あとである。風雪のために少し読みにくくなった。その左側には、「楓崖書」とある。



大宝神社参道と傍に建つ翁句碑

句意は「ずっとあちこちと旅して歩いて来たが、ここ繙村あたりの麦はまだ青い。種蒔きがおくれたのか、寒かったのだろうか。もう、まもなく春も暮れようとしているのに……」というのだ。旅の途中の自然の風光の印象である。

句碑は西の方向をさしていた。

この句は芭蕉の句の存疑の部に入られている。今後の研究の課題の一つである。

本殿へ参る道の左側に「楓崖先生」の石碑がある。立派なものだ。それによると、「名は光俊、通称は武雄、号は楓崖、京都の人。五歳の頃から足助氏に養われ儒学、神学、宗教学などを学ばれ明治三十年三月七日、七〇歳で没した」という。なお、晩年「本立義塾」というのを境内に建てられ近隣の人達に儒学を教えられていたと聞いた。この神社の由緒も本殿の入口にこまかく石に彫られている。今から二二〇〇年前、悪病が流行して小平井から遷

宮された。その年が大宝元年だという。だから大宝神社というらしい。国や県の指定の狛犬の文化財や町指定のものもある。

この神社の境内は森閑として心がなごむ。本殿に合掌参詣して再び参道を下向した。

ふと、この句碑の文字はこの楓崖でなく、京、東山の芭蕉堂千世の山鹿楓崖ではないだろうかと私の心をかすめた。山鹿氏は明治四四年に没した俳人で、子孫も京に現存されている。これもまた課題の一つとなった。

この地と別れる時、もう一度鳥居の所でふりかえったら、

みんなで守ろう 美しい自然

みんなで作ろう きれいな環境

と書かれた栗東町と草津警察署との立看板が目についた。

いよいよ秋風が比良山頂から吹いて、暑かった夏の別れを惜しんだ。赤とんぼも飛んでいた。

(II) 野洲郡内唯一の芭蕉句碑

(14) 野洲町 十輪院境内

三重県と滋賀県との境に続く鈴鹿山系から、流れを発する野洲川も、この野洲町あたりまでくると一級河川の容相を保っている。が、平素の水の量は

伏水となるのか、近年は少なくなっている。しかし、五月雨の続く頃ともなれば驚くほど濁流の大川と変貌する。中山道の「やすがわ橋」にしばらくたたずむと、三上山がぐっつきりと拝せる。ことに男山と女山とに別れているこの三上山の姿はまた趣がある。万葉

野洲十輪院に立つ芭蕉句碑



十輪院の前庭の石仏群

野洲川近くに建つ十輪院御堂

集二巻に「我妹子にまたも近江の野洲の川 安眠も寝ずに恋ひ渡るかも」という古歌を思い出し朗詠してみた。いつしかこの辺には大きな橋がかかった。新幹線、八号線、道路、琵琶湖線、中山道などと東京の隅田川堤みにたいに数えられる。

さて、中山道の野洲の町を通過して守山市の方へ渡る橋のたもとに三共という医薬、農業の株式会社が目につく。その会社の前の一角に宝形造りの小さな寺院の屋根が拝せる。その寺を十輪院という。黄檗宗である。

先日まで本堂の傍に庫裡が建っていたが今日、訪れたらずに毀（こわ）されていて「がらん」としていた。寺の境界には細い道があり「近江キルト」^{近江キルト}という指示板があり、その隣には「湖南 住まいづくりセンター」という建物がある。

寺院がこわされたために外の道から芭蕉の句碑がまる見えである。野洲川原で拾ってきたような、一抱えもしない小さな堅そうなお石である。

亀の頭のような石に細い筆跡で
野洲川や身ハ
安からぬ さらし
宇す 芭蕉翁
と三行に刻されている。

高さ五五センチ、幅二三センチ、厚さ二五センチである。磁石は南南東を指した。「野洲川や身は安からぬさらしす（白） 芭蕉翁」と読むのだ。

野洲は芭蕉の師季吟の故郷でもあり、江戸時代には野洲のさらしとして有名でもあり、さらし屋としてはなんと一三〇軒もあった。以前、戦前、戦後しばらくは広いさらし場を持つ家も残っていたし、遠藤さんという古い家屋も、さらし屋の遺構もつい先年まではあったが今は見られない。

さらしとは晒と書いて漂白したものと、さらし木綿のことである。この野洲川の水が美しく、良好であったのだろう。よく製造されたのだ。しかし、その作業はたいへん重労働でもあったという。

そういうと芭蕉もその重い作業を目にみて安からぬと吟じたのだろうか。もちろん、野洲川と安との言葉のかけ語としても考えられたであろうし、前記の万葉集の安眠（やすみ）の語も知っておられたのかもしれない。木綿または麻を煮て白について、また煮てついて、水でさらすなどの作業を繰り返したというのだ。

玉葉集という古い書物に「旅人も皆諸共に朝たちて 駒うちわたすやすの川ぎり」というのがある。橋のない頃、旅人はわたしたたよらなければならぬ。誰もが「安からぬ」と案じたのであろう。そこで、これらの旅人を守るために毎夜灯を高い所へかかげたのがこの寺、十輪院であったのだ。本尊は地藏尊である。現在の灯台守の役をしたのがこの寺の住職であり、世話方で

あったという。当時は立派な寺院としての風格もあったらしいが歴史を経て今はその姿が怪しい。

句碑も旅する芭蕉を偲ばせる姿の石である。この句は芭蕉の句であるかどうかはつきりしない。想像するどころかのさらし屋の一軒に、また宿の一隅にこの句の短冊があり、芭蕉とされていたのかもしれない。

(Ⅲ) 近江八幡市比牟礼山

(15) 芭蕉二〇〇回

遠忌 建立

(16) 芭蕉一〇〇回

遠忌 建立

近江八幡市というところは鶴翼山（二七メートル）という山を思い、豊臣秀次が築いたという城下町、八幡堀、そして江戸時代の近江商人などを思う。近江富士といわれて親しまれている三上山はわずか四三メートルの高さであるが、遠くの各地からその山頂が望まれ、「ふるさとの山」として心におさめている人が多い。

しかし、この八幡山の鶴の羽をひろげた姿の鶴翼山は守山や野洲・大津あたりから眺めると実に品があつて楽しい。誰が名づけたのか知らないがよい名の山である。

その山頂までのケーブルを利用する

何れにしても捨てるわけにはいかない。むしろこれを縁として後人の私達が研究すべきであるし、野洲の町としてもこの句碑を大切にし、かつ、芭蕉を顕彰することに心を向けて欲しいと思う。とにかく野洲町には風流な文人が多くいたらしく、あちこちに芭蕉以外の俳人の句碑にも出逢う。

願成就寺の句碑

と村雲瑞龍寺に参れる。その境内から眺める晴天の日の展望はすばらしい。

さて、その近江八幡市内を通る京街道がある。市内の中心あたりから小舟木へと通じる路を大津の方へ歩むと高い山に突き当たり、少し曲がる所に石の階段が見える。このあたりを小舟木商店街といい、この山を「観音山」と地方の人らに親しまれている。

石段を背にして街角に立派な寺碑が建っている。「本尊十一面観世音菩薩」と正面にあり、その右側面に「施主野間清六」、裏面には「大正五年一月一日、寂獄沙門義哀書」とあり、大きな角印が押されている。

野間清六といえは東京国際博物館の学芸部長までされた美術史家として日本的にも有名な人であり、近江八幡市としても、県としても誇るべき人で、昭和四一年十二月二三日、六十四歳で没した。「飛鳥、白鳳、天平の美術」という



観音山への登り口

観音山の寺碑

本を楽しんで愛読した頃がなつかしい。
正面の石段は八十段。右側の女坂の石段は七十段で、斜めになっていて歩みよい。その石段の前に「木の中地蔵」重要文化財と標示され、また四国八八所霊場と陰刻された石標も立っている。通りがかりの街の男の人が私に「木

の本の地蔵さんというのがあるやろ。あの地蔵さんと兄弟でなあ、末の地蔵さんとその中の地蔵さんと三つがあるのや。五年に一度「開帳」があって毎月二三日がお祭り日で、昨日はちょうど九月の例祭やった。で、もう少し右へ行くと自動車で上れる細い道があるさ

かい、行かい」と教えてくれた。

なるほど五〇メートルほど下ると右へ行く急坂があり、竹藪の中をぬけると境内へと展けた。ついた所の右側に句碑がある。

比良 三上 雪

さし わたせ

鶯の橋

と三行に彫られた芭蕉句碑である。

右下の方に「はせ越翁 魯人拝書」とあった。

さっそくその大きさを測った。高さ二三〇センチ、幅一一五センチ、厚さ二五センチの自然石で塀のような、額のような、つい立ての様な整った句碑である。台も自然の石組というか、岩の上に少しくずれ組の人工を加えられた素朴な石くみで大きい。

方角を持っていた磁石ではかったら西南西をさしていた。碑の裏には多くの文字が彫られている。陰裏であり、風化しているのですぐには読めなかったが、目を凝（こ）らしてみているとどうやら読めてきた。

「蕉翁二百年忌爲追弔 明治三六年（一九〇三）十一月二八日」とあり、

その他、裏面にいっぱい文字のあとがある。どうやら、当時の協力者名であろう。ざっと百人近いかもしれない。縁あれば拓本をとって読んでおきたいと思う。

この句は芭蕉四七歳の時、元禄三年の冬の作である。しかもこの句の前書

には「湖水之眺望」とある。

鶯の橋というのはかの七夕の夜に牽牛、織女の二つの星が相逢う時、鵲（かささぎ）が翼を並べて天の川へと渡すという想像の橋から思いついて鶯に橋をさし渡せといったのである。

「琵琶の湖水を中にして相對している比良山と三上山とは雪が積もっているが、おい、いま飛んでいる白鷺よ、その山と山とにあの鵲の橋のように真つ白な雪のような白鷺の橋をわたしておくれ。そうしたらこの美しい琵琶湖も更に美しい湖となり、近江の景観もお美しく眺められるだろうよ」と夢のような、幻のような童心になった芭蕉の詩心を示したのである。

西近江と湖東との連絡を吟じたのだ。現在ちょうどここに琵琶湖大橋が完成したのもこの芭蕉の句を心にして当時の谷口久治郎さんという風雅な知事さんが思いついたのだらう。

碑の前には昨日の護摩の火のあとが匂っていた。その傍には奇岩が盛り上がって、ちょうど宝船の中に七福人でも乗せた姿を偲ばせるような自然の岩石の石組があった。

建碑主宰者である魯人は岡田氏で八幡市の在の人である。晩年膳所義仲寺へ入庵され芭蕉を慕い、無名庵のために尽力された雅人俳人である。

次に本堂に向かって観音堂と、不動堂と並び建つみ堂を拝した。あたりに秋の鳥の啼く聲がしきりにしていた。

比牟礼山 願成就寺本堂 向かって左は不動堂

蕉翁二百回忌記念句碑

立派な芭蕉句碑



その本堂までの右側に鐘堂がある。古い梵鐘がつけられている。慶長一六年（一六一一）の願成就寺の梵鐘として世に知られているつり鐘である。いうまでもなく桃山時代として市の指定文化財の一つである。七月の五日、六日頃ともなるとこの山上から響く鐘の音は近江商人のふるさと、ここ八幡市の町々に流れたという。この梵鐘にも当時の寄進者の名が刻されている。一つ撞きたかったけれど止めた。ところでその鐘楼の前にも芭蕉句碑が一基ある。

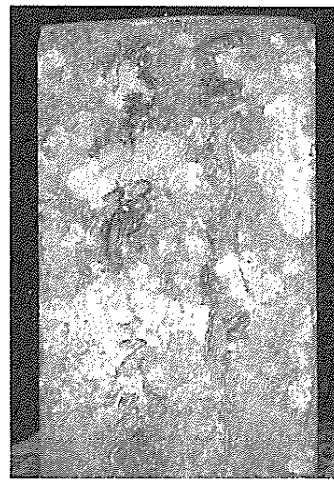
一聲の 江に
横たふや ほととぎす 翁
と三行書きにしていた。
変体かなを利用して美しい筆ぎきの

あとである。拓本にでもとって拡大したらよい習字のお手本にもなりそうだ。裏面には「于時寛政五癸丑冬十月、蕉翁百回追遠日建之。江東 竹莽 佃房男 副墨庵社中」とあった。寛政五年は一七九三年であるから今年で一九八年昔のことである。

この句は「郭公（ほととぎす）声横たふや水の上」の吟とよく議論されている。

いずれにしても芭蕉五〇歳の元禄六年の夏の作である。

ほととぎすという字は時鳥、子規、杜鵑、蜀魂、郭公、杜宇、不如帰などと漢字を当てていて、それぞれに意味やいわれがあるのだ。郭公と書いて「かっこう」というのががあるが別の鳥



芭蕉百回忌記念句碑

佃房の社中が建立した芭蕉百回忌記念句碑





願成就寺の境内の奇岩

であることはいうまでもない。

この句については「三冊子(さんぞうし)」や「篇突」という俳書にいろいろと論が述べられている。

その「郭公声横たふや」の句の意味

は、あれあれ、ほととぎすが大きな河

の上を啼いて過ぎた。その声があたり
の静けさを破って、水の上をずっと広
がっていくよ」というのだ。この碑の
「一声の江に横たふや」の句は同じよ

うな意味ではあるが、前の句より鋭く
迫ってくるひびきを感じさせる。

芭蕉の書簡を読むとこの句について
「時鳥声横たふや水の上にするべきか、
一声、の江に横たふやほととぎすにしよ
うか。推敲(敲)に定め難き所」と悩
んだらしい。

ふと私は夜の景か、昼か、朝か、と
考えたが、どうやら夜の方が楽しいし、
「一声の」の句の方がはっきりしてい
てよいと思っている。

建立者の佃房は八幡市の古い俳人の
一人で、佃房原元のことである。赤貧
の生活をし、酒を好み、意気慷慨する
風雅人であったという。狸々庵とも号
したのは酒好きであったからかもしれ
ない。この人については伴蒿隱や先年
亡くなられた古市駿一先生が勉強され
て一文を草しておられるので参考に加
筆した。必読の書である。

従って、この碑は佃房男とあるから
その子である副墨庵の面々が建立した
と思う。

碑の大きさは高さ四五センチ、幅二
七センチ、厚さ二七センチという四角
柱で上品なものである。台石としては
句の碑の石質と異なるみかげ石を袴の
ように掘広にしている。高さ九〇セン
チ、すそ幅九〇センチで方角は北東を
向いていた。

台石の組み方が乱れてきた。縁あれ
ば是非當繕して欲しいと思う。石が割
れてからでは大ごとになるので……。

こうして二〇〇年前に芭蕉を慕い、
約一〇〇年ほど以前にも芭蕉を尊敬し
ての二基の句碑が建つこの地は芭蕉追
慕の地で他所にはみられない。それら
の建立に協力された文人俳人らに敬意
を示すものである。

ぜひ私達後人も力を合わせて近い年
にこの境内の一隅に芭蕉翁三〇〇年忌
の一碑を建立したいと願う一人である
し、地元の文化人にも提案して呼びか
けをしたい者である。

こんなことを思いつつ境内を散策す
ると、建っている碑がみな雅味のある
ようにみえる。

身はここに心は信濃の善光寺
みちびきたまへ弥陀の浄土へ

とある歌の刻された碑も建っている。
「来年の三月にはこの本尊の開帳
があります。ぜひ縁を結んでおくれ
やす」とこのおはあさんが私に声を
かけてくださった。

ご老院はすでに亡くなられ、比叡山
の学校の先生である小西現住職さんも
勤務のために留守であった。芳名録を
出されたので拙い筆あとを残しておい
た。

にわかに降ってきた雨にも、いよいよ
冷やかさを覚え、芭蕉忌の十月一二
日の初時雨も間もない時季となった。

今、ニュースで芭蕉の住んだ幻住庵
が再び建立されたと放映していた。



ふるさとの

ゝええもんゝを一堂に集めた

第4回 琵琶湖夢街道 近江展

- ところ 高島屋東京店8階催場
- と き 平成4年2月6日(木)～11日(祝)

ゝ会員みなさまのご来場をお待ち申しております、

- 主催／琵琶湖夢街道近江展実行委員会
- 協賛／社団法人東京滋賀県人会

ミュージカルポタージュナイト好評!

「あきんどフォーラム」のイベントとして、全国でも例を見ない行政のオリジナル企画として注目されていた、ミュージカル「ポタージュ・ナイト」が、東京公演に続き7月14日の近江八幡をスタートとして県内8会場で開催されました。

夏の大会に向けてのPRを目的としつつも、今回の公演には、行政の企画・民間の主導、国際交流等々多くの話題を集めながらも、湖国に新たな文化のいぶきを感じられた催しでありました。

今回の運営に多大なご尽力をいただいた方々からのメッセージをお届けいたします。



オリジナルミュージカル「ポタージュ・ナイト」公演を振り返って

八月二日から四日まで、滋賀県大津市で開催された「あきんどフォーラム」のプレイベントの一つとして、オリジナルミュージカル『ポタージュ・ナイト』が東京と滋賀で公演された。ミュージカルは東京公演に約五千入、滋賀公演に約八千人の入場者があり、まずは成功したといえよう。

一昔前は文化不毛の地とまで言われた滋賀県で、「あきんどフォーラム」の開催がきっかけとなりミュージカルという舞台芸術に対して、これほどまで県民の関心が高まったという意味では県主導によって公演された今回のミュージカルが、その使命を十二分に発揮したといえよう。

ただ、「あきんどフォーラム」のテーマであった「近江商人の国際性」というストーリー性（近江商人の経営哲学）の深さに対しては、ドラマの展開として少し物足りなさを感じずには居られなかったが、滋賀県で生まれたオリジナルミュージカル『ポタージュ・ナイト』が、一過性の公演で終わることなく、二十一世紀に向けた滋賀県の新しい経済と芸術文化の進行のためにも是非、今後、さらに手直しを加えて滋賀の地で再演される事を願って止まない。

びわ湖放送報道課 記者 村田 三千雄





県内各地で大盛況



出演者

さんと村田ミチ雄



公演が終って一息の多比羅



「ポタージュ・ナイト」の ラストナイト

「あきんどフォールラム」のイベントとして企画したミュージカル「ポタージュ・ナイト」の公演は、八月三日の大阪ですべての日程を終了した。翌四日は、スタッフ・キャスト共東京への移動日。新幹線を降り、またの再会を期して東京駅で全員解散となったが、アメリカから来日していた四人のダンサーの旅程は、これで終わりという訳にはいかない。明日のフライトに備えて、このまま成田へと移動しなければならぬのだ。山のような荷物を抱えて、早速出発ということになった。

成田のホテルで過ごす日本最後の夜。彼らの希望で、ラストディナーは典型的な日本食。二ヵ月間の滞在で、彼らの味覚もすっかり日本的になったよう

だ。テーブルを囲み、交わされる会話にも頻繁に日本語のフレーズが飛び出してくる。

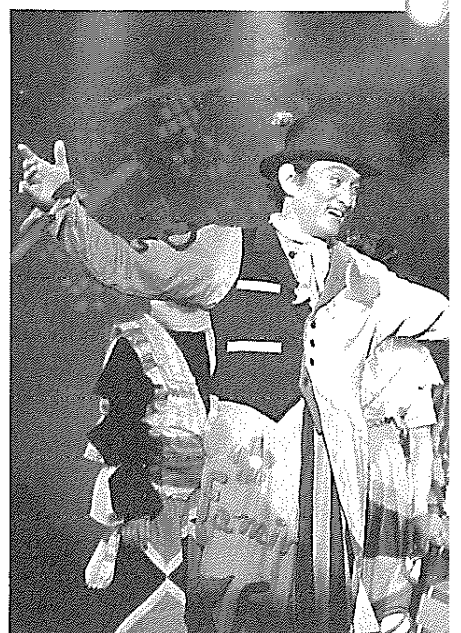
出演者の中でも最年少だったタムリン（アメリカ人ダンサーの女性）はまだ十八歳。この秋ミシガン大学の二年生になる所である。成田での別れ際に彼女は、目に涙を一杯溜めてこう語った。

「日本のプロの俳優たちと共演して、自分がまだ一人前ではないことがよく分かりました。ミシガン大学に戻って、もう一度徹底的にレッスンします。『ポタージュ・ナイト』の再演が決まったら、ぜひもう一度オーディションで新しい私を見てください」彼女の言葉は、ドラマの最後で主人公の秋田号が語る内容と全く同じものであった。秋田号は日本へ、タムリンはアメリカへと戻り、それぞれの本拠地で自分を鍛えた上で、また大きな世界を目指して羽ばたくのだろう。作品の中で描こうとしたこと、それに係わった人間の生き方がオーバーラップしていることを知り、『ポタージュ・ナイト』が国際文化交流という点でもけっして無駄ではなかった、という確信を深めた夜であった。

ポタージュナイトプロデューサー

ジェントル・アーツ

多比羅 栄

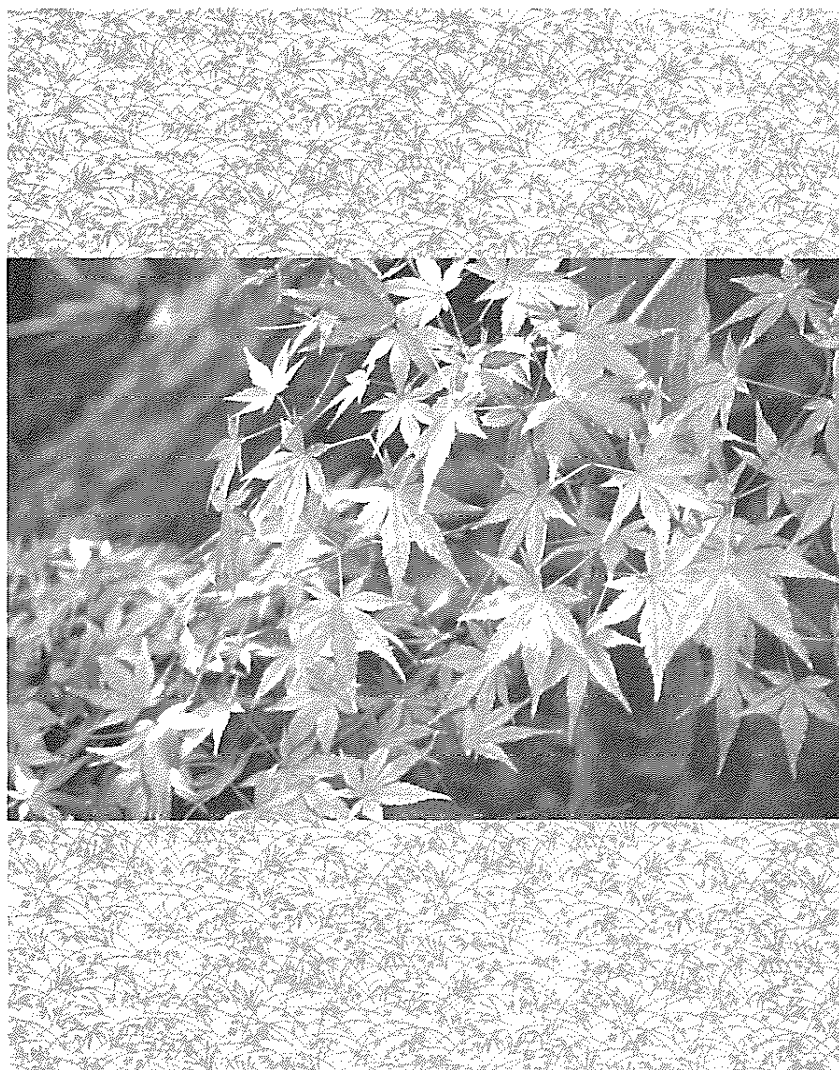


芝山 那智子 記

紅葉の季節に
想いおこす事

秋も深まってくると、湖国の野山は鮮やかなもみじの朱で染め上げられ、華やかな装いを見せます。紅葉の代表格がもみじ。大津の近辺に至る所に、もみじの名所があります。石山寺、三井寺、日吉大社、西教寺等、お寺のある所にもみじあり。そんな環境に住める幸せをしみじみありがたいと思つて暮らしています。

紅葉の頃になると思い出すこと。それは趣味の教室に通っている頃、一番前列の机の私の横にいつも



柔和で謙虚な奥様が座られます。その方の側に居るだけで、得も言われぬ落ち着きと、心の安らぎを感じるのです。

一年も過ぎた秋の日、お稽古が終わると「皆さんお昼からお手すきでしたら遊びにいらして下さいませんか。紅葉が美しいので」とおっしゃいますので四人で寄せていただくことになりました。農家の石垣と畑の間にうねうねとした道がつづき、ゆるやかな坂道を登っていくと、西教寺の門があり、広い寺域を飾る紅葉。カーンと澄んだ鉦の音色が、あたりにこだまして響いてきます。真新しいお堂の庭からはびわこの眺望が広がって見え、対岸には近江富士をはじめとして、湖南、湖東の遠景が展開する景色にみとれてみると、奥様の手作りのまつたけごはんと精進料理が出され、もみじを見ながらいただいたことが思い出されます。奥様の柔和な品格のある姿はどうしてなのかいつも思っていましたので、お寺から嫁がれたのですかと聞くと「いいえ、全く無縁の農家でして、嫁いだ日から何も判らず老僧のお世話をさせていただき、食事を運び食べ終わられるまで冷たい土間で座ってジッと待っていたりしてね」と話して下さる中に、厳しい日々を送られた様子がうかがわれました。先日びわこ花火大会の日に、偶然ホテルのロビーで御夫妻にお出会った折り「一年前に武生のお寺に引越して、今日は花火大会を観に帰ってきたのです」とびわこをこよなく愛しておられる様子でした。今年も湖面に映る燃える様な紅葉を見、『秋の夕日に照る山もみじ、濃いも薄いも数ある中に』と口ずさみながらバイクで走っています。



INTERVIEW

二七〇年の歴史を有する

小幡人形の伝統を守り続けて

細居源悟さん(小幡人形
九代目当主)に聞く



平成四年年賀郵便切手(六十二円)
の絵柄に、滋賀県五個荘町の郷土玩具・
小幡人形の「桃持猿」が選ばれた。小
幡人形が年賀郵便切手となるのは昭和
五十九年度に次いで二度目である。

この小幡人形は、泥絵具で明るく彩
色された土人形で、その素朴さと暖か
さが好まれ、江戸時代の享保年間(一
七一六〜三六)から中仙道を往来する
旅人や付近の子供たちに親しまれてき
たという。

今、この小幡人形を作れるのは、五
個荘町小幡に住む細居源悟さん(五十
二歳)ただひとりである――。



▲年賀郵便切手になった“桃持猿”には注文が殺到している

小幡人形の製作に励む細居源悟さんの家は、近江鉄道五個荘駅から東北へ約二百メートル、中仙道筋の静かな古い町並みの中にある。神崎郡五個荘町小幡——その地名から、小幡でこ——と呼ばれて親しまれているこの人形は、約二百年の伝統を有する。

細居家の初代安兵衛は、はじめは京都通いの飛脚をしていたが、度々の追いはぎ、恐喝等々の災難に会い転職を考え、家にいてできる仕事をと思案の末着眼したのが、当時盛んに売られていた伏見人形で、その製法を習得して小幡の地で人形を作り始めた。当時は、中仙道を往來する人々や近くの子供たちに人気を呼び、安兵衛を真似る同業者も現れて明治初期には小幡の町に四、五軒あったという。しかし、現在では細居家だけとなり、源悟さんで初代安兵衛から数えて九代目になる。

細居源悟さんは、今、日本で小幡人形を作れるたったひとりの職人である——。

——土でできてるんですね。

「ええ、土人形です。これ、あの鬼瓦と同じ粘土を使ってるんです。もちろん微妙な細工ものですから焼く温度は鬼瓦とは違って九百五十度位の比較的低い温度ですけど……」

——作ってゆくプロセスを少し話していただけますか？

「最初は木製の型枠の中にその粘土を押し込んで、それから枠から取りはずして、家の中で十日程陰干しして、次に天日でまた十日干して、そして焼く。焼いたものに一度下塗りしてから、



▲枠からはずして天日で干す



先祖代々受け継がれてきた木製の型枠▲▶



▲焼かれたものは白く下塗りされる

筆を入れて色を塗ってゆく。焼くのはある程度まとまった量になってから一度にたくさん焼いてますから、そういう待ち時間もあって、そうですね、一つの人形ができるまでだいたい三ヶ月はかかってます」

——全工程の中で一番難しいのは？

「やっぱり筆を入れるところでしょいか。特に顔の表情には苦労します。顔の表情一つでその人形が生きるか死ぬか決まってしまうから」

——小幡人形の特徴を一言で言う？

「色彩にあると思います。中間色がないんですね。赤、青、黄……原色ばかりです。この人形の素朴さは、その原色だけを使うことから生まれてきていると言って過言でないと思います。」

今、人形の型枠は先祖代々のものが五百種位ありますから、今五百種は作れるわけです」

——細居さんは会社で勤務なさりながら小幡人形をお作りになっていらっしゃるって聞いてきたんですが……。

「近くの繊維会社に、もう三十三年勤務しています。細居の家では代々長男がこの人形作りを継いでおりますが、代々人形作りの専業というわけではありません。農業をしながら農閑期には人形作りに精を出す……といった形が続いてきたわけです。」

平成元年十月に八代目の父が死んで、私も人形作りを本格的に始めました。私がはじめて人形を作ったのは小学校の時遊び感覚で作りましたけど、それからはもうほとんど人形にはさわってなかったんです。大人になってからはまったく何もしていませんでした。ですから父から技術を直接教わったこともなく、まあ門前の小僧というか、生前の父の作業の見よう見まねなんです」

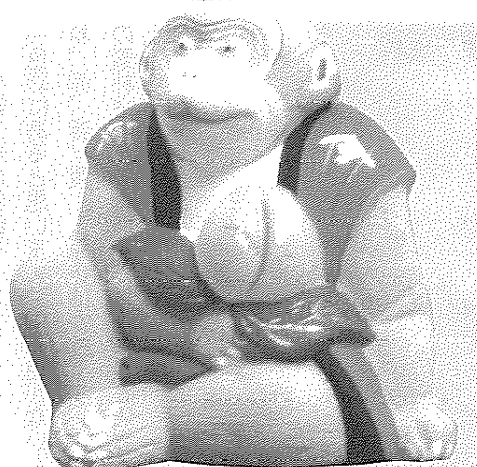
——そのお父さまが作られた人形が昭和五十九年度の年賀郵便切手の絵柄に選ばれて、そしてこの度、平成四年度の年賀郵便切手に細居さんの「桃持猿」が選ばれましたね。「見よう見まねで」とおっしゃいましたが、やはり細居さんの中に人形作りの才能ある血が流れているんでしょうね。

「いやあ、父の作品と私の作品とでは雲泥の差があります。父の作品を見る度のため息が出ます。私と父とは幼稚園児と大学生位の差があります。これから少しずつ父に近づいてゆきた



▲どの人形の表情もユーモラスでほのぼのとしている

切手といっしょに揃えたい
"桃持猿" ▶



〈細居源吾さんの連絡先〉

〒529-14

滋賀県神崎郡五箇荘町小幡808番地

☎0748-48-4075



▲訪ねてくる人との応対にも忙しい

く思っています。そして、この小幡人形の伝統をささやかながらも受け継ぎ守り続けてゆきたいです」

インタビューの最中、奈良県から出て来たと、初老の男性が細居さんの小幡人形を買い求めに来了。その人が買ったのは、年賀郵便切手の絵柄にもなった「桃持猿」だった。切手といっしょに人形も揃えたいという人が多いという。

「日本の一般家庭に車が普及し出した昭和四十年頃からでしょうか、この小幡人形をお求めになるお客様が増えてきたのは、きっと世の中がそれだけ豊かになったということだと思います。戦後、間もない頃は人形よりも食べ物だったですから」と、細居さんが時代の移り変わりと人形の関わりをしみじみと語ったのが印象的だった。

都市ガスは、みんなのエネルギー。
ムダなく上手に使いましょう。



工夫しだいで、
上手に省エネ。

山形ガス株式会社

取締役社長

中村 喜兵衛

(近江八幡市蔵橋町出身)

山形市白山一五番地 ☎ 〇〇八五(代)

人にやさしい、都市にやさしい、都市ガス。

【取扱種目】

米国産・桧・松・スプルース・楡・内地材 各種一般

丸五木材株式会社

代表取締役 内 藤 五 郎 (伊香郡余呉町出身)

本 社／名古屋市中区正木3-2-6

TEL. (052) 331-0555(代)

FAX. (052) 331-0550

工 場／愛知県海部郡弥富町2-50

TEL. (0567) 68-2100

FAX. (0567) 68-2105

木 場／愛知県海部郡飛島村木場-2-20

TEL. (0567) 55-1477

大口市場／愛知県丹羽郡大口町字河北

TEL. (0587) 95-2668

NY-LONDON-TOKYOの
経済情報をリアルタイムで。

ワールド
ビジネス
サテライト

月～金よる11:00

キャスター 小池ユリ子

この時代、ちょっと知的に

テレビ東京 12

代表取締役会長 中川 順

(滋賀県東浅井郡びわ町出身)

■第5回滋賀県人会世界大会協賛社(者)名簿 (順不同、敬称略)

[illegible]

通信通信

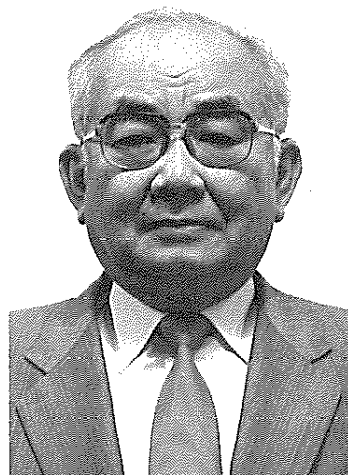
平成3年度

秋の叙勲受章者

平成3年度秋の叙勲者が発表されました。滋賀県関係の勲三等以上の受章者の方々を誌上であらためてご紹介させていただき、諸氏のご功績に深く敬意を表し、お祝い申し上げます。

勲二等瑞宝章

日本大学文理学部教授
東京大学名誉教授・文学博士
護 雅夫氏（長浜市出身）



大正10年3月30日生

昭和18年9月 東京帝国大学文学部東洋史学科卒業

北海道大学助教授を経て東京大学教授。

平成3年3月 東京大学定年退官

日本大学文理学部教授

〔著作〕『游牧騎馬民族国家』

（現代新書、講談社、一九六七）

『古代トルコ民族史研究Ⅰ』

（山川出版社、一九六七）

『東西文明の交流Ⅰ、漢とローマ』

（編著）（平凡社、一九七〇）

『李陵』

（中公叢書中央公論社、一九七四）

『古代游牧帝国』

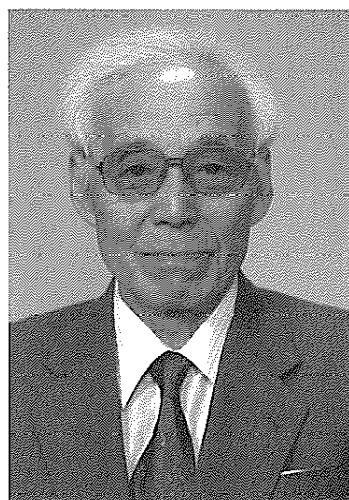
（中公新書、一九七六）

『北アジア史』（新版）（編著）

（山川出版社、一九八二）

勲三等瑞宝章

滋賀県立短期大学名誉教授
馬場 明氏（草津市出身）



大正6年5月10日生

昭和13年 盛岡農林学校農学科卒業

昭和35年 農学博士学位取得

滋賀県立短期大学教授

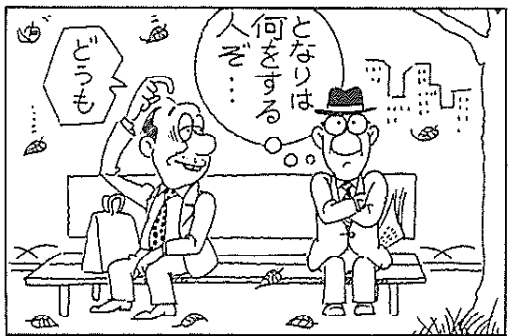
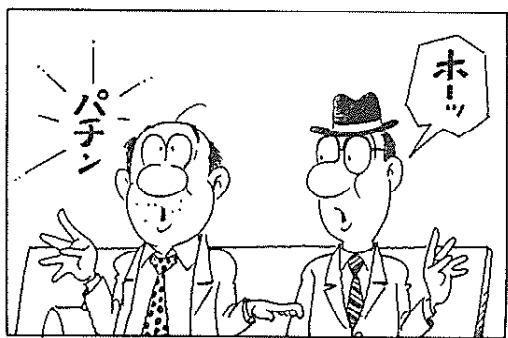
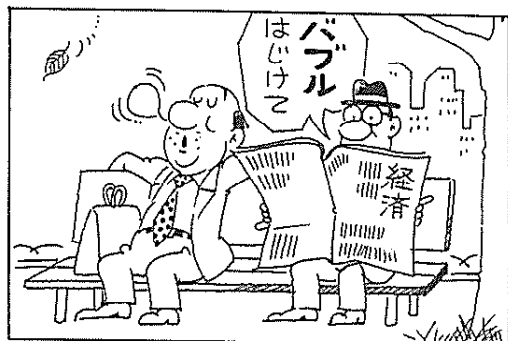
昭和58年 滋賀県立短期大学定年退官

地方産業の振興に寄与するとともに、デンブン化学上の先端的研究成果を発表。また、鉄貯蔵蛋白質についての新しい知見を、アメリカ合衆国のフィシャー教授と共同で発表など、生化学および食品学の進歩に貢献した。

さらに退職後、汚水による生活環境汚染を改善するための研究に取り組み、タカラ・ハーモニスト・ファンドの助成を得て、マサ砂が下水の臭気の除去に役立つとともに、ヘドロの改善にも役立つことを示した。

人けいさん

岡本 治 No2



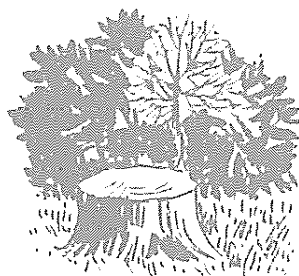
大正6年12月4日生
昭和23年 京都帝国大学卒業
滋賀師範学校に勤務



勲三等旭日中綬章
滋賀大学名誉教授
宮畑巳年生氏

昭和44年 滋賀大学教授
昭和58年 滋賀大学定年退官
京都文化短期大学教授
平成3年 京都文化短期大学を退官
専攻の地理学とは近縁の民俗学にも視野を広げ、積極的にその分野における研究をも積み重ね、昭和40年以來、滋賀県から国定公園や県立自然公園候補地その他の学術調査の委嘱を受けて、自然と人文両現象にわたる調査を組織して事にあたり、自らも人文地理と民俗の分野を担当して、つぎつぎに報告書を作成。
一方、滋賀県内各地に残存する豊富な神事やそれに伴う民俗芸能にも深く関心をよせ、それらの成果は、昭和60年3月発行の滋賀県史昭和編第6巻教育文化編に反映させた。昭和63年11月発行の「近江の祭と民俗」は同人の長年にわたる民俗調査研究の集大成で、学界でも高く評

価された。
民俗事象の調査研究、保存保護面での活躍や前記の「近江の祭と民俗」の出版に対して、平成元年8月繁緑文化振興財団の学術賞、同年9月滋賀県文化賞を受賞した。



東北
6県

近江商人の子孫が記念誌

岩手滋賀県人会が編集

「近江商人・東北の末裔たち」

源流探る

手記集め

AKINDOフォーラムに合せ発刊!

東北六県を中心とした湖国出身者の集まり「近江商人末裔会」と「岩手滋賀県人会」では、このほど『近江商人―東北の末裔たち』を刊行されました。

江戸時代初期に高島郡から村井新七が移住したのを契機に次々と東北の地に移住し、盛岡の城下町形成には、彼らの才と資金力が大きな力を発揮したと言われており、現在も多くの子孫たちが当時のらの屋号を守って各界で活躍されています。

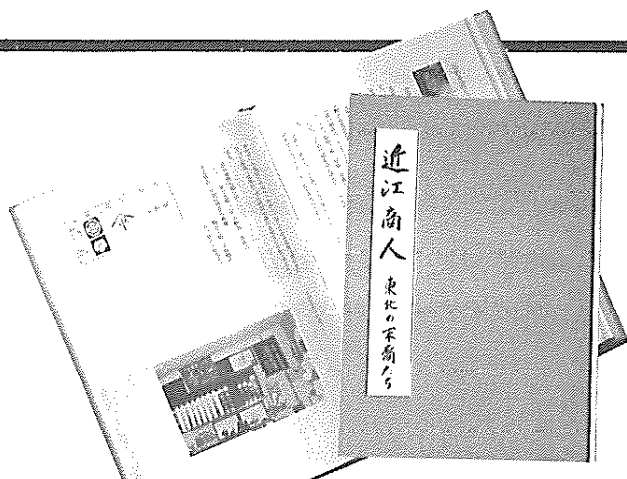
先人が移り住んだ歴史的考察と、子孫たちが、それぞれの系譜をたどりつつ、各自の思いを寄せており、非常に興味深くしかも意義ある刊行となっています。



駒井健会長の

「刊行のことば」より

本年八月には、滋賀県大津市において「あきんどフォーラム・世界大会」が盛大に開催されますが、このプレイベントとして、平成元年十一月には盛



岡市において「あきんどフォーラム・東北大会」が開催されました。滋賀県からは稲葉知事をはじめ、経済界の多くの方々のご来盛をいただき、地元の岩手県からは中村知事・太田盛岡市長並びに経済界の方々の参加により賑々しい大会でございました。

東北の地方に在住する私も滋賀県出身者をはじめ、近江商人の末裔にあたる関係者も参加させていただき、感動の一時を過ごすことができましたことは一生の思い出となりました。

そのおり、東北の各地からご参加いただいた方々より、近江商人の末裔として、ご先祖のルーツを思い起こしながら、あるいは滋賀県出身者として「近江商人・東北の末裔たち」のような記念誌の発行はできないものだろうか、と言つゝ意見が多くございました。「あきんどフォーラム・世界大会」を期に、この記念誌の発行を考え、仙台市の藤崎助三郎様、山形市の中村喜兵衛様、秋田市の吉村登喜男様、青森市の駒井正一様、盛岡市では小笠原三吉様、村井研一郎様、村谷喜一郎様、村井政次郎様に相談し、ご賛同をいただき編集にかかわってまいりました。

何分にも、思い立ってから実際の作業を起すまでに時間がかかった事、具体的な編集の作業に手間どった事などで、完成までには大変心配も致しました。最終的には岩手滋賀県人会のメ

ンバーであります小林昌副会長、植本一夫副会長、駒井健治幹事長、童羽会村谷喜一郎様をはじめ多くの会員の方々より全面的な協力を戴きました。また、川口印刷工業株式会社吉田様、植本様には格段のご配慮と協力を戴きましたことに對しまして、衷心より深甚の敬意と感謝を捧げて、ご挨拶いたします。 平成三年七月

先祖への思い 近江への思いを 数十人が綴る

記念誌は、八月に世界で活躍する近江商人を集めて大津市で開かれた「AKINDOフォーラム」に先立ち、会員間で「東北でも記録を残そう」との機運が高まり編集されました。

内容は、①近江商人考②寄稿東北の末裔たち③資料編——の三部構成。「商人考」では、盛岡と近江商人との結びつきを記し、「末裔たち」では、子孫たち約五十人が手記を寄せ、「家族の歴史」や「近江商人への思い」などを綴っています。

「家系図を調べ直した人、調べるために滋賀まで帰った人などさまざまで見えと感動があります」と植本一夫事務局長は話しておられます。

例えば、盛岡市みたちの駒井健治さん（スーパーマリンチ常務取締役）は、

昭和三十三年に滋賀県の高校を卒業後に岩手に移住した当時の自分を支えたのは、「四百年も昔、近江から三十三日と十四時間をかけて盛岡にたどり着き、苦勞を重ねて成功した先人たちだった」と記しており、同市肴町の平野啓三さん（平金商店代表取締役）は、近江商人が盛岡の俳句界、華道界で占めた位置の大きさを述べています。

商業以外で活躍する人も寄稿され、岩手大農学部村井宏教授は、滋賀を訪ね、先祖が故郷を離れることを決意するまでの思いを探っています。同市材木町の眼科医村井政次郎さんは、「人富即奢（しゃ）」「奢則背礼」など家訓を紹介しています。

「近江商人と言えば、『がめつい』などのマイナスイメージで思われがちだが、盛岡の城下町形成には大きな力になった。その生きざまを知って欲しい」と駒井会長は話す。（読売新聞より）

「近江商人—東北の末裔たち」

ご希望の方は下記の通り
お申し出下さい。

- 協賛金 2,800円(送料260円)
- 郵便振替口座
盛岡0-5833 近江商人末裔金
- お問い合わせ先
TEL0196-24-0036まで

会員の 声

このコーナーは、みなさまの意見・ご感想などを掲載しております。どしどし編集室まで投稿下さい。

近江の人と 京都の人

山形滋賀県人会 中村喜兵衛

去る八月、滋賀県大津市を中心に、県下各地を舞台として「あきんどフォーラム」という実にユニークな一大イベントが開催された。私はそのイベントの中の第五回滋賀県人会世界大会に参加して、その迫力と同時に、隅々にまで行き届いた温かい配慮とに深く感激した。私は、時折近江の人と京都の人とを比較してみることがある。滋賀県の県庁所在地である大津市と京都市とでは僅か一〇km位の目と鼻の先ぐらいの短い距離であるが、両者の気質とかが行動など、こうも異なるものかと思うことが屢々ある。私自身、「近江商人」の末裔であるからそう思っているのかも知れないが、近江商人の考え方の基本は要するに、「質素と儉約」であると思う。しかし、京都の人も質素であり、かつ儉約家であると思う。が、

この両者の間の「質素儉約」には、言葉は同じでも全く異質のものであるような気がしてならない。近江商人の質素儉約には自分だけでなく、相手先や、あるいは広く一般社会の利益に対する配慮があり、かつ底流には暖かい血が流れているような気がするのがあるが、京都の人の質素儉約は——こう言っては京都の人には悪いけれども——、自分の利益だけの質素儉約であり、かつその底流には冷たいものが流れているような気がするのである。この事は別の言葉で言えば、近江の人は京都の人にくらべて「野暮くさい」ということになるのかも知れない。まあ、一長一短なのだろう。ただ、私自身としては、野暮でも近江商人の質素儉約の方が良いと思っている。

世界大会の 成功裡に思う!!

伊勢崎滋賀県人会

会長 高畑 正三

二、三年前より準備を進めて参りました待望の第五回滋賀県人会世界大会が、八月四日正午幕を開け、稲葉県知事の挨拶に出席した世界県人会員一千余名の大拍手の波に迎えられ、興奮の増幅となって参りました。

続いて桂 文珍の湖国咄の軽妙で世馴れた漫談に、笑いのつちにも興味津々

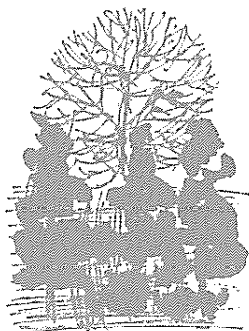
たるものがあり、次はコーディネーター藤本義一先生司会の、近江を各方面よりとらえた六人の提案者との対話には、私も出身者の一人として大いに勉強出来、出席の意義深さを噛みしめたものでありました。八月五日、いよいよ本番の楽しい時が午前九時より開かれ、司会者の進行により、各県人会長がそれぞれ舞台上に会旗とともに入場しました。私は「伊勢崎滋賀県人会長、高畑正三君」と紹介された時、一瞬足元がふらつき、返事はしたもののお辞儀するの忘れるところでしたが、ようやく我にかえり指定席につく事が出来ました。サァー始まったと隣の桐生、藤岡の両会長に囁いたものであります。大会は折からの好天に恵まれ、世界の三千県人会長旗が閃めく中、千余人の待ちに待ったセレモニーが始まり、トランプ、トランプ、オープニング、演奏の和やかなムードで午前の部が終わり、ホット一息というところでした。

午後六時ウエルカムミュージック、オープニングは会場を圧倒する雰囲気包まれ、知事の歓迎挨拶、西川五郎県人会長代表の言葉があり、いよいよ大会宣言も青年のさわやかな発声にて「滋賀県と県人会の人と人並びに経済交流、二世三世の育成、情報、広報の活発な活動、そして国際感覚を磨いて行くとともに広く近江商人として、あきんど精神を基本に世界の近江商人になろう!!」と宣言された時、われるよ

うな拍手が会場一杯に響きわたりました事は、終生の思い出となる事でしよう。

私は本大会を通じ、地元並びに県庁のご配慮と一億二千余万円にのぼる予算措置、知事さん以下役職員の昼夜をわかつたご苦労にひたすら感謝するとともに、一方県人会として西川会長、中西理事の準備事務、予算面の気配りと完了までの物心両面に渉る心労に對し、心よりありがとうと申し上げるものでございます。

長い年月を経て行われたこの祭典も一瞬の内に過ぎ去りましたが、決して昨日の事とせず、いつまでも生き生きとした親睦と奉仕の灯をともし続け、次なる第六回開催地バンクーバーにバトナッチしてこそ本大会の終わりと云えましよう。大津市に於けるこの行事の大成を心より祝福し、ここに筆を擱く次第であります。



次号予告

1992年2月発行 VOL.4

新春座談会 女性が語る近江

特集 びわこ空港開港へ

シリーズ 近江の芭蕉句碑④

グローバルな湖国人第4回

湖国を愛したメレル・ヴォーリス

近江商人輩出の近江八幡周辺

編集室より

第五回世界県人会大会が終り、その感激がまだ醒めぬ昨今ですが、本誌では、その感激を再びと、世界大会特集を組んでみました。

大会開催におきましては、関係各位の多大のご協力およびご支援を頂き誠にありがとうございました。国内外よりの多くの参加者の皆様とふるさとでの大会とあって一層の盛り上がりがあり、偏に皆々様のお力添えの賜と深く感謝申し上げる次第でございます。

ふるさとと県人会の皆様との交流の場として創刊されました本誌もいよいよ第三号を発刊することができました。今後ともふるさととの香り満載の県人会のパイプ役としての本誌の使命を存分に発揮し、ますますの充実をはかっていく所存でございます。何卒皆様よりのご寄稿および広告掲載のご協力をよろしくお願い申し上げます。

■発行日/1991年11月25日 ■定価/800円

■発行/全国滋賀県人会連合会/〒103東京都中央区東日本橋3丁目6番20号/TEL03(3661)5057

■印刷/サンライズ印刷株式会社/〒522滋賀県彦根市鳥居本町655-1/TEL0749(22)0627

自費出版

自分史、随筆、小説、歌集、旅行記……

思い出を想像を夢を一冊の本に託して——。

本を出すのが初めてという方でも、心配ありません。
企画から製本に至るまで、小社のスタッフがご相談を承ります。
お問い合わせ下さい。パンフレットを差し上げます。

■新刊ご案内■

続・近江商人列伝

江南良三著

江商の商魂をここに凝集！更に160家の家歴と、家憲・家訓・店則・掟書等を詳述した近江商人研究必携の書。

B6判/上製本/328頁/定価1,800円(税込み)

地名にみる近江八幡

伴 米蔵著

近江八幡市周辺の地名を、太陽の軌跡と関連してさらに歴史的呼称の流れを解説。現存の地名の由来が明解。

B6判/並製本/144頁/定価1,200円(税込み)

お申し込み、お問合せは、小社出版部まで

サンライズ印刷(株)出版部

〒522 滋賀県彦根市鳥居本町655-1 TEL 0749-22-0627 FAX 0749-23-7720 振替/京都 8-61946

ひとは、どこまで自由に、大空を愉しめるだろう。

Dreamin'



BOEING 747-400
TECHNO-JUMBO

すべては、新次元の空の快適をお届けするために。私たちは、最新鋭ボーイング747-400“テクノジャンボ”を導入いたしました。この地球の青空を、もっと自由に、もっと愉しくすごせる空間へ。それがANA's DREAM。その実現にむけて、つねに動き続ける私たちです。

ANA **全日空**

国内線のお問い合わせは、東京(03)5489-8800 大阪(06)534-8800 名古屋(052)962-6211 札幌(011)726-8800 福岡(092)752-8800 沖縄(098)866-5111

国際線のお問い合わせは、東京(03)3272-1212 大阪(06)372-1212 名古屋(052)971-5588 札幌(011)281-1212 福岡(092)474-1212 沖縄(098)861-1212または、お近くの全日空代理店まで。

新しい翼 SKY CRUISER

日本航空



最新鋭機 JAL のボーイング 747-400

